# 上細井北遺跡群 No.1

上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2009.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

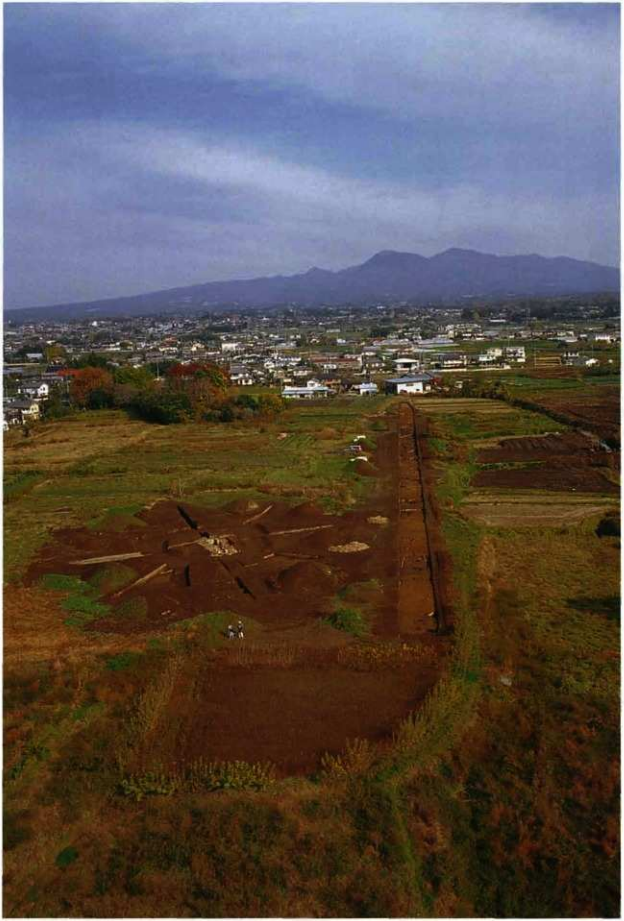
# 上細井北遺跡群 No.1

上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

5区 H-4出土遺

2009.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団



2・5区遠景（南東から赤城山を望む）

1区南側全景（上が北）

2区全景（上が北）

5区全景（上が北）

M－１石室全景（南から）

M－１石室全景（上が北）

1区　H－2出土遺物

5区　H－4出土遺物

# はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所に人々の息吹を感ぜられる歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野の国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する上細井北遺跡群№１は上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査であります。今回の調査では、縄文時代から平安時代にいたる多くの竪穴式住居跡、円墳など多くの遺構と遺物を検出し、貴重な資料を得ることができました。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明するための一助となれば幸いです。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や上細井土地改良区の役員、地元関係者の方々など各方面のご配慮の結果といえます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成21年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団　長　　**依　田　三次郎**

# 例　言

1．本報告書は、上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴う上細井北遺跡群№1の発掘調査報告書である。
2．調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。
3．発掘調査の要項は次のとおりである。
　調　査　場　所　群馬県前橋市上細井町460番　他
　発掘調査期間　平成20年9月1日～平成21年2月10日
　整理・報告書作成期間　平成20年12月2日～平成21年3月19日
　発掘・整理担当者　神宮　聡・小田哲生・阿久澤真一・清水亮介（発掘調査係員）
4．本書の原稿執筆・編集は神宮・小田が行った。
5．発掘調査・整理作業にかかわった方々は次のとおりである。
　青木昭二郎・阿部シゲ子・伊藤修道・植木政俊・大木伸二・佐藤佳子・杉浦富雄・関根その子・高橋公代・瀧上政信・多田啓子・角田節子・角田昌幸・勅使川原幸枝・友永　茂・長澤幸枝・中林美智子・西山勝久・奈良啓子・萩原秀子・橋本ちづる・細野進太郎・堀込とよ江・町田紗子・町田敏彦・真庭武志・峰岸あや子・森下陽介・弥都啓吾・山口淳子
6．発掘調査で出土した遺物は、当発掘調査団より前橋市教育委員会に保管を依頼し、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

# 凡　例

1．挿図中に使用した北は、座標北である。
2．挿図に国土地理院発行の1：200,000地形図（宇都宮、長野）、1：25,000地形図（前橋、渋川）、1：5,000前橋市現形図を使用した。
3．遺跡の略称は、20B16である。
4．遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。
　J…縄文時代の竪穴式住居跡　H…古墳・奈良・平安時代の竪穴式住居跡　M…古墳　W…溝跡
　D…土坑　P…ピット・貯蔵穴（住居内$P_8$を貯蔵穴とした。）
5．遺構・遺物の実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。
　遺構　全体図…1/200　住居跡・溝跡・土坑・ピット…1/60　古墳石室…1/40　竈・炉断面図…1/30
　遺物　土器…1/3、1/4　石器・石製品・土製品…1/2、2/3、1/3
6．計測値については、（　）は現存値、［　］は復元値を表す。
7．セクション注記の記号は、締まり・粘性の順で示し、それぞれ以下のように表現する。
　◎　非常に締まり・粘性あり、○ 締まり・粘性あり、△ 締まり・粘性ややあり、× 締まり・粘性なし
　なお、セクション注記と遺物観察表の色調について新版標準土色帳（小山・竹原1967）を基準とした。
8．遺構平面図の－－－－－－－－－－は推定線を表す。
9．スクリーントーンの使用は、次のとおりである。
　遺構平面図　焼　土…
　遺構断面図　構　築　面…
　遺物実測図　須恵器断面…　灰釉陶器断面…　灰釉陶器表面…
10．主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。
　As－B　（浅間B軽石：供給火山・浅間山、1108年）
　Hr－FP　（榛名二ッ岳伊香保テフラ：供給火山・榛名山、6世紀中葉）
　Hr－FA　（榛名二ッ岳渋川テフラ：供給火山・榛名山、6世紀初頭）
　As－C　（浅間C軽石：供給火山・浅間山、4世紀前半）

# 目　次


序 …… i

Ⅰ 調査に至る経緯 …… 1

Ⅱ 遺跡の位置と環境

　1 遺跡の立地 …… 1

　2 歴史的環境 …… 1

Ⅲ 調査の方針と経過

　1 調査方針 …… 6

　2 調査経過 …… 6

Ⅳ 基本層序 …… 9

Ⅴ 遺構と遺物 …… 10

Ⅵ まとめ …… 34

# 図　版


口絵　1　2・5区遠景（南東から赤城山を望む）
　　2　1区南側全景（上が北）
　　3　2区全景（上が北）
　　4　5区全景（上が北）
　　5　5区M－1石室全景（南から）
　　5区M－1石室全景（上が北）
　　6　1区H－2出土遺物
　　5区H－4出土遺物

PL．1　1区H－1～5
　　2　1区H－6・7・9、W－1～5、北側全景
　　3　2区J－1、H－1～3
　　4　2区H－4～7
　　5　2区H－8～14
　　6　2区H－15・17～19
　　7　2区H－19～25
　　8　2区H－26～31
　　9　2区H－32・33、W－2～4
　　3区H－1・2
　　10　3区H－3、W－1、全景、4区全景、5区M－1
　　11　5区M－1
　　12　5区M－1、H－3・4、6区H－1
　　13　6区H－2～6
　　14　2区出土縄文土器
　　15　1区H－1・2出土遺物
　　16　1区H－2～7出土遺物
　　17　2区H－3～6出土遺物
　　18　2区H－4・7～12・14・15出土遺物
　　19　2区H－15～21・24～27・29・32・33出土遺物
　　20　2区H－29・32、W－1、D－21、P－4、3区
　　H－1・2、5区H－2～4出土遺物
　　21　5区H－4出土遺物
　　22　5区H－4・5、6区H－1～3出土遺物
　　23　石器・石製品・土製品


# 挿　図


Fig．1　上細井北遺跡群位置図
　　2　周辺遺跡図
　　3　上細井北遺跡群位置図とグリッド設定図
　　4　基本層序
　　5　上細井北遺跡群№1　1区南側全体図
　　6　上細井北遺跡群№1　1区北側全体図
　　7　上細井北遺跡群№1　2区全体図(1/3)
　　8　上細井北遺跡群№1　2区全体図(2/3)
　　9　上細井北遺跡群№1　2区全体図(3/3)
　　10　上細井北遺跡群№1　3・4区全体図
　　11　上細井北遺跡群№1　5区全体図
　　12　上細井北遺跡群№1　6区全体図
　　13　1区H－1・3
　　14　1区H－2・4
　　15　1区H－5～7
　　16　1区H－9、W－2・5
　　17　1区W－1・3・4、D－1・2・5・15・16
　　18　2区J－1、H－1・2
　　19　2区H－3・5
　　20　2区H－4
　　21　2区H－6・8・10
　　22　2区H－7
　　23　2区H－9・12・13
　　24　2区H－11
　　25　2区H－14・15
　　26　2区H－16・17
　　27　2区H－18
　　28　2区H－19・20
　　29　2区H－21～24
　　30　2区H－25・26・28
　　31　2区H－27・29・31
　　32　2区H－32～34
　　33　2区W－1～4、D－1～4
　　34　2区D－5～14・16・18～21
　　35　3区H－1・2・4
　　36　3区H－3、W－1、D－1、I－1～3、4区
　　W－1
　　37　5区M－1
　　38　5区M－1縦横断面図(1/2)
　　39　5区M－1縦横断面図(2/2)
　　40　5区M－1石室平面図
　　41　5区M－1石室展開図
　　42　5区M－1石室正面図
　　43　5区M－1石室断面図
　　44　5区H－1・2
　　45　5区H－3～6
　　46　6区H－1
　　47　6区H－2・6
　　48　6区H－3～5
　　49　縄文土器
　　50　1区H－1・2出土遺物
　　51　1区H－2～7出土遺物
　　52　2区H－3～6出土遺物
　　53　2区H－4・7～12・14・15出土遺物
　　54　2区H－15～21・24～27・29・32・33出土遺物
　　55　2区H－29・32、W－1、D－21、P－4、3区
　　H－1・2、5区H－2～4出土遺物
　　56　5区H－4出土遺物
　　57　5区H－4・5、6区H－1～3出土遺物
　　58　石器・石製品・土製品


# 表


Tab．1　上細井北遺跡群周辺遺跡概要一覧
　　2　竪穴式住居跡一覧表
　　3　溝跡計測表
　　4　土坑・井戸跡計測表
　　5　ピット計測表
　　6　縄文時代出土土器観察表
　　7　古墳・奈良・平安時代出土土器観察表
　　8　石器・石製品・土製品観察表

# Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴い実施された。該当地は周知の埋蔵文化財包蔵地（東田之口遺跡、丑子遺跡、上細井五十嵐遺跡）である。

平成20年７月14日付けで上細井土地改良区　理事長　長谷川　富雄より前橋市教育委員会に上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　依　田　三次郎に対し、調査実施について協議を行い、調査団はこれを受諾した。平成20年8月18日、調査依頼者である上細井土地改良区　理事長　長谷川　富雄と前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　依　田　三次郎との間で、本発掘調査の委託契約を締結し、９月１日に現地での発掘調査を開始するに至った。

なお、遺跡名称「上細井北遺跡群№１」（遺跡コード：20Ｂ16）の「上細井北遺跡群」は上細井土地改良区営上細井土地改良事業区域内の遺跡を総称し、数字の「１」は今後に発掘調査を実施する遺跡と区別するために付したものである。

# Ⅱ　遺跡の位置と環境

## １　遺跡の立地

前橋市は、利根川が赤城・榛名の両火山の裾合を経て関東平野を望むところに位置し、地形・地質の特徴から、北東部の赤城火山斜面、南西部の前橋台地利根川右岸、南部から南西部にかけての前橋台地の利根川左岸、東部の広瀬川低地帯という４つの地域に分けられる。

本遺跡の位置する前橋市上細井町は、前橋市の中心市街地から北東へ約４kmの地点にあり、主要地方道前橋・赤城線が西から東流している大正用水と交差する地点から東へ約700mに所在し、赤城火山斜面の下端部、広瀬川低地帯の接点にあたる。この町の周りには、東に鳥取町、北に勝沢町・富士見村、西に龍蔵寺町、南に下細井町がある。また、現在、遺跡地の中央を通過する一般国道17号（上武国道）改築工事の施工に伴って、群馬県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が行われている。遺跡地の周辺は赤城山麓に源を発する小河川が付近を南流し、部分的に開析谷を形成し舌状台地と谷地部を作っている。谷と谷の間の丘陵性の台地は畑地として利用され、谷地部では水田が営まれている。

## ２　歴史的環境

本遺跡の位置する赤城山南麓斜面の台地には、旧石器時代後期から中近世に至る数多くの遺跡が存在し、埋蔵文化財の宝庫として知られている。上細井町においても、縄文時代から中世頃までの土器の散布状況や遺構の確認、調査などが古くから行われている。主な調査済みの遺跡をあげると、Fig ２の２～10が「群馬県遺跡台帳」に包蔵地として記載され、古墳時代の住居跡が検出された田之口遺跡。縄文・弥生時代の土器片が出土した西田之口遺跡。石組竈の住居跡が検出された丑子遺跡。土器片と磨製石斧が発見された天王遺跡。縄文中期と後期の土器片の出土した天間久保遺跡。縄文中期・後期、古墳時代の土器片が出土した灰倹、南灰倹遺跡。古墳時代の土器片が出土した定福遺跡など、遺跡が密集していることがわかる。

また、前橋市教育委員会が近隣で発掘調査を実施したものには、本調査区の南に位置する南田之口遺跡及び北

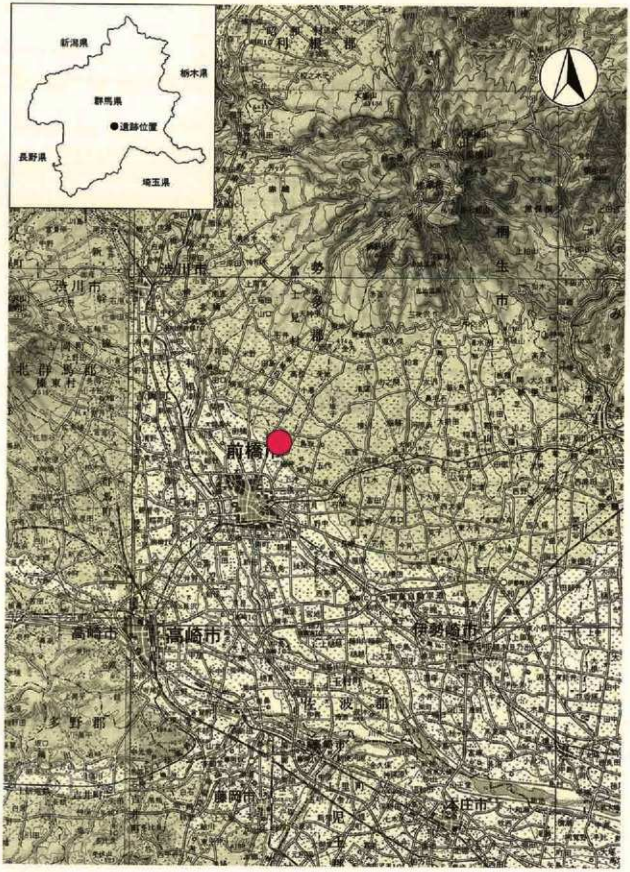



Fig. 1　上細井北遺跡群位置図

に位置する勝沢田之口遺跡があげられる。南田之口遺跡からは古墳時代の住居跡等が検出され、勝沢田之口遺跡からは奈良・平安時代の住居跡、中・近世の溝跡等が検出されている。

その他にも、本調査区の東に位置する芳賀団地遺跡群（芳賀北部団地遺跡、芳賀西部団地遺跡、芳賀東部団地遺跡）、鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡、五代南部工業団地造成に伴う遺跡等があげられる。

芳賀北部団地遺跡は縄文時代前期、後期の竪穴住居跡、中期の敷石住居跡が検出された。また、奈良・平安時代の竪穴住居跡が多数検出され、戦国期の勝山城址も確認された。芳賀西部団地遺跡では縄文前期の住居跡、堀輪棺等のほか古墳綜覧記載漏れの古墳32基が集中して検出され、初期群集墳であることがわかった。芳賀東部団地遺跡では縄文前期の住居跡60軒、中期末葉と後期前半の敷石住居６軒、古墳４基、奈良・平安時代の住居跡約500軒。掘立柱建物跡206軒などが検出した。

鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡では、約13,000年前に堆積した浅間黄色軽石層下の関東ローム層中より旧石器が検出された。細石刃文化石器群と認められるだけでも約350点検出された。器種も細石核、細石刃、スキー状削片、彫刻刀型石器、削器、掻器、礫器など多岐に及んでいる。また、縄文時代前～後期の住居跡、古墳～奈良・平安時代の住居跡等も検出されている。

五代南部工業団地造成に伴う遺跡では、縄文時代前・中期の住居跡・土坑、古墳～奈良・平安時代の住居跡が多数検出されている。

中世以降も勝沢町字雷岐に築かれた勝沢城跡をはじめとする多くの城跡や砦跡が築かれ、本遺跡の位置する赤城山南麓斜面は、旧石器時代の終わりから縄文、古墳、奈良・平安時代、中・近世の遺構が検出されており、この地における連綿とした人々の歩みをみることができる。本遺跡は、そのただ中に位置しており、古代の人々の生活を知るうえで貴重な資料を私たちに提示している。

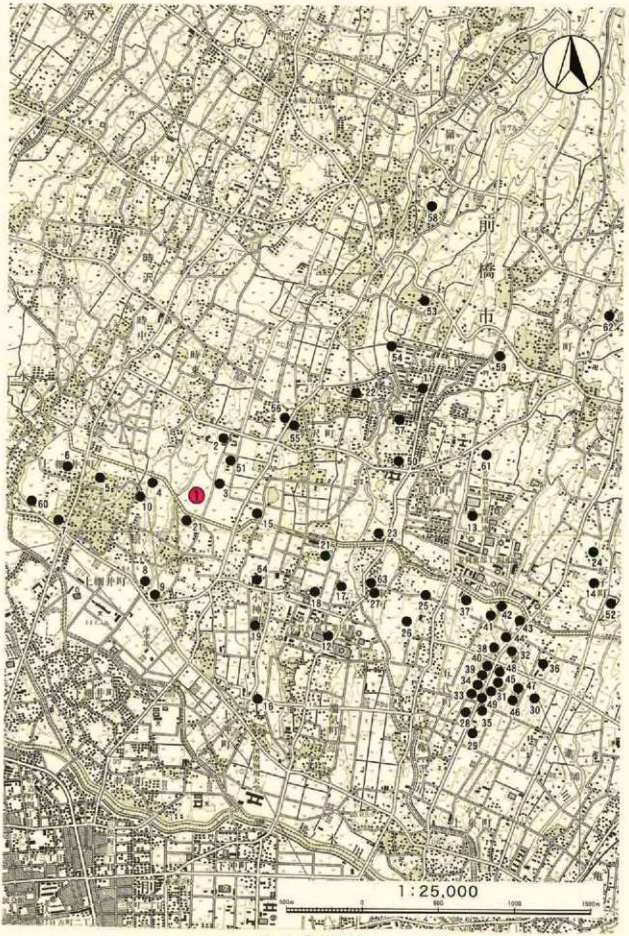



Fig. 2　周辺遺跡図

Tab. 1　上細井北遺跡群周辺遺跡概要一覧表

| No. | 遺跡名 | 調査年度 | 時代：主な遺構・出土遺物 |
|---|---|---|---|
| 1 | 上細井北遺跡群No. 1 | 2008 | 本遺跡 |
| 2 | 田之口遺跡 | | 古墳：住居跡 |
| 3 | 西田之口遺跡 | | 縄文・弥生：土器片 |
| 4 | 丑子遺跡 | | 石組竈をもつ土師器使用の住居跡 |
| 5 | 天王遺跡 | | 縄文：土器片 |
| 6 | 天間久保遺跡 | | 縄文：中・後期土器片 |
| 7 | 薬師遺跡 | | 縄文：中期土器片、古墳：後期土器片 |
| 8 | 灰倹遺跡 | | 縄文：中・後期土器片、古墳：土器片 |
| 9 | 南灰保遺跡 | | 縄文：土器片、古墳：土器片 |
| 10 | 定稲遺跡 | | 古墳：土器片 |
| 11 | 芳賀北部団地遺跡 | 1973・74 | 縄文：住居跡・配石遺構、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・製鉄遺構・溝跡 |
| 12 | 芳賀西部団地遺跡 | 1975 | 縄文：住居跡・配石遺構、古墳：古墳・埴輪帯 |
| 13 | 芳賀東部団地遺跡 | 1976～80 | 縄文：住居跡・配石遺構、古墳：古墳・住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡 |
| 14 | 権堂遺跡 | 1981 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| 15 | 小神明遺跡群Ⅰ | 1982 | 縄文：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| 16 | 権気遺跡群Ⅰ・Ⅱ | 1982・83 | 縄文：住居跡、弥生：方形周溝墓、古墳：住居跡 |
| 17 | 小神明遺跡群Ⅱ　西田遺跡 | 1983 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡・円墳・帆立貝式古墳 |
| 18 | 倉本遺跡 | 1983 | 弥生：住居跡 |
| 19 | 小神明遺跡群Ⅱ　大明神遺跡 | 1983 | 古墳：住居跡 |
| 20 | 小神明遺跡群Ⅱ　九科遺跡 | 1983・85 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡・掘立柱建物跡、奈良・平安：住居跡 |
| 21 | 南田之口遺跡 | 1985 | 縄文：土坑、古墳：住居跡、近世：溝跡 |
| 22 | 芳賀北曲輪遺跡 | 1990 | 縄文：住居跡・配石遺構、古墳：古墳 |
| 23 | 芳賀北原遺跡 | 1991 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| 24 | 五代権峯遺跡 | 1997 | 古墳：住居跡 |
| 25 | 鳥取東原遺跡 | 1997 | 古墳：住居跡、近世：埋葬施設 |
| 26 | 鳥取福蔵寺遺跡 | 1997 | 縄文：住居跡、古墳～平安：住居跡・土坑・掘立柱建物跡、井戸跡 |
| 27 | 鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡 | 1998 | 胆石巻：福石芳文化石器群、縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱遺構・鍛冶工房跡 |
| 28 | 五代江戸屋敷遺跡 | 2000 | 縄文：土坑、古墳：住居跡・方形周溝墓、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：溝跡 |
| 29 | 五代木福Ⅰ遺跡 | 2000 | 縄文：住居跡・配石遺構、古墳：住居跡、奈良・平安：掘立柱建物跡、中世：溝跡 |
| 30 | 五代木福Ⅱ遺跡 | 2000 | 縄文：配石、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世・近世：溝跡 |
| 31 | 五代竹花遺跡 | 2000 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、近世・現代：溝跡 |
| 32 | 五代深堀Ⅰ遺跡 | 2000 | 縄文：住居跡、奈良・平安：住居跡 |
| 33 | 五代伊勢宮Ⅰ遺跡 | 2000 | 古墳～奈良・平安：住居跡、中世・近世：溝跡 |
| 34 | 五代伊勢宮Ⅱ遺跡 | 2001 | 縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡、近世：溝跡 |
| 35 | 五代伊勢宮Ⅲ遺跡 | 2001 | 古墳～奈良・平安：住居跡、中世・近世：溝跡 |
| 36 | 五代深堀Ⅱ遺跡 | 2001 | 縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡 |
| 37 | 五代中原Ⅰ遺跡 | 2001 | 縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡 |
| 38 | 五代伊勢宮Ⅳ遺跡 | 2001 | 縄文：住居跡・土坑、奈良・平安：住居跡 |
| 39 | 五代伊勢宮Ⅴ遺跡 | 2002 | 縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡、中世・近世：溝跡 |
| 40 | 五代伊勢宮Ⅵ遺跡 | 2002 | 縄文：住居跡・土坑、古墳～奈良・平安：住居跡・鍛冶工房跡 |
| 41 | 五代中原Ⅱ遺跡 | 2002 | 縄文：住居跡、古墳：住居跡 |
| 42 | 五代中原Ⅲ遺跡 | 2003 | 古墳：住居跡・土坑 |
| 43 | 五代山街道Ⅰ遺跡 | 2003 | 縄文：住居跡・土坑、古墳：住居跡、平安：住居跡・掘立柱建物 |
| 44 | 五代山街道Ⅱ遺跡 | 2003 | 縄文：土坑 |
| 45 | 五代竹花Ⅱ遺跡 | 2003 | 縄文：住居跡・土坑、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物 |
| 46 | 五代木福Ⅲ遺跡 | 2003 | 古墳～奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡 |
| 47 | 五代木福Ⅳ遺跡 | 2004 | 古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物、中世：溝跡 |
| 48 | 五代深堀Ⅲ遺跡 | 2004 | 縄文：住居跡・土坑・溝跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物 |
| 49 | 五代伊勢宮遺跡（1） | 2006 | 縄文：住居跡・土坑、古墳～奈良・平安：住居跡 |
| 50 | 鳥取番城遺跡 | 2007 | 縄文：土坑、中世：溝跡 |
| 51 | 勝沢田之口遺跡 | 2007 | 奈良・平安：住居跡、中世：溝跡 |

◎その他周辺遺跡
52 権峯古墳　53 柱正田稲塚古墳　54 東公田古墳　55 オブ塚古墳　56 オブ塚西古墳　57 勝沢城跡　58 番城跡
59 小坂子城跡　60 八幡山の砦遺跡　61 鬼巻戸の砦跡　62 小坂子要害城跡　63 鳥取の砦跡　64 小神明の砦跡

# Ⅲ　調査方針と経過

## 1　調査方針

委託された調査箇所は、上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴い築造予定の道・水路用地であるため、道路部分は幅５m、水路部分は幅3.2m～４mの極めて狭長なトレンチ状の調査区となっている。総調査面積は4,162㎡である。現地での調査では、遺構の付番等における混乱をさけるため、調査区全体を１～６区に区分した。遺構番号は、調査区ごとに個別に付番することとし、１区Ｈ－１、２区Ｈ－１のように遺構の前に必ず調査区名を付すこととした。

グリッド座標については国家座標（世界測地系）Ｘ＝47440.000m・Ｙ＝－66840.000を基点（Ｘ０・Ｙ０）とする４mピッチのものを使用し、西から東へＸ１、２、３…、北から南へＹ１、２、３…と付番し、グリッド呼称は北西杭の名称を使用した。

本遺跡のＸ50・Ｙ35の公共座標は以下のとおりである。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 世界測地系 | Ｘ＝47300.000　Ｙ＝－66640.000 | | |
| 緯　　度 | 36° 25′ 26″ 39350 | 経　　度 | 139° 05′ 24″ 60086 |
| 子午線収差角 | 0′ 26″ 28.59 | 増 大 率 | 0.99995470 |

調査方法については、表土掘削・遺構確認・方眼杭等設置・遺構掘下・遺構精査・測量・全景写真の手順で行うこととした。

図面作成は、平板・簡易遣り方測量を用い、遺構平面図は原則として1/20、住居跡竈は1/10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録を記載しながら収納した。包含層の遺物はグリッド単位で収納し、重要遺物については分布図・遺物台帳の記載を行い収納した。

## 2　調査経過

現地調査は平成20年９月１日から平成21年２月10日まで行った。調査経過は下記一覧表のとおりである。

| 工程／区域 | １区 | ２区 | ３区 | ４区 | ５区 | ６区 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 調査面積 | 411㎡ | 1162㎡ | 250㎡ | 59㎡ | 1,400㎡ | 880㎡ |
| 重機掘削 | － | 9/3～9 | 9/10 | 9/10 | 9/16～10/2 | 2/2～3 |
| 遺構確認 | 9/1～ | 9/4～ | 10/14 | 10/14 | － | 2/2 |
| 杭打ち等 | 9/3～ | 9/10～ | 9/24 | 9/24 | 9/11 | 2/2 |
| 遺構掘下 | 9/2～11/2 | 9/9～11/28 | 10/14～17 | 10/16 | 9/17～11/28 | 2/2～10 |
| 遺構精査 | 9/2～11/2 | 9/9～11/28 | 10/14～17 | 10/16 | 9/17～11/28 | 2/2～10 |
| 全景写真 | 11/18 | 11/18 | 11/18 | 11/18 | 11/18 | 2/5 |

１区は国道17号線（上武道路）改築予定地が調査区の中央を横断するため南・北に調査区を分けた。南側調査区は、すでに試掘調査によって表土掘削が終了していたため、９月１日より遺構確認を開始した。遺構確認面は、赤土のソフトローム層であるため容易に遺構の確認を行うことができたが、遺構確認面から住居跡床面までの深さが約50～70cmと比較的深かったため掘下げに時間を要した。精査の結果、土師竪穴式住居跡７軒、溝跡１条、土坑４基を検出した。北側調査区は調査区中央南側部分において50cm程度の段差があり南側はハードローム層で遺構の確認を行った。遺構の密度は低く順調に調査が進んだ。精査の結果、土師竪穴式住居跡１軒、溝跡４条、土坑10基を検出した。

2区は1区と谷地を挟んだ西側の舌状台地上に位置する。表土から遺構確認面までの深度が浅いため、表土掘削、遺構確認は順調にすすんだが、調査区中央部において遺構が高い密度で検出されたため、調査に時間を要した。精査の結果、縄文竪穴式住居跡1軒、土師竪穴式住居跡34軒、溝跡4条、土坑21基を検出した。

3区についても、2区と同様に表土から遺構確認面までの深度が30cm程度と浅く、遺構密度も低いため順調に調査がすすんだ。精査の結果、土師竪穴式住居跡4軒、溝跡1条、土坑1基、井戸跡3基を検出した。

4区は調査面積も狭く検出された遺構は、溝跡1条のみであった。

5区は古墳を中心に調査を行ったが、石室に大量の裏込石が流れ込んでいたため、その石の除去に時間を要した。また、周堀から大量の地下水が湧き出てくるため掘下げが出来ない状態が続いた。精査の結果、古墳1基、土師竪穴式住居跡6軒を検出した。

6区は土地改良により表土を利用するため2月から緊急に調査を行ったが、表土から遺構確認面までの深度が浅いため、表土掘削、遺構確認・掘下げとも順調に進んだ。精査の結果、土師竪穴式住居跡6軒、溝跡1条、土坑1基を検出した。

12月2日より文化財保護課庁舎に戻り、出土遺物・図面・写真等の整理作業及び報告書作成にあたり、翌年3月19日までに全ての作業を終了した。

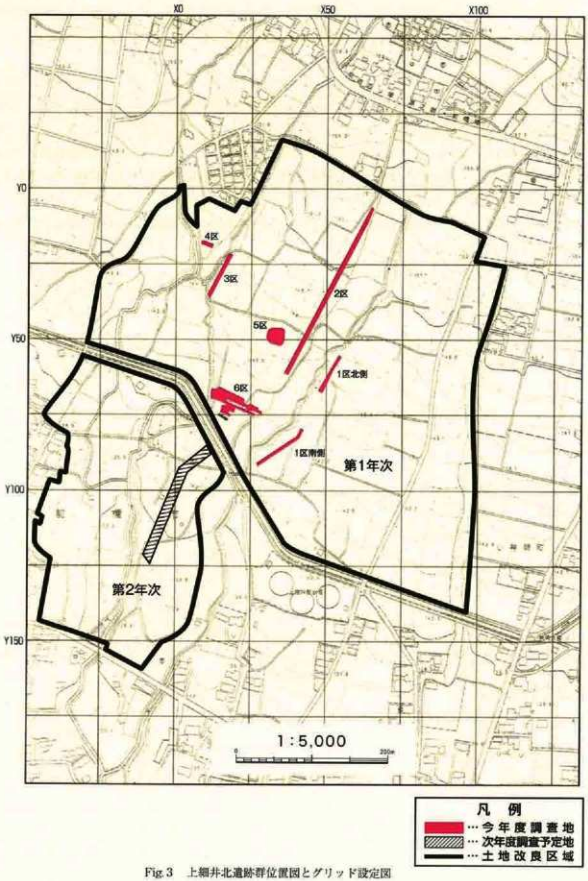
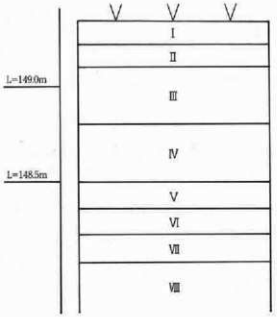



Fig.3　上細井北遺跡群位置図とグリッド設定図

# Ⅳ　基本層序

本遺跡の基本土層は、２区北側部分をもとに模式的に断面図を作成し、それについての土層説明を下記に掲載した。また、地点により堆積状態の差異はあるが基本的にはFig. 4に示したとおりである。




Ⅰ層　現耕作土
Ⅱ層　明赤褐色粗砂層（5YR5/6）　締まり◎　粘性△
　　鉄分凝集層。
Ⅲ層　にぶい黄褐色細砂層（10YR5/4）　締まり○　粘性○
　　ソフトローム層。小礫（5㎜）10%、白色軽石５%
Ⅳ層　にぶい黄褐色細砂層（YR5/4）　締まり○　粘性○
　　ソフトローム層。小礫（5㎜）５%、白色軽石２%
Ⅴ層　灰黄褐色細砂層（10 YR4/2）　締まり◎　粘性○
　　ハードローム層。白色軽石３%、灰黄褐色ブロック（10～20cm）を含む
Ⅵ層　にぶい黄褐色微砂層（10YR5/4）　締まり◎　粘性◎
　　白色軽石10%
Ⅶ層　にぶい黄褐色微砂層（10 YR5/4）　締まり○　粘性◎
　　ハードローム層。わずかに細砂を含む
Ⅷ層　褐色細砂層（10 YR4/4）　締まり○　粘性◎
　　鉄分凝集層。わずかに小礫を含む

Fig. 4　基本層序

# V　遺構と遺物

## 1区

### (1)　竪穴式住居跡

**H－1**（Fig.13·50·58、PL. 1·15·23）

**位置**　X31·32、Y87·88グリッド　**主軸方向**　N－86°－W　**規模**　長軸（4.86）m、短軸（4.72）m、壁現高51cm。**面積**　（14.94）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　西壁やや南寄りに位置する。主軸方向N－80°－W。全長110cm、最大幅120cm、焚口部幅40cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数325点。そのうち土師器坏1点・甕1点、石錘1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

**H－2**（Fig.14·50·51·58、PL. 1·15·16·23）

**位置**　X33～35、Y86·87グリッド　**主軸方向**　N－43°－W　**規模**　長軸6.40m、短軸（3.32）m、壁現高71cm。**面積**　（17.08）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　北西壁やや北寄りに位置する。主軸方向N－55°－W。全長96cm、最大幅100cm、焚口部幅32cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　D－2と重複しており、新旧関係は本遺構→D－2の順である。　**出土遺物**　総数605点。そのうち土師坏11点・甕5点・甑1点・土製支脚1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀中葉と考えられる。

**H－3**（Fig.13·51、PL. 1·16）

**位置**　X37·38、Y84·85グリッド　**主軸方向**　N－83°－E　**規模**　長軸3.58m、短軸（2.57）m、壁現高は59cm。**面積**　（5.46）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数183点。そのうち土師坏2点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

**H－4**（Fig.14·51、PL. 1·16）

**位置**　X37～39、Y83·84グリッド　**主軸方向**　N－47°－E　**規模**　長軸4.97m、短軸（2.20）m、壁現高40cm。**面積**　（7.75）㎡　**床面**　平坦な床面。一部貼り床有。南東壁に一部周溝有。　**竈**　袖部のみ検出。北東壁に位置する。袖構築材に粘土を用いる。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数135点。そのうち土師器坏1点·壺1点を図示。**時期**　覆土や出土遺物から6世紀中葉と考えられる。

**H－5**（Fig.15·51、PL. 1·16）

**位置**　X41、Y79·80グリッド　**主軸方向**　N－31°－E　**規模**　長軸3.80m、短軸（1.20）m、壁現高は47cm。**面積**　（3.57）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。一部貼り床有。　**竈**　不明。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数96点。そのうち土師器坏1点・甕1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀中葉と考えられる。

**H－6**（Fig.15·51、PL. 2·16）

**位置**　X38·39、Y83·84グリッド　**主軸方向**　N－59°－E　**規模**　長軸7.04m、短軸（0.8）m、壁現高39cm。**面積**　（3.45）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　D－5と重複しており、新旧関係は本遺構→D－5の順である。　**出土遺物**　総数185点。そのうち土師器坏1点・高坏1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀前半と考えられる。

**H－7**（Fig.15･51、PL. 2･16）

**位置** X40･41、Y80～82グリッド **主軸方向** N－72°－E **規模** 長軸［6.80］m、短軸［6.70］m、壁現高67cm。 **面積** （20.44）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝･間仕切り溝有。 **竈** 不明。床面に一部焼土の硬化部分有。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数652点。そのうち土師器高坏1点・坩1点・鉢1点・甕1点・甑1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から5世紀後半と考えられる。 **備考** 覆土にHr－FAが堆積。床面に多量の焼土・炭化材有。

**H－8** 欠番（D－2に変更）

**H－9**（Fig.16、PL. 2）

**位置** X52･53、Y56～58グリッド 主軸方向 N－52°－E **規模** 長軸（8.40）m、短軸（6.04）m、壁現高30cm。 **面積** （24.80）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 不明。 **重複** W－2・5と重複しており、新旧関係は、本遺構→W－5→W－2の順である。 **出土遺物** 総数15点。 **時期** 不明。

## (2) 溝　　跡

**W－1**（Fig.17、PL. 2）

**位置** X28･29、Y90･91グリッド **主軸方向** N－101°－E・N－90°－E **長さ** 8.4m **最大幅** 上幅0.76m、下幅0.62m **深さ** 14cm **形状等** U字形 **重複** なし。 **出土遺物** 総数53点。 **時期** 覆土から古代と考えられる。

**W－2**（Fig.16、PL. 2）

**位置** X53、Y56･57グリッド **主軸方向** N－7°－W **長さ** 5.2m **最大幅** 上幅1.32m、下幅1.18m **深さ** 59cm **形状等** U字形 **重複** H－9と重複し、新旧関係はH－9→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数13点。 **時期** 覆土から中世と考えられる。

**W－3**（Fig.17、PL. 2）

**位置** X49･50、Y63･64グリッド **主軸方向** N－118°－E **長さ** 3.7m **最大幅** 上幅0.84m、下幅0.26m **深さ** 33cm **形状等** U字形。 **重複** なし。 **出土遺物** なし。 **時期** 覆土から中世以降と考えられる。

**W－4**（Fig.17、PL. 2）

**位置** X49･50、Y62･63グリッド **主軸方向** N－119°－E **長さ** 3.6m **最大幅** 上幅1.44m、下幅0.30m **深さ** 27cm **形状等** U字形 **重複** なし。 **出土遺物** なし。 **時期** 覆土から中世以降と考えられる。

**W－5**（Fig.16、PL. 2）

**位置** X52、Y57～59グリッド **主軸方向** N－4°－W **長さ** 9.4m **最大幅** 上幅2.80m、下幅1.04m **深さ** 115cm **形状等** 逆台形 **重複** H－9と重複し、新旧関係はH－9→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数14点。 **時期** 覆土から古代と考えられる。 **備考** 覆土上面にAs－B純層が堆積。

### (3) 土坑・ピット (Fig.17)

土坑・ピットについては、Tab. 4 土坑計測表、Tab. 5 ピット計測表を参照のこと。遺物総数161点出土。

### (4) グリッド等出土遺物 (Fig.58、PL.23)

総数752点出土。そのうち白玉2点を図示。

## 2区

### (1) 竪穴式住居跡

**J－1** (Fig.18·49·58、PL. 3·14·23)

**位置** X43·44、Y45～47グリッド **主軸方向** N－23°－W **規模** 長軸 (4.92) m、短軸 (3.98) m、壁現高61cm。 **面積** (13.91)㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。 **炉** 中央やや南寄りに検出され、長軸65cm、短軸40cm、深さ10cm。 **重複** W－3と重複しており、新旧関係は本遺構→W－3の順である。 **出土遺物** 総数209点。そのうち縄文土器19点、石皿1点、磨石1点を図示。 **時期** 出土遺物から縄文時代前期（諸磯c式期）と考えられる。

**H－1** (Fig.18、PL. 3)

**位置** X36·37、Y61グリッド **主軸方向** N－51°－E **規模** 長軸 (2.50) m、短軸 (2.30) m、壁現高40cm。 **面積** (3.80)㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。 **竈** 東壁に位置する。主軸方向N－58°－E。全長 (84)cm、最大幅 (84)cm、焚口部幅26cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数69点。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀後半から7世紀前半と考えられる。

**H－2** (Fig.18、PL. 3)

**位置** X37、Y59·60グリッド **主軸方向** N－68°－E **規模** 長軸 (1.98) m、短軸 (1.90) m、壁現高54cm。 **面積** (1.57)㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。 **竈** 不明。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数104点。そのうち縄文土器1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀代と考えられる。

**H－3** (Fig.19·52、PL. 3·17)

**位置** X38·39、Y55·56グリッド **主軸方向** N－73°－E **規模** 長軸4.50m、短軸 [3.92] m、壁現高33cm。 **面積** (11.15)㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 東壁やや南寄りに位置する。主軸方向N－73°－E。全長80cm、最大幅116cm、焚口部幅26cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** H－4と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－4の順である。 **出土遺物** 総数263点。そのうち土師器坏1点·高坏1点·坩2点·手捏土器1点·甕5点·甑1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から5世紀後半と考えられる。

**H－4** (Fig.20·52·53、PL. 4·17·18)

**位置** X39·40、Y54～56グリッド **主軸方向** N－32°－E **規模** 長軸6.20m、短軸4.66m、壁現高34cm。 **面積** (25.86)㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。周溝·間仕切り溝有。 **竈** 北東壁に位置する。主軸方向N－30°－E。全長124cm、最大幅104cm、焚口部幅30cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** H－3と重複しており、新旧関係は、H－3→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数594点。そのうち土師器坏3点·甕2点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀中葉と考えられる。

**H－5**（Fig.19･52、PL. 4･17）

**位置** X40･41、Y51･52グリッド **主軸方向** N－43°－E **規模** 長軸4.36m、短軸（3.22）m、壁現高32cm。**面積**（10.07）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 北東壁に位置する。主軸方向N－48°－E。全長82cm、最大幅100cm、焚口部幅40cm。構築材に粘土を用いる。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数52点。そのうち土師器坏2点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀初頭と考えられる。 **備考** 床面にHr－FA堆積。

**H－6**（Fig.21･52･58、PL. 4･17･23）

**位置** X52･53、Y28～30グリッド **主軸方向** N－97°－E **規模** 長軸4.78m、短軸4.58m、壁現高37cm。**面積**（19.93）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 東壁南寄りに位置する。主軸方向N－110°－E。最大幅122cm、焚口部幅62cm。構築材に粘土を用いる。 **重複** H－18と重複しており、新旧関係は、H－18→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数606点。そのうち須恵器坏1点、砥石1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－7**（Fig.22･53、PL. 4･18）

**位置** X45～47、Y40～43グリッド **主軸方向** N－61°－E **規模** 長軸8.70m、短軸（6.70）m、壁現高30cm。**面積**（31.02）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝･間仕切溝有。 **竈** 東壁に位置する。主軸方向N－63°－E。全長［124］cm、最大幅［116］cm、焚口部幅［40］cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数571点。そのうち縄文土器6点、土師器坏2点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

**H－8**（Fig.21･53、PL. 5･18）

**位置** X46･47、Y39･40グリッド 主軸方向 N－44°－E **規模** 長軸（3.20）m、短軸（1.12）m、壁現高19cm。**面積**（1.72）㎡ **床面** 平坦な床面。 **竈** 不明。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数6点。そのうち土師器坏1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から5世紀末と考えられる。 **備考** 覆土にHr－FA堆積。

**H－9**（Fig.23･53、PL. 5･18）

**位置** X47･48、Y38～40グリッド **主軸方向** N－39°－E **規模** 長軸（5.00）m、短軸（3.24）m、壁現高34cm。**面積**（12.02）㎡ **床面** 平坦な床面。 **竈** 不明。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数386点。そのうち土師器坏1点・甕1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀中葉と考えられる。

**H－10**（Fig.21･53、PL. 5･18）

**位置** X48･49、Y36･37グリッド **主軸方向** N－53°－E **規模** 長軸（2.66）m、短軸（2.44）m、壁現高10cm。**面積**（4.59）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 袖部のみ検出。南西壁に位置する。構築材に粘土を用いる。 **重複** H－11と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－11の順である。 **出土遺物** 総数77点。そのうち土師器甕3点・甑1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物、重複関係から6世紀前半と考えられる。

**H－11**（Fig.24･53、PL. 5･18）

**位置** X48～50、Y35～37グリッド **主軸方向** N－53°－E **規模** 長軸（5.70）m、短軸5.34m、壁現高47cm。**面積**（23.35）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 東壁南寄りに位置する。主軸方向N－62°－E。全長158cm、最大幅138cm、焚口部幅50cm。構築材に粘土を用いる。 **重複** H－10･13と重複しており、新旧関係は、H－10→本遺構→H－13の順である。 **出土遺物** 総数608点。そのうち土師器坏1点を図示。 **時期**

覆土や出土遺物から7世紀中葉と考えられる。

H－12（Fig.23・53、PL. 5・18）

**位置** X49・50、Y34・35グリッド **主軸方向** N－90°－E **規模** 長軸（2.10）m、短軸（1.30）m、壁現高41cm。**面積** （1.70）㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。 **竈** 東壁に位置する。主軸方向N－85°－E。全長108cm、最大幅70cm、焚口部幅30cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数222点。そのうち須恵器高台椀1点・土師器台付甕1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

H－13（Fig.23、PL. 5）

**位置** X49・50、Y36・37グリッド **主軸方向** N－8°－E **規模** 長軸［3.58］m、短軸［1.40］m、壁現高31cm。**面積** （2.25）㎡ **床面** 平坦な床面。 **竈** 不明。 **重複** H－11と重複しており、新旧関係は、H－11→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数22点。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀代と考えられる。

H－14（Fig.25・53、PL. 5・18）

**位置** X50・51、Y33・34グリッド **主軸方向** N－5°－E **規模** 長軸4.94m、短軸3.54m、壁現高47cm。 **面積** （15.02）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 袖部のみ検出。東壁に位置する。袖構築材に粘土を用いる。 **重複** H－15・16・32と重複しており、新旧関係は、H－32→H－16→H－15→本遺構の順である。**出土遺物** 総数675点。そのうち土師器坏3点・甕1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀中葉と考えられる。

H－15（Fig.25・53・54、PL. 6・18・19）

**位置** X51・52、Y32・33グリッド **主軸方向** N－61°－E **規模** 長軸（3.66）m、短軸（3.12）m、壁現高47cm。**面積** （5.94）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 不明。 **重複** H－14と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－14の順である。 **出土遺物** 総数324点。そのうち土師器坏3点・甕1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

H－16（Fig.26・54、PL.19）

**位置** X50～52、Y31・32グリッド **主軸方向** N－45°－E **規模** 長軸8.80m、短軸（4.58）m、壁現高27cm。**面積** （26.01）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。 **竈** 不明。 **重複** H－14・17と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－14・17の順である。 **出土遺物** 総数356点。そのうち縄文土器2点、土師器坏1点・甕1点を図示。**時期** 覆土や出土遺物から6世紀中葉から後半と考えられる。

H－17（Fig.26・54、PL. 6・19）

**位置** X51、Y31・32グリッド **主軸方向** N－104°－E **規模** 長軸（3.80）m、短軸（2.44）m、壁現高36cm。**面積** （7.11）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。 **竈** 東壁南寄りに位置する。主軸方向N－99°－E。全長78cm、最大幅50cm、焚口部幅22cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** H－16・34と重複しており、新旧関係は、H－34→H－16→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数274点。そのうち須恵器高台椀1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－18**（Fig.27・54・58、PL. 6・19・23）

**位置**　X52～55、Y26～29グリッド　**主軸方向**　N－65°－E　**規模**　長軸（12.20）m、短軸（8.56）m、壁現高67cm。**面積**　（48.67）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　不明。　**重複**　H－6・30と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－6・30の順である。　**出土遺物**　総数436点。そのうち土師器鉢1点・甕1点、石製紡錘車1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から5世紀後半と考えられる。

**H－19**（Fig.28・54、PL. 6・7・19）

**位置**　X54・55、Y24・25グリッド　**主軸方向**　N－95°－E　**規模**　長軸（3.18）m、短軸（1.32）m、壁現高43cm。**面積**　（2.56）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向N－98°－E。全長118cm、最大幅94cm、焚口部幅60cm。構築材に粘土、石、甕を用いる。**重複**　なし。　**出土遺物**　総数490点。そのうち土師器甕1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－20**（Fig.28・54・58、PL. 7・19・23）

**位置**　X55・56、Y22・23グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　長軸4.56m、短軸3.68m、壁現高41cm。　**面積**　（15.53）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　撹乱により壊されているが、東壁南寄りに位置すると推定される。主軸方向N－90°－E。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数601点。そのうち須恵器坏1点、砥石1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－21**（Fig.29・54、PL. 7・19）

**位置**　X56、Y21・22グリッド　**主軸方向**　N－83°－E　**規模**　長軸（2.90）m、短軸（2.04）m、壁現高33cm。**面積**　（2.93）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。　**竈**　東壁に位置する。主軸方向N－83°－E。全長80cm、最大幅80cm、焚口部幅68cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**なし。　**出土遺物**　総数247点。そのうち土師器坏1点・甕1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－22**（Fig.29・58、PL. 7・23）

**位置**　X56・57、Y20・21グリッド　主軸方向　N－53°－E　**規模**　長軸（3.84）m、短軸（2.20）m、壁現高39cm。**面積**　（3.82）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　なし。**出土遺物**　総数44点。そのうち臼玉3点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

**H－23**（Fig.29、PL. 7）

**位置**　X57・58、Y20・21グリッド　**主軸方向**　N－5°－E　**規模**　長軸（1.65）m、短軸（1.08）m、壁現高20cm。**面積**　（1.30）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－24と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－24の順である。　**出土遺物**　総数18点。　**時期**　覆土や出土遺物、重複関係から9世紀中葉と考えられる。

**H－24**（Fig.29・54、PL. 7・19）

**位置**　X57・58、Y20・21グリッド　**主軸方向**　N－2°－E　**規模**　長軸2.95m、短軸2.90m、壁現高27cm。　**面積**　（7.27）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。　**竈**　不明。　**重複**　H－23と重複しており、新旧関係は、H－23→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数102点。そのうち須恵器坏1点・高台椀1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－25**（Fig.30･54、PL. 7･19）

**位置**　X59･60、Y14･15グリッド　**主軸方向**　N－83°－E　**規模**　長軸（4.00）m、短軸3.60m、壁現高30cm。**面積**　（10.49）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向N－87°－E。全長112cm、最大幅98cm、焚口部幅28cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数35点。そのうち土師器坏1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

**H－26**（Fig.30･54、PL. 8･19）

**位置**　X61、Y12･13グリッド　**主軸方向**　N－107°－E　**規模**　長軸（4.04）m、短軸（2.28）m、壁現高12cm。**面積**　（7.61）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。　**竈**　東壁南寄りに位置する。主軸方向N－104°－E。全長80cm、最大幅92cm、焚口部幅32cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数403点。そのうち須恵器坏1点・高台皿1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－27**（Fig.31･54、PL. 8･19）

**位置**　X42･43、Y47～49グリッド　**主軸方向**　N－47°－E　**規模**　長軸（5.20）m、短軸（2.96）m、壁現高63cm。**面積**　（9.09）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　不明。　**重複**　W－4と重複しており、新旧関係は、本遺構→W－4の順である。　**出土遺物**　総数293点。そのうち縄文土器3点、土師器高坏2点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から5世紀後半と考えられる。　**備考**　覆土にHr－FA堆積。

**H－28**（Fig.30、PL. 8）

**位置**　X45、Y45グリッド　**主軸方向**　N－54°－E　**規模**　長軸（2.48）m、短軸（1.26）m、壁現高34cm。　**面積**　（1.10）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　W－3と重複しており、新旧関係は、本遺構→W－3の順である。　**出土遺物**　総数2点。　**時期**　覆土から6世紀初頭と考えられる。　**備考**　床面にHr－FA堆積。

**H－29**（Fig.31･54･55、PL. 8･19･20）

**位置**　X52、Y30･31グリッド　**主軸方向**　N－21°－W　**規模**　長軸（3.44）m、短軸（2.88）m、壁現高60cm。**面積**　（4.04）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　北壁に位置する。煙道部のみ検出。主軸方向N－5°－W。全長（94）cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　H－34と重複しており、新旧関係は、H－34→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数69点。そのうち土師器坏1点・甕1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半から7世紀前半と考えられる。

**H－30**（PL. 8）

**位置**　X53、Y28グリッド　**竈**　焚口から煙道部のみ検出。主軸方向N－110°－E。全長（104）cm、最大幅（100）cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　H－18と重複しており、新旧関係は、H－18→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数36点。　**時期**　出土遺物から9世紀代と考えられる。

**H－31**（Fig.31、PL. 8）

**位置**　X55、Y25･26グリッド　**主軸方向**　N－43°－E　**規模**　長軸（3.58）m、短軸（1.70）m、壁現高40cm。**面積**　（3.56）㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　なし。　**出土遺物**　なし。　**時期**　不明。

**H－32**（Fig.32･54･55、PL. 9･19･20）

**位置** X50･51、Y34･35グリッド **主軸方向** N－35°－W **規模** 長軸（3.50）m、短軸（2.80）m、壁現高28cm。**面積**（5.73）㎡ 床面 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 不明。 **重複** H－14と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－14の順である。 **出土遺物** 総数73点。そのうち土師器坏1点・甕1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から5世紀末頃と考えられる。 **備考** 覆土にHr－FA堆積。

**H－33**（Fig.32･54、PL. 9･19）

**位置** X58･59、Y17･18グリッド **主軸方向** N－48°－E **規模** 長軸4.24m、短軸（3.22）m、壁現高9cm。**面積**（9.62）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。 **竈** 東壁南寄りに位置する。主軸方向N－57°－E。全長100cm、最大幅78cm、焚口部幅34cm。構築材に粘土を用いる。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数78点。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀後半から7世紀前半と考えられる。

**H－34**（Fig.32）

**位置** X51･52、Y30･31グリッド **主軸方向** N－87°－E **規模** 長軸（5.80）m、短軸（5.24）m、壁現高3cm。**面積**（17.89）㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。周溝有。 **竈** 不明。 **重複** H－16・17・29と重複しており、新旧関係は、本遺構→H－16・29→H－17の順である。 **出土遺物** 総数6点。 **時期** 重複関係から6世紀中葉以前と考えられる。

## (2) 溝　　跡

**W－1**（Fig.33･55、PL.20）

**位置** X39･40、Y56･57グリッド **主軸方向** N－67°－W **長さ** 4.8m **最大幅** 上幅2.02m、下幅1.20m **深さ** 31cm **形状等** U字形。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数9点。 **時期** 覆土から中世以降と考えられる。

**W－2**（Fig.33、PL. 9）

**位置** X42･43、Y49･50グリッド **主軸方向** N－58°－W **長さ** 4.9m **最大幅** 上幅1.60m、下幅0.38m **深さ** 58cm **形状等** 逆台形。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数49点。 **時期** 覆土から古代と考えられる。

**W－3**（Fig.33、PL. 9）

**位置** X43～45、Y45～47グリッド **主軸方向** N－55°－E **長さ** 9.5m **最大幅** 上幅0.80m、下幅0.38m **深さ** 37cm **形状等** U字形。 **重複** J－1、H－28と重複し、新旧関係はJ－1→H－28→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数50点。そのうち縄文土器2点を図示。 **時期** 覆土から古代と考えられる。

**W－4**（Fig.33、PL. 9）

**位置** X42･43、Y48･49グリッド **主軸方向** N－58°－W **長さ** 4.9m **最大幅** 上幅0.70m、下幅0.40m **深さ** 23cm **形状等** U字形。 **重複** H－27と重複し、新旧関係はH－27→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数16点。 **時期** 覆土から古代と考えられる。

## (3) 土坑・ピット（Fig.33･34･55･58、PL.20･23）

土坑・ピットについては、Tab. 4・5土坑・ピット計測表を参照のこと。遺物総数203点出土。そのうち縄文土器1点、土師器甕1点、灰釉陶器高台椀1点、石製紡錘車1点を図示。

### (4) グリッド等出土遺物

総数1,311点出土。そのうち縄文土器3点を図示。

## 3区

### (1) 竪穴式住居跡

**H－1** (Fig.35·55、PL. 9·20)

**位置** X11、Y33·34グリッド **主軸方向** N－110°－E **規模** 長軸3.84m、短軸 (3.12) m、壁現高25cm。**面積** (10.72)㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。一部貼り床有。 **竈** 東壁中央に位置する。主軸方向N－116°－E。全長64cm、最大幅76cm、焚口部幅36cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** H－2と重複しており、新旧関係は本遺構→H－2の順である。 **出土遺物** 総数119点。そのうち土師器甕1点、須恵器坏1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀中葉と考えられる。

**H－2** (Fig.35·55、PL. 9·20)

**位置** X10·11、Y34グリッド **主軸方向** N－92°－E **規模** 長軸 (3.70) m、短軸 (1.70) m、壁現高28cm。**面積** (3.41)㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。 **竈** 東壁やや南に位置する。主軸方向N－92°－E。全長88cm、最大幅54cm、焚口部幅24cm。構築材に粘土・石を用いる。 **重複** H－1と重複しており、新旧関係はH－1→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数170点。そのうち須恵器高台椀1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀後半と考えられる。

**H－3** (Fig.36、PL.10)

**位置** X12、Y32·33グリッド **主軸方向** N－5°－E **規模** 長軸 [4.40] m。短軸 [3.04] m、 **面積** [9.91]㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼り床。 **竈** 不明。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数9点。 **時期** 覆土や出土遺物から9世紀代と考えられる。

**H－4** (Fig.35)

**位置** X17·18、Y22·23グリッド **主軸方向** N－40°－E **規模** 長軸 (4.58) m、短軸 (1.26) m、壁現高11cm。**面積** (2.76)㎡ **床面** 平坦な床面。 **竈** 不明。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数5点。 **時期** 不明。

### (2) 溝　　跡

**W－1** (Fig.36、PL.10)

**位置** X12～14、Y29·30グリッド **主軸方向** N－68°－W **長さ** 4.4m 最大幅 上幅2.34m、下幅0.20m **深さ** 94cm **形状等** 逆台形。 **出土遺物** 総数3点。 **時期** 覆土から中世と考えられる。

### (3) 土坑・井戸跡・ピット (Fig.36)

土坑・井戸跡・ピットについては、Tab. 4・5土坑・井戸跡、ピット計測表を参照のこと。遺物総数14点。

### (4) グリッド等出土遺物

総数66点出土。

## 4区

### (1) 溝　　跡

**W－1** (Fig.36)

**位置**　X８、Y17･18グリッド　**主軸方向**　N－7°－E　**長さ**　4.3m　**最大幅**　上幅（0.94）m、下幅0.28cm。**深さ**　14cm　**形状等**　U字形。　**時期**　覆土から古代と考えられる。

### (2) ピ ッ ト

ピットについては、Tab. 5 ピット計測表を参照のこと。

### (3) グリッド等出土遺物

総数５点出土。

## 5区

### (1) 古　　墳

**M－1** (Fig.37～43･58、PL.10～12･23)

**位置**　X28～37、Y43～53グリッド　**主軸方向**　N－8°－W　**墳丘**　円墳。長軸（14.6）m、短軸（13.5）m、高さ（1.29）m。　**石室**　両袖型横穴式石室。全長6.8m、玄室長3.9m、玄室幅1.7m、羨道長2.9m、羨道幅0.9m。石材は奥壁、側壁の大型の石材に粗粒輝石安山岩、奥壁の隅、両袖部分の小型の石材に角閃石安山岩を使用している。大型の石材については、ハツリ痕があり、玉石下にハツリ屑が見つかっていることから壁石設置時に最終的な調整を行ったものと推定される。裏込石は３～30cm大の石を使用し、壁石に近い部分と外側に比較的大きい石を使用している。　**周堀**　合計８本のトレンチを入れたうち古墳前面にあたる南側の第４トレンチからは周堀が検出されなかった。第４トレンチを拡張した結果、平面形状は南側前面部が開く馬蹄形状となると考えられる。周堀の覆土は、最上層に As－B の純層が厚さ約10～20cm検出され、中層以下は As－C･Hr－FA 混土やローム土等が検出されている。幅（7.0）～12.0m、深さ1.1～1.2mを測り、ハードローム面まで達していた。　**重複**　H－1～6と重複しており、新旧関係はH－1～6→本遺構の順である。　**出土遺物**　総数714点。　**時期**　覆土や重複関係から７世紀代と考えられる。

### (2) 竪穴式住居跡

**H－1** (Fig.44)

**位置**　X34～36、Y51･52グリッド　**主軸方向**　N－34°－W　**規模**　長軸［5.94］m、短軸（3.60）m、壁現高36cm。**面積**　（18.29）㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　M－1周堀と重複しており、新旧関係は本遺構→M－1の順である。　**時期**　覆土や重複関係から６世紀代と考えられる。

**H－2** (Fig.44･55、PL.20)

**位置**　X33･34、Y52･53グリッド　**主軸方向**　N－83°－E　**規模**　長軸5.70m、短軸5.54m、壁現高51cm。　**面積**　（29.55）㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。周溝有。　**竈**　東壁やや南に位置する。主軸方向N－86°－E。全長［40］cm、最大幅［60］cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　M－1周堀と重複しており、新旧関係は本遺構→

M－1周堀の順である。　**出土遺物**　総数115点。そのうち土師器甕1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀中葉と考えられる。

H－3（Fig.45·55、PL.12·20）

**位置**　X30·31、Y51·52グリッド　**主軸方向**　N－85°－E　**規模**　長軸5.06m、短軸［4.40］m、壁現高は50cm。**面積**　(18.65)㎡　**床面**　平坦で堅緻な貼り床。　**竈**　東壁やや北寄りに位置する。主軸方向N－90°－E。全長164cm、最大幅110cm、焚口部幅32cm。構築材に粘土を用いる。　**重複**　M－1周堀、H－4と重複しており、新旧関係はH－4→本遺構→M－1周堀の順である。　**出土遺物**　総数102点。そのうち須恵器坏1点を図示。**時期**　覆土や出土遺物から6世紀中葉と考えられる。

H－4（Fig.45·55～58、PL.12·20～23）

**位置**　X30·31、Y52グリッド　**主軸方向**　N－14°－W　**規模**　長軸（3.56）m、短軸（2.94）m、壁現高19cm。**面積**　(5.12)㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。　**竈**　不明。　**重複**　H－3と重複しており、新旧関係は本遺構→H－3の順である。　**出土遺物**　総数685点。そのうち土師器高坏2点・坩2点・甕18点・鉢2点・はそう1点、勾玉1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から5世紀後半と考えられる。

H－5（Fig.45·57、PL.22）

**位置**　X32·33、Y47·48グリッド　**主軸方向**　N－27°－W　**規模**　長軸（4.78）m、短軸（2.54）m、壁現高32cm。**面積**　(6.05)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　M－1と重複しており、新旧関係は本遺構→M－1の順である。　**出土遺物**　総数1点。そのうち土師器坏1点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

H－6（Fig.45）

**位置**　X35、Y48·49グリッド　**主軸方向**　N－53°－W　**規模**　長軸（1.36）m、短軸（0.90）m、壁現高24cm。**面積**　(0.52)㎡　**床面**　平坦な床面。　**竈**　不明。　**重複**　M－1と重複しており、新旧関係は本遺構→M－1の順である。　**出土遺物**　総数1点。　**時期**　覆土や重複関係から6世紀代と考えられる。

### (3)　グリッド等出土遺物

総数796点出土。

## 6区

### (1)　竪穴式住居跡

H－1（Fig.46·57、PL.12·22）

**位置**　X23～25、Y71～73グリッド　**主軸方向**　N－80°－E　**規模**　長軸6.14m、短軸6.12m、壁現高35cm。**面積**　35.78㎡　**床面**　平坦で堅緻な床面。周溝・間仕切り溝有。　**竈**　東壁南寄に位置する。主軸方向N－85°－E。全長119cm、最大幅120cm、焚口部幅44cm。構築材に粘土、石を用いる。　**重複**　なし。　**出土遺物**　総数290点。そのうち土師器坏3点を図示。　**時期**　覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

H－2（Fig.47·57、PL.13·22）

**位置**　X18·19、Y72·73グリッド　**主軸方向**　N－87°－E　**規模**　長軸4.26m、短軸3.32m、壁現高8cm。　**面**

**積** [14.06]㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。 **竈** 東壁中央に位置する。主軸方向N－87°－E。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数43点。そのうち土師器坏1点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀中葉から後半と考えられる。

**H－3** (Fig.48･57、PL.13･22)

**位置** X16･17、Y72･73グリッド **主軸方向** N－3°－W **規模** 長軸4.56m、短軸3.40m、壁現高は19cm。 **面積** [16.22]㎡ **床面** 平坦で堅緻な貼床。 **竈** 北壁中央に位置する。主軸方向N－2°－E。全長136cm、最大幅82cm、焚口部幅20cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** H－4と重複しており、新旧関係はH－4→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数158点。そのうち土師器坏2点を図示。 **時期** 覆土や出土遺物から7世紀前半と考えられる。

**H－4** (Fig.48、PL.13)

**位置** X15･16、Y73･74グリッド **主軸方向** N－59°－E **規模** 長軸3.76m、短軸2.84m、壁現高19cm。 **面積** (9.32)㎡ **床面** 平坦で堅緻な床面。 **竈** 東壁中央に位置する。主軸方向N－58°－E。全長98cm、最大幅120cm、焚口部幅24cm。構築材に粘土、石を用いる。 **重複** H－3と重複しており、新旧関係はH－4→本遺構の順である。 **出土遺物** 総数26点。 **時期** 覆土や出土遺物、重複関係から6世紀代と考えられる。

**H－5** (Fig.48、PL.13)

**位置** X20～22、Y68～70グリッド **主軸方向** N－22°－W **規模** 長軸 (5.22)m、短軸 (4.72)m、壁現高9cm。 **面積** (13.23)㎡ **床面** 平坦な床面。周溝有。 **竈** 不明。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数22点。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀代から7世紀代と考えられる。

**H－6** (Fig.47、PL.13)

**位置** X15･16、Y68･69グリッド **主軸方向** N－73°－E **規模** 長軸4.42m、短軸4.40m、壁現高20cm。 **面積** [18.34]㎡ **床面** 平坦な床面。周溝･間仕切り溝有。 **竈** 不明。 **重複** なし。 **出土遺物** 総数125点。 **時期** 覆土や出土遺物から6世紀後半と考えられる。

Tab.2　竪穴式住居跡計測表

1区

| 遺構名 | 位置 | 規模（m） 長軸 | 短軸 | 壁現高（cm） | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 位置 | 竈 構築材 | 周溝 | 主な出土遺物 土師器 | 須恵器 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H－1 | X31·32 Y87·88 | (4.86) | (4.72) | 51 | (14.94) | N－86°－W | 西壁南寄 | 粘土 | ○ | 坏・甕 | | 石鏃 |
| H－2 | X33～35 Y96·97 | 6.40 | (3.32) | 71 | (17.08) | N－43°－W | 北西壁北寄 | 粘土 | ○ | 坏・甕・甑 | | 土製支脚 |
| H－3 | X37·38 Y84·85 | 3.58 | (2.57) | 59 | (5.46) | N－83°－E | － | － | － | 坏 | | |
| H－4 | X37～39 Y83·84 | 4.97 | (2.20) | 40 | (7.75) | N－47°－E | 北東壁 | 粘土 | ○ | 坏・壺 | | |
| H－5 | X41 Y79·80 | 3.80 | (1.20) | 47 | (3.57) | N－31°－E | － | － | － | 坏・甕 | | |
| H－6 | X38·39 Y83·84 | 7.04 | (0.80) | 39 | (3.45) | N－59°－E | － | － | － | 坏・高坏 | | |
| H－7 | X40·41 Y80～82 | [6.80] | [6.70] | 67 | (20.44) | N－72°－E | － | － | ○ | 高坏・埦・鉢・甕・甑 | | |
| H－8 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| H－9 | X52·53 Y56～58 | 8.40 | 6.04 | 30 | [24.80] | N－52°－E | － | － | ○ | | | |

2区

| 遺構名 | 位置 | 規模（m） 長軸 | 短軸 | 壁現高（cm） | 面積（㎡） | 主軸方向 | 竈 位置 | 竈 構築材 | 周溝 | 主な出土遺物 土師器 | 須恵器 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| J－1 | X43·44 Y45～47 | (4.92) | (3.98) | 61 | (13.91) | N－23°－W | － | － | － | | | 縄文土器・石皿・敲石 |
| H－1 | X36·37 Y61 | (2.50) | (2.30) | 40 | (3.80) | N－51°－E | 東壁 | 粘土・石 | － | | | |
| H－2 | X37 Y59·60 | (1.98) | (1.90) | 54 | (1.57) | N－68°－E | － | － | － | | | |
| H－3 | X38·39 Y56·56 | 4.50 | [3.92] | 33 | (11.15) | N－73°－E | 東壁南寄 | 粘土・石 | － | 坏·高坏·埦·甕·甑 | | 手捏土器 |
| H－4 | X39·40 Y54～56 | 6.20 | 4.66 | 34 | (25.86) | N－32°－E | 北東壁 | 粘土・石 | ○ | 坏・甕 | | |
| H－5 | X40·41 Y51·52 | 4.36 | (3.22) | 32 | (10.07) | N－43°－E | 北東壁 | 粘土 | ○ | 坏 | | |
| H－6 | X52·53 Y28～30 | 4.78 | 4.58 | 37 | (19.93) | N－97°－E | 東壁南寄 | 粘土 | ○ | 坏 | | 砥石 |
| H－7 | X45～47 Y40～43 | 8.70 | (6.70) | 30 | (31.02) | N－61°－E | 東壁 | 粘土・石 | ○ | 坏 | | |
| H－8 | X46·47 Y39·40 | (3.20) | (1.12) | 19 | (1.72) | N－44°－E | － | － | － | 坏 | | |
| H－9 | X47·48 Y38～40 | 5.00 | (3.24) | 34 | (12.02) | N－39°－E | － | － | － | 坏 | | |
| H－10 | X48·49 Y36·37 | (2.66) | (2.44) | | (4.59) | N－53°－E | 西南壁 | 粘土・石 | ○ | 壺・甑 | | |
| H－11 | X48～50 Y35～37 | (5.70) | 5.34 | 47 | (23.35) | N－53°－E | 東壁南寄 | 粘土 | ○ | 坏 | | |
| H－12 | X49·50 Y34·35 | (2.10) | (1.30) | 41 | (1.70) | N－90°－E | 東壁 | 粘土・石 | － | 台付甕 | 高台椀 | |
| H－13 | X49·50 Y36·37 | [3.58] | [1.40] | 31 | (2.25) | N－8°－E | － | － | － | | | |
| H－14 | X50·51 Y33·34 | 4.94 | 3.54 | 47 | (15.02) | N－5°－E | 東壁 | 粘土 | ○ | 坏・甕 | | |
| H－15 | X51·52 Y32·33 | (3.66) | (3.12) | 47 | (5.94) | N－61°－E | － | － | ○ | 坏・甕 | | |
| H－16 | X50～52 Y31·32 | 8.80 | (4.58) | 27 | (26.01) | N－45°－E | － | － | － | 坏・甕 | | |
| H－17 | X51 Y31·32 | (3.80) | (2.44) | 36 | (7.11) | N－104°－E | 東壁南寄 | 粘土・石 | － | | 高台椀 | |
| H－18 | X52～55 Y28～29 | [12.2] | [8.56] | 67 | (48.67) | N－65°－E | － | － | ○ | 鉢・甕 | | 石製紡錘車 |
| H－19 | X54·55 Y24·25 | (3.18) | (1.32) | 43 | (2.56) | N－95°－E | 東壁 | 粘土・石 | － | 甕 | | |
| H－20 | X55·56 Y22·23 | 4.56 | 3.68 | 41 | [15.53] | N－90°－E | 東壁南寄 | 粘土 | ○ | | 坏 | 砥石 |
| H－21 | X56 Y21·22 | (2.90) | (2.04) | 33 | (2.93) | N－83°－E | 東壁 | 粘土 | － | 坏・甕 | | |
| H－22 | X56·57 Y20·21 | (3.84) | (2.20) | 39 | (3.82) | N－53°－E | － | － | ○ | | | 臼玉 |

| 遺構名 | 位置 | 規模(m) 長軸 | 短軸 | 壁現高(cm) | 面積(㎡) | 主軸方向 | 竈 位置 | 竈 構築材 | 周溝 | 主な出土遺物 土師器 | 須恵器 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H－23 | X57·58 Y20·21 | 3.22 | 2.98 | 20 | [5.30] | N－5°－E | － | － | － | | | |
| H－24 | X57·58 Y20·21 | [4.10] | [2.32] | 23 | (7.27) | N－2°－E | － | － | － | | 坏·高台椀 | |
| H－25 | X59·60 Y14·15 | (4.00) | 3.60 | 30 | (10.49) | N－83°－E | 東壁南寄 | 粘土 | ○ | 坏 | | |
| H－26 | X61 Y12·13 | (4.04) | (2.28) | 12 | (7.61) | N－107°－E | 東壁南寄 | 粘土 | － | | 坏·高台皿 | |
| H－27 | X42·43 Y47～49 | (5.20) | (2.96) | 63 | (9.09) | N－47°－E | － | － | ○ | 高坏 | | |
| H－28 | X45 Y45 | (2.48) | (1.26) | 34 | (1.10) | N－54°－E | － | － | － | | | |
| H－29 | X52 Y30·31 | (3.44) | (2.88) | 60 | (4.04) | N－21°－W | 北壁 | 粘土 | ○ | 坏·甕 | | |
| H－30 | X53 Y28 | － | － | － | － | － | 東壁 | 粘土 | － | | | |
| H－31 | X55 Y25·26 | (3.58) | (1.70) | 40 | (3.56) | N－43°－E | － | － | － | | | |
| H－32 | X50·51 Y34·35 | (3.50) | (2.80) | 28 | (5.73) | N－35°－W | － | － | ○ | 坏·甕 | | |
| H－33 | X58·59 Y17·18 | 4.24 | (3.22) | 9 | (9.62) | N－48°－E | 東壁南寄 | 粘土 | － | 甕 | | |
| H－34 | X51·52 Y30·31 | (5.80) | (5.24) | 3 | (17.89) | N－87°－E | － | － | ○ | 坏·甕 | | |

3区

| 遺構名 | 位置 | 規模(m) 長軸 | 短軸 | 壁現高(cm) | 面積(㎡) | 主軸方向 | 竈 位置 | 竈 構築材 | 周溝 | 主な出土遺物 土師器 | 須恵器 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H－1 | X11 Y33·34 | 3.84 | (3.12) | 25 | (10.72) | N－110°－E | 東壁中央 | 粘土・石 | － | 甕 | 坏 | |
| H－2 | X10·11 Y34 | (3.70) | (1.70) | 28 | (3.41) | N－92°－E | 東壁南寄 | 粘土・石 | － | | 高台椀 | |
| H－3 | X12 Y32·33 | [4.40] | [3.04] | － | [9.91] | N－5°－E | － | － | － | | | |
| H－4 | X17·18 Y22·23 | (4.58) | (1.26) | 11 | (2.76) | N－40°－E | － | － | － | | | |

5区

| 遺構名 | 位置 | 規模(m) 長軸 | 短軸 | 壁現高(cm) | 面積(㎡) | 主軸方向 | 竈 位置 | 竈 構築材 | 周溝 | 主な出土遺物 土師器 | 須恵器 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H－1 | X34～36 Y51·52 | [5.94] | (3.60) | 36.0 | 18.29 | N－34°－W | － | － | | | | |
| H－2 | X33·34 Y52·53 | 5.70 | 5.54 | 51.0 | 29.55 | N－83°－E | 東壁南寄 | 粘土 | ○ | 甕 | | |
| H－3 | X30·31 Y51·52 | 5.06 | [4.40] | 50.0 | 18.65 | N－85°－E | 東壁北寄 | 粘土 | － | | 坏 | |
| H－4 | X30·31 Y52 | (3.56) | (2.94) | 19.0 | 5.12 | N－14°－W | － | － | － | 高坏·壺·鉢·はそう | | 勾玉 |
| H－5 | X32·33 Y47·48 | (4.78) | (2.54) | 32.0 | (6.05) | N－27°－W | － | － | － | 坏 | | |
| H－6 | X35 Y48·49 | (1.36) | (0.90) | 24.0 | (0.52) | N－53°－W | － | － | － | | | |

6区

| 遺構名 | 位置 | 規模(m) 長軸 | 短軸 | 壁現高(cm) | 面積(㎡) | 主軸方向 | 竈 位置 | 竈 構築材 | 周溝 | 主な出土遺物 土師器 | 須恵器 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H－1 | X23～25 Y71～73 | 6.14 | 6.12 | 35.0 | 35.78 | N－80°－E | 東壁南寄 | 粘土・石 | ○ | 坏 | | |
| H－2 | X18·19 Y72·73 | 4.26 | 3.32 | 8.0 | [14.06] | N－82°－E | 東壁中央 | 粘土 | － | 坏 | | |
| H－3 | X16·17 Y72·73 | 4.56 | 3.40 | 19.0 | [16.22] | N－3°－W | 北壁中央 | 粘土・石 | － | 坏 | | |
| H－4 | X15·16 Y73·74 | 3.76 | 2.84 | 19.0 | [9.32] | N－56°－E | 東壁中央 | 粘土・石 | － | | | |
| H－5 | X20～22 Y68～70 | (5.22) | (4.72) | 9.0 | (13.23) | N－22°－W | － | － | ○ | | | |
| H－6 | X15·16 Y68·69 | 4.42 | 4.40 | 20.0 | [18.34] | N－73°－E | － | － | ○ | | | |

Tab. 3　溝跡計測表

1区

| 遺構名 | 位　置 | 長さ（cm） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面図 | 時　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | | | |
| W－1 | X26･29<br>Y90･91 | 4.3<br>4.1 | 14.0 | 6.0 | 76.0 | 52.0 | 62.0 | 34.0 | N－101°－E<br>N－90°－E | U字形 | 古代 |
| W－2 | X53<br>Y56･57 | 5.2 | 56.0 | 52.0 | 132.0 | 116.0 | 37.0 | 18.0 | N－7°－W | U字形 | As－B降下以降 |
| W－3 | X49･50<br>Y63･64 | 3.7 | 33.0 | 23.5 | 84.0 | 72.0 | 26.0 | 14.0 | N－118°－E | U字形 | As－B降下以降 |
| W－4 | X49･50<br>Y62･63 | 3.6 | 27.0 | 16.0 | 144.0 | 98.0 | 30.0 | 14.0 | N－119°－E | U字形 | As－B降下以降 |
| W－5 | X52<br>Y57～59 | 9.4 | 73.0 | 33.5 | 280.0 | 250.0 | 104.0 | 84.0 | N－4°－W | 逆台形 | 古代 |

2区

| 遺構名 | 位　置 | 長さ（cm） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面図 | 時　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | | | |
| W－1 | X39･40<br>Y56･57 | 4.8 | 31.0 | 11.0 | 202.0 | 158.0 | 120.0 | 96.0 | N－67°－W | U字形 | As－B降下後 |
| W－2 | X42･43<br>Y49･50 | 4.9 | 58.0 | 20.5 | 160.0 | 146.0 | 38.0 | 26.0 | N－58°－E | 逆台形 | 古代 |
| W－3 | X43～45<br>Y45～47 | 9.5 | 36.5 | 24.5 | 80.0 | 64.0 | 38.0 | 28.0 | N－55°－E | U字形 | 古代 |
| W－4 | X42･43<br>Y48･49 | 4.9 | 22.5 | 11.0 | 70.0 | 52.0 | 40.0 | 24.0 | N－58°－W | U字形 | 古代 |

3区

| 遺構名 | 位　置 | 長さ（m） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面図 | 時　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | | | |
| W－1 | X12～14<br>Y29･30 | 4.4 | 94.0 | 81.5 | 234.0 | 212.0 | 20.0 | 10.0 | N－68°－W | 逆台形 | 古代 |

4区

| 遺構名 | 位　置 | 長さ（m） | 深さ（cm） | | 上幅（cm） | | 下幅（cm） | | 主軸方向 | 断面図 | 時　期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | 最大 | 最少 | | | |
| W－1 | X8<br>Y17･18 | 4.3 | 14.0 | 13.5 | 94.0 | 60.0 | 28.0 | 28.0 | N－7°－E | U字形 | 古代 |

Tab.　4　土坑・井戸跡計測表

1区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（cm） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－1 | X39･40　Y82 | 130 | 106 | 76.0 | 楕円形 | 土75、須8 | 南側調査区 |
| D－2 | X33･34　Y86 | [312] | [166] | － | 楕円形 | 縄1、土28 | 旧H－8、南側調査区 |
| D－3 | | | | 欠番 | | | |
| D－4 | | | | 欠番 | | | |
| D－5 | X39　Y38 | 150 | 94 | 36.0 | 楕円形 | 土34、須1 | 南側調査区 |
| D－6 | X48　Y67 | 160 | 98 | 26.0 | 楕円形 | | 北側調査区 |
| D－7 | X48　Y66 | 208 | 106 | 39.5 | 楕円形 | 縄1、土1 | 北側調査区 |
| D－8 | X48　Y66 | 92 | 74 | 15.0 | 楕円形 | | 北側調査区 |
| D－9 | X47　Y66 | 84 | 78 | 8.0 | 円形 | | 北側調査区 |
| D－10 | X47･48　Y66 | 90 | 74 | 34.0 | 楕円形 | | 北側調査区 |
| D－11 | X48　Y65･66 | 124 | 100 | 35.0 | 楕円形 | | 北側調査区 |
| D－12 | X48　Y65 | 88 | (64) | 63.5 | 楕円形 | | 北側調査区 |
| D－13 | X48･49　Y64 | [124] | 90 | 40.5 | 楕円形 | | 北側調査区 |
| D－14 | X49　Y64 | (140) | 118 | 31.0 | 楕円形 | | 北側調査区 |
| D－15 | X39　Y82 | (100) | 80 | 53.5 | 楕円形 | 土3 | 南側調査区 |
| D－16 | X50　Y62･63 | 82 | (66) | 118.0 | 楕円形 | | 北側調査区 |

2区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（cm） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| J D－1 | X44 Y46 | 100 | 78 | 24.0 | 楕円形 | | |
| D－1 | X36 Y60･61 | 84 | 76 | 28.0 | 方形 | ±1 | |
| D－2 | X36･37 Y60 | 130 | 74 | 34.0 | 不整形 | ±1 | |
| D－3 | X45 Y43 | 104 | 100 | 17.5 | 円形 | ±9 | |
| D－4 | X45 Y43･44 | 138 | 98 | 43.0 | 楕円形 | | |
| D－5 | X46 Y41 | 68 | 60 | 29.0 | 楕円形 | ±3、砥錆革1 | |
| D－6 | X47 Y39･40 | 212 | 160 | 31.5 | 方形 | ±3 | |
| D－7 | X48 Y39 | 78 | 68 | 24.0 | 楕円形 | 縄8、±2 | |
| D－8 | X52 Y30 | 70 | 72 | 38.0 | 円形 | ±2 | |
| D－9 | X52･53 Y30 | 124 | 112 | 22.5 | 楕円形 | ±6、須4 | |
| D－10 | X53 Y29 | 136 | 110 | 14.5 | 楕円形 | ±1 | |
| D－11 | X53 Y28 | 110 | 100 | 30.0 | 楕円形 | ±2、須1 | |
| D－12 | X55 Y23･24 | 96 | [80] | 16.6 | 楕円形 | 須1 | |
| D－13 | X55 Y23 | 64 | 50 | 15.0 | 楕円形 | ±7 | |
| D－14 | X55 Y23 | 108 | 64 | 16.5 | 楕円形 | | |
| D－15 | X56･57 Y22･23 | 286 | 230 | 41.0 | 不整形 | ±27、須5 | |
| D－16 | X51 Y30 | 122 | (90) | 30.5 | 楕円形 | ±16、須5 | |
| D－17 | X56 Y23 | 90 | [78] | 15.5 | 方形 | ±4 | |
| D－18 | X62 Y11 | 86 | 74 | 26.5 | 楕円形 | | |
| D－19 | X41 Y52 | 130 | 100 | 36.5 | 楕円形 | | |
| D－20 | X51 Y33 | [90] | [80] | 46.0 | 楕円形 | | |

3区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（cm） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－1 | X12 Y31･32 | 88 | [78] | 15.5 | 楕円形 | | |
| I－1 | X12 Y31 | 104 | 90 | － | 楕円形 | ±9、須3 | |
| I－2 | X13 Y30 | 86 | 66 | － | 楕円形 | | |
| I－3 | X14･15 Y26 | 80 | 70 | 143.5 | 楕円形 | ±1、灰1 | |

6区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（m） | 短軸（m） | 深さ（m） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D－1 | X17 Y71 | 136 | 98 | 53.0 | 楕円形 | | |

※　縄…縄文土器、土…土師器、須…須恵器　灰…灰釉陶器

Tab. 5　ピット計測表

1区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（cm） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－1 | X28 Y90 | 60 | 42 | 17.0 | 楕円形 | ±1 | |
| P－2 | X28 Y90 | 46 | 40 | 27.0 | 楕円形 | | |
| P－3 | X28 Y90 | 28 | 26 | 26.0 | 円形 | | |
| P－4 | X30 Y89 | 44 | 36 | 45.0 | 楕円形 | ±2 | |
| P－5 | X29 Y89 | 48 | 46 | 39.5 | 円形 | ±1 | |
| P－6 | X41 Y80 | 64 | 48 | 29.0 | 楕円形 | | |
| P－7 | X41 Y80 | 34 | 34 | 26.5 | 円形 | 打製石斧1 | |
| P－8 | X41 Y79 | 32 | 30 | 21.0 | 円形 | | |
| P－9 | X41･42 Y80 | 30 | (26) | 21.0 | 楕円形 | | |
| P－10 | X41 Y80 | 28 | 24 | 19.0 | 円形 | | |
| P－11 | X41 Y80 | 48 | 48 | 27.5 | 円形 | | |
| P－12 | X32･33 Y87 | 68 | 62 | 27.0 | 円形 | | |
| P－13 | X33 Y87 | 84 | (32) | 34.5 | 楕円形 | | |
| P－14 | X35 Y86 | 38 | 30 | 16.5 | 楕円形 | | |
| P－15 | X35 Y86 | 30 | 30 | 42.0 | 円形 | | |
| P－16 | X35 Y85 | 40 | 40 | 19.5 | 円形 | | |
| P－17 | X36 Y85 | 32 | 30 | 29.0 | 円形 | | |
| P－18 | X36 Y85 | 46 | 32 | 40.0 | 楕円形 | | |
| P－19 | X36 Y84 | 66 | 52 | 43.5 | 楕円形 | ±16、須1 | |
| P－20 | X36･37 Y85 | 30 | 24 | 20.5 | 楕円形 | ±1 | |
| P－21 | X37 Y85 | 26 | 24 | 13.5 | 円形 | ±2 | |
| P－22 | X37 Y84･85 | 36 | 32 | 34.0 | 円形 | ±2 | |

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（cm） | 短軸（cm） | 深さ（cm） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－23 | X37　Y84 | 28 | 26 | 15.0 | 楕円形 | 土1 | |
| P－24 | X37　Y84 | 30 | 30 | 15.0 | 円形 | 土1 | |
| P－25 | X37　Y83·84 | 98 | 74 | 22.5 | 楕円形 | | |
| P－26 | X41　Y80 | 64 | (48) | 42.0 | 楕円形 | 土1 | |
| P－27 | X40　Y82 | 46 | 34 | 55.0 | 楕円形 | | |
| P－28 | X39　Y83 | 50 | 36 | 23.5 | 楕円形 | 土7 | |
| P－29 | X50　Y60 | (110) | 56 | 42.5 | 楕円形 | | |
| P－30 | X50　Y62 | 50 | 44 | 30.0 | 楕円形 | | |
| P－31 | X50　Y62·63 | 40 | 30 | 18.0 | 楕円形 | | |

2区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（m） | 短軸（m） | 深さ（m） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－1 | X36　Y60 | 46 | 40 | 37.5 | 方形 | 土2 | |
| P－2 | X36·37　Y60 | 54 | 42 | 52.0 | 楕円形 | | |
| P－3 | X37　Y60 | 50 | 42 | 44.0 | 楕円形 | | |
| P－4 | | | | | | 土2 | |
| P－5 | X37　Y60 | 22 | 22 | 46.5 | 円形 | | |
| P－6 | X37　Y60 | 34 | 26 | 37.0 | 楕円形 | | |
| P－7 | X40　Y53 | 24 | 22 | 23.0 | 円形 | | |
| P－8 | X40　Y53 | 28 | 22 | 23.5 | 楕円形 | | |
| P－9 | X40　Y53 | 60 | 58 | 25.5 | 円形 | | |
| P－10 | X40　Y53 | 26 | 26 | 21.5 | 円形 | | |
| P－11 | X40　Y53 | 30 | 22 | 31.5 | 楕円形 | | |

3区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（m） | 短軸（m） | 深さ（m） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－1 | X17　Y23 | 50 | 50 | 18.5 | 円形 | | |

4区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（m） | 短軸（m） | 深さ（m） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－1 | X8　Y18 | 54 | 42 | 26.0 | 円形 | | |
| P－2 | X9　Y18 | 34 | 24 | 35.5 | 楕円形 | | |

6区

| 遺構名 | 位　置 | 長軸（m） | 短軸（m） | 深さ（m） | 形　状 | 出土遺物 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P－1 | X24　Y72 | 30 | 30 | 14.0 | 円形 | | |
| P－2 | X24　Y73 | 26 | 26 | 15.0 | 円形 | | |
| P－3 | X16　Y72·73 | 72 | 52 | 43.0 | 楕円形 | 土16、石2 | |
| P－4 | X21　Y69 | 80 | 48 | 7.0 | 楕円形 | | |

※　縄…縄文土器、土…土師器、須…須恵器　灰…灰釉陶器

Tab. 6　縄文時代出土土器観察表

1区

| 番号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径 ②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2－縄1 | J－1<br>床直 | 深鉢 | ① 11.4 ② 12.7<br>③ 6.4 | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④完形 | 口唇部：細長い粘土紐を口縁に沿って波状に施し、口縁に4箇所に2本づつ棒状粘土を貼付している。胴部：二方に模様が施されている。平行沈線文で大小のくの字状沈線を施し、頸部と底部を横位の平行沈線で閉じている。その中に木の葉文を施し、さらに空白部にくの字状沈線を施している。もう一方は口縁部から体部にかけ菱形状文が施され、中央部に縦位の平行沈線を施し、両側にくの字状沈線を施す。 | 1 | 諸磯c |
| 2－縄2 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ②(15.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい赤褐 ④胴部・底部片 | 横位の平行沈線を間隔をあけて施文。沈線間は無文帯とする。 | 14<br>15<br>17 | 諸磯b |
| 2－縄3 | 全体<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (3.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 口唇部に半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文。カマボコ状・ボタン状の貼付文を付す。口唇部直下に半截竹管による横位の集合沈線を施文後、棒状・ボタン状粘土を貼付する。 | X44<br>Y45 | 諸磯c |
| 2－縄4 | H－27<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (4.0)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 2－縄3と同一個体と考えられる。 | | 諸磯c |
| 2－縄5 | H－27<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (4.8)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 内傾する口唇部に半截竹管による斜位の集合沈線を施文し、口唇部直下に矢羽根状沈線を施文。その後耳朶状粘土を縦に貼付。その間と耳朶文の上に交互にボタン状の貼付文。 | | 諸磯c |
| 2－縄6 | H－27<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (5.6)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 2－縄5と同一個体と考えられる。 | | 諸磯c |
| 2－縄7 | H－7<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (3.0)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④口縁片 | 口唇部：半截竹管による横位の平行集合沈線を施文後，ボタン状の粘土を施文。 | | 諸磯b |
| 2－縄8 | H－7<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (4.1)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④口縁片 | 2－縄7と同一個体と考えられる。 | | 諸磯b |
| 2－縄9 | W－3<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (4.3)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰黄褐 ④破片 | 半截竹管による矢羽根状集合沈線を施文し、ボタン状・縦位棒状貼付文を付す。 | | 諸磯c |
| 2－縄10 | H－2<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (3.9)<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 半截竹管による横位の平行沈線間に矢羽根状集合沈線を配する。 | | 諸磯b |
| 2－縄11 | H－27<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (5.0)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④底部片 | ＲＬ縄文を斜位に施した後，屈曲する口縁部に横位の沈線文を施す。 | | 諸磯b |
| 2－縄12 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (3.0)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④口縁片 | 口唇部を無文体とし、口唇部直下を横位平行沈線で充填する。 | | 諸磯b |
| 2－縄13 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (3.3)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④破片 | 半截竹管による縦位の矢羽根状集合沈線文を施文後，平行沈線を施文。 | | 諸磯b |
| 2－縄14 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (4.5)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 半截竹管による縦位の集合沈線を弧状気味に施文。 | | 諸磯b |
| 2－縄15 | J－1<br>床直 | 深鉢 | ① － ② (4.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④胴部片 | 半截竹管による横位の平行沈線下に、縦位の平行沈線を施文。 | 9 | 諸磯b |
| 2－縄16 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (4.6)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④胴部片 | 半截竹管による横位の平行集合沈線下、に縦位の平行沈線を施文後、ボタン状貼付文を付す。 | | 諸磯c |
| 2－縄17 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (5.9)<br>③ － | ①粗粒 ②良好<br>③橙 ④破片 | 半截竹管による縦・斜位の集合沈線を施文。 | | 諸磯b |
| 2－縄18 | J－1<br>床直 | 深鉢 | ① － ② (4.5)<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③明赤褐 ④破片 | 縄文施工後に半截竹管による横位の集合沈線文間に、横位の矢羽根状集合沈線を施文。 | 5 | 諸磯b |
| 2－縄19 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (5.8)<br>③ － | ①粗粒 ②良好<br>③浅黄橙 ④破片 | 半截竹管による横位の平行沈線を施文後に矢羽根状平行沈線を施文。 | | 諸磯b |
| 2－縄20 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (5.8)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③赤褐 ④胴部片 | 半截竹管による縦位の平行沈線を施文。この沈線文間に平行沈線文を格子状に施す。 | | 諸磯b |
| 2－縄21 | J－1<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (3.9)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④底部片 | 底部付近に半截竹管による横位の平行沈線を密に施した。 | | 諸磯b |
| 2－縄22 | D－7<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (5.8)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④底部片 | 底部付近に半截竹管による横位の平行沈線を施文。 | | 諸磯b |
| 2－縄23 | W－3<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (4.2)<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④破片 | 半截竹管により区画文を施し、平行して区画に沿って刺突列をめぐらしている。 | | 興津 |
| 2－縄24 | H－7<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (6.4)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④底部片 | 地文単節ＬＲの施文後、半截竹管による平行沈線を施文。数本単位の施文具で施文し、間隔をあけて横位状に施文。文様構成する。 | | 諸磯b |
| 2－縄25 | J－1<br>床直 | 深鉢 | ① － ② (5.3)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④破片 | 貝殻腹縁押し引き文を充填し，沈線文様で区画し，区画内の一部をすり消す。 | 2 | 興津 |
| 2－縄26 | J－1<br>床直 | 深鉢 | ① － ② (4.8)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③浅黄 ④破片 | 斜位の平行沈線を施文し、平行して深い刺突列をめぐらしている。 | | 興津 |
| 2－縄27 | H－7<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (8.6)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④胴部片 | 横位の沈線間に多重渦巻文を施す。地文はＬＲである。 | | 諸磯b |
| 2－縄28 | H－7<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (8.0)<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④胴部片 | 半截竹管による平行沈線が横位に間隔をあけ施文する。平行沈線の間に横線文を施文する。 | | 諸磯b |
| 2－縄29 | 全体<br>覆土 | 深鉢 | ① － ② (9.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④胴部片 | 半截竹管による横位の多重沈線を施文される。地文に単節ＲＬの縄文を施文。 | X55<br>Y25 | 諸磯b |

| 番 号 | 出土遺構 層 位 | 器種名 | ①口径 ②器高 ③底径 | ①胎土 ②焼成 ③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2－図30 | 全体 覆土 | 須恵 | ① － ② (4.2) ③ － | ①細粒 ②良好 ③灰黄褐 ④口縁片 | 地文に単節ＲＬの縄文を施文。 | | 縄文前期の所産と思われる。 |
| 2－図31 | Ｊ－1 床直 | 須恵 | ① － ② (5.2) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④破片 | 半截竹管による横位の集合沈線を施文後、文様帯を区画する縦の沈線、木葉状曲線が施文される。 | 11 | 諸磯b |
| 2－図32 | Ｈ－7 覆土 | 須恵 | ① － ② (5.4) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④破片 | 半截竹管による横位の集合沈線間に入組み末の重文を施している。 | | 諸磯b |
| 2－図33 | Ｊ－1 覆土 | 須恵 | ① － ② (6.0) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④破片 | くの字口縁部から横位文を多段に施す。沈線間は地文単節ＬＲの縄文。 | | 諸磯b |
| 2－図34 | Ｈ－3 床直 | 須恵 | ① － ② (7.0) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい赤褐 ④胴部片 | 半截竹管による横位の集合沈線文間に木の葉状の弧線を施文後、集合沈線を弧線状に施文する。地文に単節ＬＲの縄文を施文。 | 1 | 縄文中期 |
| 2－図35 | Ｊ－1 覆土 | 須恵 | ① － ② (4.0) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい褐 ④破片 | 隆帯で区画文を作り、隆帯に刻み文を施す。区画の中に連続一つ文と波状文を施す。 | X50 Y30 | 阿玉台 |
| 2－図36 | Ｈ－16 覆土 | 須恵 | ① － ② (4.1) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい赤褐 ④破片 | 隆帯で区画文を作り、隆帯に刻み文を施す。区画の中に連続一つ文と波状文を施す。 | | 阿玉台 |
| 2－図37 | Ｊ－1 覆土 | 須恵 | ① － ② (3.8) ③ － | ①細粒 ②良好 ③赤褐 ④破片 | 隆帯で区画文を作り、隆帯に刻み文を施す。区画の中に連続一つ文と波状文を施す。 | | 阿玉台 |
| 2－図38 | Ｊ－1 覆土 | 須恵 | ① － ② (7.0) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい赤褐 ④口縁部～胴部片 | 連続一つ文と波状文が施され、口唇部に刻み文が施された隆帯らしきものあり。 | X50 Y30 | 阿玉台 |
| 2－図39 | 全体 覆土 | 須恵 | ① － ② (4.5) ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④破片 | 半截竹管による集合沈線を施文後、爪形文を沈線に施文。 | | 黒浜・有尾 |
| 2－図40 | Ｈ－16 覆土 | 須恵 | ① － ② (3.8) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④破片 | 3本の浮線文を横位に貼付しキザミ目文を入れる。 | | 諸磯b |

注 ① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
② 口径・器高・底径の単位は cmである。現存値を［ ］、復元値を［ ］で示した。
③ 胎土は、細粒（0.9mm以下）、中粒（1.0～1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名を記載した。
④ 焼成は、堅良・良好・不良の三段階とした。
⑤ 色調は、土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

## Tab. 7　古墳・奈良・平安時代出土土器観察表

1区

| 番号 | 出土遺構 層 位 | 器種名 | ①口径 ②器高 ③底径 | ①胎土 ②焼成 ③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1－1 | Ｈ－1 床直 | 土師器 坏 | ①[10.8] ② 3.0 ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④1/2 | 口縁部：短く直立、内・外面横撫で。底部：浅い丸底、内面撫で。外面底削り。 | 354 | |
| 1－2 | Ｈ－1 覆土 | 土師器 甕 | ① － ②(20.2) ③ 4.6 | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④胴～口縁部欠 | 口縁部：欠損。胴部：内面撫で、外面縦位の箆削り。底部：平底 | 171 | |
| 1－3 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 13.3 ② [4.0] ③ － | ①細粒 ②良好 ③明赤褐 ④2/3 | 口縁部：外短、内・外面横撫で、外面に調整による段有。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 154 | |
| 1－4 | Ｈ－2 貯蔵穴 | 土師器 坏 | ① 11.9 ② 4.4 ③ 4.0 | ①細粒 ②良好 ③橙 ④完形 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 24 | |
| 1－5 | Ｈ－2 貯蔵穴 | 土師器 坏 | ① 13.8 ② 4.4 ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④完形 | 口縁部：外短、内・外面横撫で、外面に調整による段有。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 27 | |
| 1－6 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 13.8 ② 4.1 ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④3/4 | 口縁部：外短、内・外面横撫で、外面に調整による段有。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 31 | |
| 1－7 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 12.0 ② 4.8 ③ － | ①細粒 ②良好 ③明赤褐 ④ほぼ完形 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 36 | |
| 1－8 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 11.7 ② 7.3 ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④2/3 | 口縁部：内短、内・外面横撫で、外面に調整による段有。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 37 | |
| 1－9 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ①[12.0] ② 4.6 ③ － | ①細粒 ②良好 ③黒褐 ④2/3 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 44 | |
| 1－10 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 13.3 ② 3.8 ③ － | ①細粒 ②良好 ③明赤褐 ④完形 | 口縁部：外短、内・外面横撫で、外面に調整による段有。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 49 | |
| 1－11 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 11.4 ② 4.8 ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 50 | |
| 1－12 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 12.1 ② 4.0 ③ － | ①細粒 ②良好 ③明赤褐 ④完形 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 52 | |
| 1－13 | Ｈ－2 床直 | 土師器 坏 | ① 11.7 ② 4.7 ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④1/4ほど完形 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 53 | |
| 1－14 | Ｈ－2 床直 | 土師器 小型甕 | ① 11.3 ② 12.6 ③ － | ①中粒 ②良好 ③橙 ④5/6 | 口縁部：直立気味。内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面斜位の箆削り。 | 48 | |
| 1－15 | Ｈ－2 床直 | 土師器 甕 | ① 17.4 ② 38.1 ③ 3.9 | ①中粒 ②良好 ③にぶい橙 ④完形 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面縦位の箆削り。底部：平底 | 23 | |
| 1－16 | Ｈ－2 貯蔵穴 | 土師器 甕 | ① 20.0 ②(12.8) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④1/4 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面縦・横位の箆削り。中位以下欠損。 | 25 | |

| 番号 | 出土遺構 層位 | 器種名 | ①口径 ②器高 ③底径 | ①胎土 ②焼成 ③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1－17 | H－2 床直 | 土師器 甕 | ① 17.9 ② 33.5 ③ 3.3 | ①細粒 ②良好 ③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面撫で一部篦調整、外面縦位の篦削り。底部：平底 | 35ほか | |
| 1－18 | H－2 床直 | 土師器 甕 | ①[21.3] ② 30.5 ③ 8.7 | ①中粒 ②良好 ③橙 ④2/3 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面撫で一部篦調整、外面横・斜位の篦削り。底部：平底。 | 41ほか | |
| 1－19 | H－2 床直 | 土師器 甑 | ① 22.8 ② 29.1 ③ 9.3 | ①中粒 ②良好 ③橙 ④完形 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面撫で一部篦調整、外面縦位の篦削り。 | 40 | |
| 1－20 | H－3 覆土 | 土師器 坏 | ①[13.7] ② [4.4] ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④1/4 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 10 | |
| 1－21 | H－3 覆土 | 土師器 坏 | ①[14.8] ② [6.9] ③ － | ①細粒 ②良好 ③黒褐 ④1/6 | 口縁部：直立から端部やや内傾。内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 20 | |
| 1－22 | H－4 床直 | 土師器 坏 | ①[11.4] ② (4.5) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④1/6 | 口縁部：やや外傾、内・外面横撫で。交換点に弱い稜有。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 6 | |
| 1－23 | H－4 床直 | 土師器 小型壺 | ①(7.5) ②(14.3) ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④1/5 | 口頸部：直立、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面横位の篦削り。中位以下欠損。 | 4ほか | |
| 1－24 | H－5 覆土 | 土師器 坏 | ① 11.6 ② 5.2 ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④4/5 | 口縁～体部：内面横撫で後篦磨き、外面上位から中位横撫で、下位から底部不定方向の篦削り。 | 3 | |
| 1－25 | H－5 床直 | 土師器 小型甕 | ① 15.2 ②[14.8] ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④2/3 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面篦撫で、外面縦位の篦削り後篦磨き。底部：欠損。 | 5 | |
| 1－26 | H－6 覆土 | 土師器 坏 | ① 12.2 ② 3.3 ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④2/3 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底。内面篦磨き、外面篦削り。 | 51ほか | 内面黒色処理 |
| 1－27 | H－6 P1 | 土師器 高坏 | ① 19.5 ② 16.0 ③ 12.9 | ①細粒 ②良好 ③浅黄橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：外傾。内・外面横撫で。体部：内面刷毛目、外面篦調整。脚部：内面篦削り。裾部：内・外面横撫で。 | 27ほか | |
| 1－28 | H－7 P3 | 土師器 高坏 | ①[20.4] ② (6.7) ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④坏部1/2 | 口縁部：外傾。内・外面横撫で後篦磨き。 | 8 | |
| 1－29 | H－7 覆土 | 土師器 坩 | ①[10.2] ② 8.6 ③ 4.0 | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④2/3 | 口縁部：外傾、内面刷毛調整・外面横撫で。頸部～底部：内面撫で、外面刷毛調整後篦削り。底部：平底。煤付着。 | 4 | |
| 1－30 | H－7 覆土 | 土師器 小鉢 | ① 12.7 ② 7.2 ③[4.6] | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④3/4 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面篦削り後撫で、外面斜位の篦削り。底部：平底。 | 7 | |
| 1－31 | H－7 覆土 | 土師器 甕 | ① 18.0 ②(13.4) ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④口縁部破片 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面篦撫で、外面縦・横位の篦削り。中位以下欠損。 | X41 Y814 | |
| 1－32 | H－7 床直 | 土師器 甑 | ①[12.0] ② 7.4 ③ 5.2 | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④1/2 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面篦削り、外面縦位の篦削り。底部：平底。単孔。 | 6ほか | |

## 2区

| 番号 | 出土遺構 層位 | 器種名 | ①口径 ②器高 ③底径 | ①胎土 ②焼成 ③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2－1 | H－3 床直 | 土師器 坏 | ① 11.6 ② 6.5 ③ － | ①細粒 ②良好 ③明赤褐 ④口縁一部欠損 | 口縁部：短く外傾、内・外面横撫で後放射状の篦磨き。体部：内面篦磨き、外面篦削り。底部：深い丸底。外面篦削り。 | 29 | |
| 2－2 | H－3 貯蔵穴 | 土師器 小型甕 | ① 11.9 ② 6.2 ③ 8.3 | ①細粒 ②良好 ③にぶい赤褐 ④ほぼ完形 | 口縁部：短く外傾、内・外面横撫で。体部：内面撫で。外面篦削り。底部：平底、内・外面篦削り。 | 31 | |
| 2－3 | H－3 竈 | 土師器 高坏 | ① 17.7 ②(13.1) ③ 11.4 | ①細粒 ②良好 ③橙 ④ほぼ完形 | 脚部を坏身に差し込み接合。坏部口縁部：内・外面横撫で。交換点に緩やかな稜有り。底部：内・外面篦削り。脚部：横撫で。裾部：横撫で。 | 38 | |
| 2－4 | H－3 床直 | 土師器 坩 | ① 9.0 ② 9.5 ③ 4.5 | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。頸部～底部：内面撫で、外面篦削り。底部：平底、外面篦削り。 | 25 | |
| 2－5 | H－3 床直 | 土師器 坩 | ① [9.4] ② 8.1 ③ 5.0 | ①細粒 ②良好 ③赤 ④口縁一部欠 | 口縁部：外傾、内面刷毛目、外面横撫で。頸部～底部：内面撫で、外面篦削り。底部：平底。 | 32 | 赤彩 |
| 2－6 | H－3 床直 | 手捏 | ① 6.0 ② 3.0 ③ 4.8 | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④完形 | 口縁部：波状。底部：平底。 | 24 | |
| 2－7 | H－3 床直 | 土師器 小型甕 | ① － ②(10.3) ③ － | ①細粒 ②良好 ③にぶい橙 ④口縁欠 | 口縁部：欠損。胴部：中位に膨らみをもち、内面篦削り、外面斜位の篦削り。底部：丸底。 | 23ほか | |
| 2－8 | H－3 床直 | 土師器 小型甕 | ①[10.5] ② 11.7 ③ 4.2 | ①細粒 ②良好 ③黒褐 ④口縁一部欠 | 口縁部：外傾から端部短く外反。内・外面横撫で。胴部：中位が器最大径、内面撫で、外面縦位の篦磨き。底部：平底気味。 | 30 | |
| 2－9 | H－3 床直 | 土師器 甕 | ① 16.0 ② 19.3 ③ 5.5 | ①細粒 ②良好 ③暗赤褐 ④ほぼ完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面縦位の篦磨き。底部：平底。 | 28 | |
| 2－10 | H－3 竈 | 土師器 甕 | ① 14.0 ② 21.0 ③ 3.5 | ①細粒 ②良好 ③にぶい黄橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面篦撫で、外面上位縦位、中・下位不定方向の篦削り。底部：平底、外面篦削り。 | 36 | |
| 2－11 | H－3 床直 | 土師器 甑 | ① 14.4 ② 19.3 ③ | ①細粒 ②良好 ③にぶい褐 ④ほぼ完形 | 口縁部：ほぼ直立、内面横撫で・外面横位の篦磨き。胴部：内面篦削り、外面縦位の篦磨き。底部：小孔多数。 | 27 | |
| 2－12 | H－4 床直 | 土師器 坏 | ①[14.2] ② [4.4] ③－ | ①細粒 ②良好 ③赤褐 ④1/3 | 口縁部：わずかに外傾、内・外面横撫で、外面に調整による段有。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 5ほか | |
| 2－13 | H－4 床直 | 土師器 坏 | ① 13.9 ② 4.4 ③ － | ①細粒 ②良好 ③橙 ④完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面篦削り。 | 75 | |
| 2－14 | H－4 床直 | 土師器 坏 | ① 11.6 ② 3.9 ③ － | ①細粒 ②良好 ③赤褐 ④完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面黒色処理後放射状の篦磨き、外面篦削り。 | 76 | 黒色処理 |
| 2－15 | H－4 竈 | 土師器 甕 | ① 19.3 ② 21.9 ③ 6.8 | ①中粒 ②良好 ③浅黄橙 ④完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面篦撫で、外面斜位の篦削り。底部：平底 | 83 | |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2－16 | H－4<br>竈 | 土師器<br>甕 | ① 19.4　② 42.6<br>③ 4.1 | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面縦位の箆削り。底部：平底 | 84 | |
| 2－17 | H－5<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 12.5　② 5.0<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁部：直立からやや外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 1 | |
| 2－18 | H－5<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 13.0　② 4.9<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁部：直立からやや外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 2ほか | |
| 2－19 | H－6<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ① 13.0　② 3.3<br>③ 7.1 | ①細粒 ②良好<br>③灰白 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：平底。内面撫で、外面回転糸切り未調整。 | 14ほか | |
| 2－20 | H－7<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[12.2] ② 4.4<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 口縁部：直立からやや内傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 3 | |
| 2－21 | H－7<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 11.6　② 4.3<br>③ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④3/5 | 口縁部：内傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 27 | |
| 2－22 | H－8<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[13.6] ② [4.2]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④1/5 | 口縁部：短く外傾、内・外面横撫で。底部：丸底、内面放射状箆磨き、外面箆削り。 | 1 | |
| 2－23 | H－9<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[13.0] ② [5.0]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 口縁部:わずかに外傾､内･外面横撫で。交換点に稜有。底部:丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 27ほか | |
| 2－24 | H－9<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 17.8　②(20.4)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④1/3 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面上・中位縦位の箆削り、下位欠損。 | 39ほか | |
| 2－25 | H－10<br>床直 | 土師器<br>小型甕 | ① －　② [8.3]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁部:欠損。胴部:内面箆撫で、外面横位の箆削り。底部:丸底。 | 9 | |
| 2－26 | H－10<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 15.9　②(10.3)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④ | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面縦位の箆削り。中位以下欠損。 | 10 | |
| 2－27 | H－10<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[14.9] ②(19.9)<br>③ 6.7 | ①中粒 ②良好<br>③明赤褐 ④1/3 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面横位の刷毛目、外面縦位の刷毛目。底部：平底。 | 4ほか | |
| 2－28 | H－10<br>床直 | 土師器<br>甑 | ① 17.6　② 12.3<br>③ | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面縦位の箆削り。底部：単孔 | 11 | |
| 2－29 | H－11<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 11.1　② 3.6<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁部：短く内傾、内・外面横撫で。底部：丸底。内面撫で、外面箆削り。 | 8ほか | |
| 2－30 | H－12<br>貯蔵穴 | 須恵器<br>高台椀 | ①[14.9] ② 6.3<br>③ 8.3 | ①細粒 ②良好<br>③灰黄 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から口縁端部やや外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付け高台。 | 20ほか | |
| 2－31 | H－12<br>竈 | 土師器<br>台付甕 | ① 11.3　②(12.9)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④台部欠損 | 口頸部：コの字。内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面上・中位横位、下位縦位の箆削り。台部：欠損。 | 23 | |
| 2－32 | H－14<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[13.8] ② 3.8<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 口縁部：外傾から端部わずかに外反、内・外面横撫で。底部：平底、内面撫で、外面箆削り。 | | |
| 2－33 | H－14<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[12.4] ② 3.3<br>③－ | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 口縁部:外傾､内･外面横撫で。底部:平底､内面撫で､外面箆削り。 | 17 | |
| 2－34 | H－14<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[11.5] ② 3.3<br>③ [6.3] | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④2/5 | 轆轤整形。口縁･体部:外傾から端部やや外反､内･外面撫で。底部:内面撫で、外面回転糸切り未調整。 | 5ほか | |
| 2－35 | H－14<br>覆土 | 土師器<br>小型甕 | ① 10.0　②<br>③ 3.9 | ①細粒 ②良好<br>③赤褐 ④4/5 | 口縁部：直立からやや外傾、内・外面横撫で。胴部：内面撫で、外面上位横位、中・下位斜位の箆削り。底部：平底。外面箆削り。 | | |
| 2－36 | H－15<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[11.8] ② 3.3<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 1ほか | |
| 2－37 | H－15<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 11.6　② 4.0<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 20 | |
| 2－38 | H－15<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[13.0] ② 3.9<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 口縁部：やや外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面撫で、外面箆削り。 | | |
| 2－39 | H－15<br>覆土 | 土師器<br>甕 | ①[16.8] ②(15.3)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④1/2 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：中位以下欠損。内面箆調整、外面縦位の箆削り。 | 21ほか | |
| 2－40 | H－16<br>床直 | 土師器<br>坏 | ① 12.8　② 5.4<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰褐 ④2/3 | 口縁部：直立からやや外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面撫で、外面箆削り。 | 9 | |
| 2－41 | H－16<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[17.2] ②(11.4)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/5 | 口縁部：外傾から端部外反、内・外面横撫で。胴部：内面箆撫で、外面上位縦位の箆削り、中位以下欠損。 | 17ほか | |
| 2－42 | H－17<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①[14.3] ② 5.1<br>③ 6.1 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から端部外反、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り後付高台。 | 1 | |
| 2－43 | H－18<br>床直 | 土師器<br>鉢 | ① 12.7　② 6.5<br>③ 2.0 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。体～底部：内面撫で、外面箆削り、平底。 | 31ほか | 和泉 |
| 2－44 | H－18<br>覆土 | 土師器<br>小型甕 | ① 9.9　② (6.0)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④1/2 | 口縁部：外傾、内横撫で、外面刷毛目。胴部：内面撫で、外面上位刷毛目、中位以下欠損。 | 25ほか | |
| 2－45 | H－19<br>竈 | 土師器<br>甕 | ①[18.4] ②(24.7)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③灰褐 ④2/5 | 口頸部：コの字。内・外面横撫で。胴部：内面刷毛目、外面上位横位、中・下位縦位の箆削り。底部：欠損。 | 1ほか | |
| 2－46 | H－20<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①[12.2] ② 3.8<br>③ [6.3] | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/3 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾、内・外面撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 覆土 | 酸化焔焼成 |
| 2－47 | H－21<br>竈 | 土師器<br>坏 | ①[11.8] ② 3.2<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁部:外傾､内･外面横撫で。底部:平底､内面撫で､外面箆削り。 | 51 | |
| 2－48 | H－21<br>竈 | 土師器<br>甕 | ①[21.4] ②(23.4)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 口頸部：コの字。内・外面横撫で。胴部：内面箆撫で、外面上位横位、中・下位縦位の箆削り。底部：欠損。 | 24ほか | |
| 2－49 | H－24<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[13.2] ② [5.2]<br>③ [6.0] | ①細粒 ②良好<br>③灰 ④1/4 | 轆轤整形。口縁・体部：外傾から端部外反、内・外面横撫で。底部：内面撫で、外面回転糸切り。 | 5 | |

| 番　号 | 出土遺構<br>層　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土　②焼成<br>③色調　④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2－50 | H－24<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①[13.9]　②　[6.0]<br>③[7.9] | ①細粒　②良好<br>③灰　④1/3 | 精緻整形。口縁・体部：外傾、内・外面施で。底部：内面施で。外面回転糸切り後付高台。 | 6 | |
| 2－51 | H－25<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①　12.6　②　4.4<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③黒褐　④4/5 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面施で。外面箆削り。 | 2 | |
| 2－52 | H－26<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[12.4]　②　3.6<br>③　[6.5] | ①細粒　②良好<br>③黄灰　④1/2 | 精緻整形。口縁・体部：外傾からやや外反、内・外面施で。底部：内面施で、外面回転糸切り。 | 16ほか | |
| 2－53 | H－26<br>床直 | 須恵器<br>高台皿 | ①[14.2]　②　[2.5]<br>③[6.5] | ①細粒　②良好<br>③にぶい橙　④1/4 | 精緻整形。口縁・体部：外傾、内・外面施で。底部：内面施で。外面付け高台。 | 38 | |
| 2－54 | H－27<br>貯蔵穴 | 土師器<br>高坏 | ①　17.7　②　14.2<br>③　14.0 | ①細粒　②良好<br>③橙　④ほぼ完形 | 坏部口縁部：内面横撫で後放射状の箆磨き、外面上位横撫で、中位刷毛目、交換点に稜有り。脚部：横撫で。 | 25ほか | |
| 2－55 | H－27<br>貯蔵穴 | 土師器<br>高坏 | ①　23.4　②　(7.3)<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③橙　④脚部以下欠損 | 坏部口縁部：内面横撫で後放射状の箆磨き、外面横撫で。交換点に稜有り。脚部：欠損。 | 30ほか | |
| 2－56 | H－29<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①　11.4　②　3.8<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③橙　④2/3 | 口縁部：直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：浅い丸底、内面施で、外部箆削り。 | 2 | |
| 2－57 | H－29<br>竈 | 土師器<br>甕 | ①[21.4]　②(30.5)<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③橙　④2/5 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面上位横位、中・下位斜位の箆削り。底部欠損。 | 1 | |
| 2－58 | H－32<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[11.2]　②　4.0<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④2/5 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。体部：内・外面施で。底部：平底気味、浅い丸底、内面施で、外面箆削り。 | 9ほか | |
| 2－59 | H－32<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　17.0　②(19.3)<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④1/3 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：上～中位は内・外面不定方向の刷毛目、下位欠損。 | 11ほか | |
| 2－60 | H－33<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①[15.9]　②(10.4)<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③にぶい橙　④2/5 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面上位縦位の箆削り、中位以下欠損。 | 41ほか | |
| 2－61 | W－1<br>覆土 | 須恵器<br>坏 | ①[10.0]　②　4.2<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③灰　④1/2 | 口縁部：内傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：平底、内面横撫で、外面回転糸切り。 | | |
| 2－62 | D－21<br>覆土 | 灰　釉<br>高台椀 | ①　13.9　②　4.9<br>③　7.5 | ①細粒　②良好<br>③灰白　④3/4 | 精緻整形。口縁・体部：外傾から口縁端部外傾、内・外面横撫で。底部：内面施で。釉薬は漬け掛け。 | 17ほか | |
| 2－63 | P－4<br>覆土 | 土師器<br>甕 | ①　13.4　②　13.1<br>③　6.3 | ①細粒　②良好<br>③橙　④ほぼ完形 | 口縁部：外傾、内・外面施で。胴部：内・外面横位の箆撫で。底部：平底。外面箆削り。 | 1 | |

3区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土　②焼成<br>③色調　④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3－1 | H－1<br>床直 | 須恵器<br>坏 | ①[12.9]　②　4.7<br>③　6.2 | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④1/2 | 精緻整形。口縁・体部：外傾から口縁端部僅かに外反、内・外面横撫で。底部：内面施で、外面回転糸切り未調整。 | 7 | |
| 3－2 | H－1<br>竈 | 土師器<br>甕 | ①　20.2　②(12.3)<br>③－ | ①細粒　②良好<br>③橙　④口縁部 | 口頸部：コの字。内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面上位は横方向の箆削り、中位以下欠損。 | 24ほか | |
| 3－3 | H－2<br>床直 | 須恵器<br>高台椀 | ①[13.1]　②　6.1<br>③　5.9 | ①細粒　②良好<br>③灰黄　④2/3 | 精緻整形。口縁・体部：外傾から口縁端部僅かに外反、内・外面横撫で。底部：内面施で、外面回転糸切り後付け高台。 | 2 | |

5区

| 番　号 | 出土遺構<br>層　位 | 器種名 | ①口径　②器高<br>③底径 | ①胎土　②焼成<br>③色調　④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5－1 | H－2<br>床直 | 土師器<br>小型壺 | ①　13.1　②(12.2)<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③橙　④1/2 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：上～中位は内面施で、外面箆撫で、下位欠損。 | | |
| 5－2 | H－3<br>床直 | 須恵器<br>杯 | ①[12.7]　②　5.9<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③灰　④1/2 | 口縁部：内傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部：丸底、内面横撫で、外面回転箆削り。 | 7 | |
| 5－3 | H－4<br>床直 | 土師器<br>高杯 | ①　18.3　②　13.4<br>③[15.4] | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④裾部一部欠 | 坏部口縁部：内・外面横撫で。交換点に稜有り。底部：箆削り。脚部：横撫で。裾部：横撫で。 | 8ほか | |
| 5－4 | H－4<br>床直 | 土師器<br>高杯 | ①　20.4　②　18.0<br>③　15.4 | ①細粒　②良好<br>③橙　④完形 | 坏部口縁部：内面横撫で後放射状の箆磨き、外面上位横撫で、中位以下刷毛調整後、箆削り。交換点に稜有り。脚部：磨滅調整後縦方向の箆磨き。 | 41ほか | |
| 5－5 | H－4<br>床直 | 土師器<br>坩 | ①[9.8]　②　9.2<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④1/2 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面横方向の刷毛調整後箆削り。底部：箆削り。 | 23 | |
| 5－6 | H－4<br>床直 | 土師器<br>坩 | ①　11.7　②　12.8<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④完形 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で後縦方向の箆磨き。胴部：上～中位は内・外面施で、下位は縦・横方向の箆施で。 | 71ほか | |
| 5－7 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　17.9　②(18.1)<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④2/3 | 口縁部：外反、内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面上位は縦、中位は横の方向の箆削り。底部：欠損。 | 15 | |
| 5－8 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　16.1　②(22.5)<br>③明赤褐　④4/5 | ①細粒　②良好<br>③明赤褐　④4/5 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面上から中位は施で、下位は縦方向の箆削り。底部：欠損。 | 44ほか | |
| 5－9 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　15.9　②　21.7<br>③　7.2 | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④2/3 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面上位施で、中～下位は横方向の箆削り。底部：平底気味。不定方向の箆削り。 | 48 | |
| 5－10 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　16.6　②(23.9)<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③浅黄橙　④1/2 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面横方向の刷毛目、外面斜め方向の刷毛目。底部：欠損。 | 55ほか | |
| 5－11 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　16.2　②　24.0<br>③　8.5 | ①細粒　②良好<br>③にぶい黄橙　④4/5 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面施で、外面縦位の箆磨き。底部：平底。 | 69ほか | |
| 5－12 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ①　13.9　②　13.6<br>③　－ | ①細粒　②良好<br>③橙　④1/2 | 口縁部：外傾、内・外面横撫で。胴部：内面刷毛目、外面斜め方向の刷毛目。下位欠損。 | 66ほか | |

| 番号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径 ②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5－13 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 17.4 ② 25.6<br>③ 7.5 | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④3/4 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内面荒削り、外面上位撫で、中位は斜め方向の荒調り、下位は横方向の荒磨き。底部:平底。 | 801ほか | |
| 5－14 | H－4<br>床直 | 土師器<br>甕 | ① 16.8 ②(18.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内面粗撫で、外面上・中位縦方向の荒削り、下位欠損。 | 921ほか | |
| 5－15 | H－4<br>床直 | 土師器<br>壺 | ①[17.2] ②(23.0)<br>③ [6.6] | ①中粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/2 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内面荒削り、外面上位縦方向の荒磨き、中位は斜め方向の荒調り、下位は横方向の荒磨き。底部:平底。 | 78ほか | |
| 5－16 | H－4<br>床直 | 土師器<br>壺 | ① 18.9 ② 24.6<br>③ 7.0 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④3/4 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内面撫で、外面上位縦方向の刷毛目、中位は斜め方向の刷毛目。底部:平底。 | 111ほか | |
| 5－17 | H－4<br>床直 | 土師器<br>壺 | ① 14.8 ② 20.1<br>③ 6.5 | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④ほぼ完形 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内・外面斜位の刷毛目。底部:平底気味。 | 98ほか | |
| 5－18 | H－4<br>床直 | 土師器<br>壺 | ① 16.7 ② 21.1<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③赤褐 ④3/4 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内面荒撫で、外面上位縦位、中位斜位の荒削り。底部:欠損。 | 99ほか | |
| 5－19 | H－4<br>床直 | 土師器<br>壺 | ① 17.7 ②(24.4)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③明赤褐 ④1/2 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内面撫で、外面縦位の荒磨き。底部:欠損。 | 82ほか | |
| 5－20 | H－4<br>床直 | 土師器<br>壺 | ① 16.4 ②(23.0)<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③灰赤 ④1/2 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:上位横位、中位不定方向、下位縦位の刷毛目。底部:欠損。 | 581ほか | |
| 5－21 | H－4<br>床直 | 土師器<br>壺 | ① 17.8 ②(15.6)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/3 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:上・中位内・外面斜位の荒調り、下位欠損。 | 1004ほか | |
| 5－22 | H－4<br>床直 | 土師器<br>小型壺 | ① 14.2 ②(10.2)<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい黄橙 ④2/3 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。胴部:内面荒撫で、外面不定方向の荒調り、下位欠損。 | 571ほか | |
| 5－23 | H－4<br>床直 | 土師器<br>小型壺 | ① － ② 4.9<br>③ 5.0 | ①細粒 ②良好<br>③黒褐 ④口縁欠 | 口縁部:欠損。胴部:内面撫で、外面不定方向の荒調り。底部:平底。 | 4 | |
| 5－24 | H－4<br>床直 | 土師器<br>小型壺 | ① [8.6] ② 7.3<br>③ 4.5 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④2/3 | 口縁部:狭く外傾、内・外面横撫で。胴部:内面撫で、外面荒調り後赤彩。底部:平底。荒削り。 | 64 | |
| 5－25 | H－4<br>床直 | 土師器<br>鉢 | ① 12.8 ② 9.1<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④2/3 | 口縁部:狭く外反し、内・外面横撫で。胴部:内面撫で、外面斜位の荒調り。底部:丸底。荒削り。 | 1104ほか | |
| 5－26 | H－4<br>床直 | 土師器<br>鉢 | ① 13.0 ② 7.0<br>③ 3.0 | ①細粒 ②良好<br>③にぶい赤褐 ④5/6 | 口縁部:狭く外反し、内・外面横撫で。胴部:内面撫で、外面斜位の荒調り。底部:丸底。荒削り。 | 1114ほか | |
| 5－27 | H－4<br>床直 | 土師器<br>はそう | ①[10.8] ②10.6<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③赤 ④5/6 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で後緩方向の荒磨き。胴部:内面撫で、外面横位荒調り。底部:平底気味。中心に窪み有。 | 814ほか | |
| 5－28 | H－5<br>覆土 | 土師器<br>坏 | ①[13.2] ②[4.0]<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④1/4 | 口縁部:直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部:浅い丸底、内面撫で、外面荒削り。 | | |

6区

| 番号 | 出土遺構<br>層位 | 器種名 | ①口径 ②器高<br>③底径 | ①胎土 ②焼成<br>③色調 ④遺存度 | 器種の特徴・整形・調整技術 | 登録<br>番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6－1 | H－1<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[12.6] ② 7.1<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい褐 ④2/3 | 口縁部:やや内傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部:丸底、内面撫で、外面荒削り。 | 1 | |
| 6－2 | H－1<br>貯蔵穴 | 土師器<br>坏 | ①[13.1] ② 4.4<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④2/3 | 口縁部:やや外傾、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部:丸底、内面撫で、外面荒削り。 | 2 | |
| 6－3 | H－1<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[15.3] ② 4.5<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④1/2 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で、外面に調整による段有。。交換点に稜有。底部:浅い丸底、内面撫で、外面荒削り。 | 7ほか | |
| 6－4 | H－2<br>床直 | 土師器<br>坏 | ①[12.0] ② 4.2<br>③ － | ①中粒 ②良好<br>③橙 ④1/3 | 口縁部:直立、内・外面横撫で。交換点に緩やかな稜有。底部:丸底、内面撫で、外面荒削り。 | 1 | |
| 6－5 | H－3<br>貯蔵穴 | 土師器<br>坏 | ① 11.1 ② 3.7<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③橙 ④4/5 | 口縁部:短く直立、内・外面横撫で。交換点に稜有。底部:丸底、内面撫で、外面荒削り。 | 6ほか | |
| 6－6 | H－3<br>貯蔵穴 | 土師器<br>坏 | ① 11.1 ② 3.9<br>③ － | ①細粒 ②良好<br>③にぶい橙 ④4/5 | 口縁部:外傾、内・外面横撫で。底部:丸底、内面撫で、外面荒削り。 | P5 | |

注 ① 層位は「床直」:床面より10cm以内の層位からの検出、「覆土」:床面より10cmを超える層位からの検出とした。
② 口径・器高・底径の単位は cm である。現存値を（ ）、復元値を［ ］で示した。
③ 胎土は、細粒（0.5mm以下）、中粒（1.0～1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な粒物が入る場合に粒物名を記載した。
④ 焼成は、堅良・良好・不良の三段階とした。
⑤ 色調は、土器外面で観察し、色名は新版標準土色帳（小山・竹原1976）によった。

Tab. 8 石器・石製品・土製品観察表

1区

| 番号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 長 径 | 短 径 | 最大厚 | 重 量 | 材 質 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1－石1 | H－1 床直 | 石 鏃 | 2.1 | 1.4 | 0.3 | 0.8 | 黒曜石 | 完 形 | 6 | |
| 1－石2 | H－2 竈 | 支 脚 | 15.0 | － | 7.3 | 670.0 | 土 製 | 完 形 | 59 | |
| 1－石3 | X39Y82 覆土 | 白 玉 | 1.1 | 1.1 | 0.2 | 0.3 | 滑 石 | 完 形 | 1 | |
| 1－石4 | X40Y82 覆土 | 白 玉 | 1.0 | 1.0 | 0.4 | 0.7 | 滑 石 | 完 形 | 5 | |

2区

| 番号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 長 径 | 短 径 | 最大厚 | 重 量 | 材 質 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2－石1 | J－1 床直 | 石 皿 | (14.8) | (10.9) | 3.5 | 720 | 安山岩 | 2 / 3 | 22 | |
| 2－石2 | J－1 床直 | 磨 石 | 9.0 | 6.9 | 5.3 | 440 | 安山岩 | 完 形 | | 表裏両面に凹痕 |
| 2－石3 | H－6 床直 | 敲 石 | 15.9 | 3.0 | 4.2 | 295.0 | 凝灰岩 | 完 形 | 68 | 5面使用 |
| 2－石4 | H－18 床直 | 石製紡錘車 | 4.0 | 4.0 | 2.0 | 31.2 | 滑 石 | 完 形 | 26 | 断面三角形 |
| 2－石5 | H－20 覆土 | 砥 石 | (7.0) | 4.5 | 3.5 | 140.0 | 凝灰岩 | 1 / 2 | 1 | 4面使用 |
| 2－石6 | H－22 覆土 | 白 玉 | 1.3 | 1.2 | 0.6 | 1.4 | 滑 石 | 完 形 | 1 | |
| 2－石7 | H－22 覆土 | 白 玉 | 1.2 | 1.0 | 0.5 | 1.0 | 滑 石 | 完 形 | 2 | |
| 2－石8 | H－22 覆土 | 白 玉 | 1.2 | 1.2 | 0.8 | 1.9 | 滑 石 | 完 形 | 3 | |
| 2－石9 | D－5 覆土 | 石製紡錘車 | 3.4 | 3.3 | 1.5 | 22.8 | 滑 石 | 完 形 | 1 | 放射線状の磨き有。断面厚台形。 |

5区

| 番号 | 出土遺構／層位 | 器種名 | 長 径 | 短 径 | 最大厚 | 重 量 | 材 質 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5－石1 | H－4 床直 | 勾 玉 | 2.5 | 1.7 | 0.7 | 3.8 | 滑 石 | 完 形 | 79 | |
| 5－石2 | M－1 覆土 | 砥 石 | (7.4) | 4.5 | 3.3 | 125.0 | 凝灰岩 | 1 / 2 | | 4面使用 |

注 ① 層位は「床直」：床面より10cm以内の層位からの検出。「覆土」：床面より10cmを超える層位からの検出とした。
② 長径・短径・最大厚の単位はcmであり、重さの単位はgである。現存値を（ ）で示した。

# Ⅶ　まとめ

本遺跡は、赤城山南麓に源を発する小河川が南流し、開析谷によって形成された標高140～150mの舌状台地上に位置する。

調査区は、土地改良事業に伴い新設される道・水路用地を対象とし、道路部分は幅５m、水路部分は幅3.2m～４mの極めて狭長なトレンチ状の調査区となっており、東側より１区、２区、３区、４区と設定した。また、事業区域内に古墳があることが確認されたため古墳区域を5区、さらに工事中に土取りがなされたため緊急調査を行なった部分を６区とした。なお、１区は、２～６区の位置する台地の東側の台地上に位置する。

調査の結果、竪穴式住居跡59軒、古墳１基、溝跡11条、土坑36基、井戸跡３基を検出した。

## 1　集落の変遷について

本遺跡から検出された住居跡59軒のうち時代を特定することができたものは56軒になり、縄文時代（前期後半１軒）、古墳時代中期（５世紀後半～６世紀初頭　９軒）、古墳時代後期（６世紀前半～７世紀中葉　31軒）、平安時代（９世紀～10世紀前半　15軒）の４時期に分類できた。ここでは、それぞれの時期ごとの住居跡の特徴と傾向について考えてみたい。

### （１）縄文時代（前期後半）

縄文時代の遺構としては、２区より諸磯ｃ式土器を伴う縄文時代前期後半と考えられる住居跡１軒が検出された。今回検出された２区Ｊ－１は、長軸（4.92m）×短軸（3.98m）の隅丸方形を呈し、中央南寄りに炉跡が検出されている。住居跡内では２箇所テラス状の高まりを確認した。出土遺物は、諸磯ｃ式の深鉢片が多数を占め、床面上からは「くの字」と「木の葉文」で２単位構成をとる完形の小形深鉢（Tab. 6　２－縄１）が下半部を埋設した状態で出土している。そのほかに諸磯ｂ式・興津式土器の破片が数点確認された。また、包含層からは阿玉台・黒浜式土器の破片が検出されている。本遺跡地周辺では、芳賀、五代町の工業団地等の造成に伴い昭和40年代後半から発掘調査を行い縄文前期から後期にかけての遺構・遺物が多数検出されていることから、この地においても縄文時代前期後半の小規模な集落があったものと考えられる。

### （２）古墳時代中期（５世紀後半～６世紀初頭）

この時期に該当する住居跡は、９軒（１区Ｈ－７、２区Ｈ－３・５・８・18・27・28・32、５区Ｈ－４）検出され、全体の約15%を占める。その立地は１区に１軒、他は２区に均一に分布している。住居跡の規模は小型のものから大型のものまであり、最小は５区Ｈ－４、最大は２区Ｈ－18となり一辺12m以上になるものと推定される。住居跡の掘削深度については、60～70cmに及ぶ深いものが多いのが特徴である。

１区Ｈ－７、２区Ｈ－５・８・27・28・32の６軒の住居跡より、覆土中にHr−FAの堆積を確認することができた。Hr−FAの降下年代については、土師器、須恵器の編年から５世紀末から６世紀前半の時期が多くの研究者の研究成果として提示されている。ここでは6世紀初頭をその降下年代として考えると、それほど時期を経ていない住居跡として、Hr−FAが床面近くに堆積する２区Ｈ－５・28があげられる。１区Ｈ－７、２区Ｈ－８・27・32については、覆土中～上層にHr−FAが堆積することから住居廃棄後の埋没途中に堆積したものと考えられ、出土遺物から５世紀後半から末頃の年代に位置づけられる。

その他としては、出土遺物等から５世紀後半頃の所産と考えられる２区Ｈ－３がある。この住居跡からは、

東壁やや南寄りの位置より和泉期の竈が竈に架けられた状態で検出されている。群馬県内において竈を伴う該期の住居跡の検出例はあまり多くなく「下芝五反田遺跡」で検出された住居跡が炉をもつ住居から竈をもつ住居への変遷を捉えることが出来る良好な検出例となっており、この2区H－3についても赤城南麓の住居跡の変遷を考えるうえで良好な資料となるものと考えられる。

また、1区H－7、2区H－27については、床面全体に炭化材が検出されていることから焼失住居の可能性が考えられる。

当該期での特徴的な遺物としては和泉期の所産と考えられる5区H－4から一括廃棄された状態で多量の遺物が出土している。器種構成は土師器坏・高坏・埦・甕・鉢・鉢等で構成され、該期の良好な一括資料となるものと考えられる。

**（3）古墳時代後期（6世紀前半～7世紀中葉）**

この時期に該当する住居跡は、31軒（1区H－1・2・3・4・5・6、2区H－1・2・4・7・9・10・11・15・16・22・25・29・33・34、5区H－1・2・3・5・6、6区H－1・2・3・4・5・6）検出された。この時期の住居跡は、全体の約50%を占め、その立地も3・4区の位置する台地西側以外から平均的に検出されている。主軸方向はN－31°－EからN－86°－Wとなりそれぞれの住居跡ごとに主軸方向が大きなばらつきを見せている。住居跡の規模についても小型のものから比較的大型のものまで幅広く検出されている。竈についても設置場所にばらつきが見られ東壁1軒、西壁1軒、北壁1軒、北東壁7軒、北西壁1軒、南西壁1軒となっている。

特徴的な住居跡としては、6世紀中葉の所産と考えられる1区H－2がある。この住居跡では竈周辺部を中心として土師器坏・甕・甑等がほぼ完形に近い状態で数多く出土したため、該期の土器編年を考える上での良好な資料となるものと考えられる。また、竈脇に設置された方形の貯蔵穴の周りに馬蹄形（弧）状の高まりが確認された。なお、馬蹄形状の高まりについては、1区H－1・4・5、2区H－33の貯蔵穴の周りからも確認されている。

その他には、2区H－4・7、6区H－1・6から間仕切り溝が検出されている。

**（4）平安時代（9世紀～10世紀前半）の遺構・遺物について**

この時期に該当する住居跡は、15軒（2区H－6・12・13・14・17・19・20・21・23・24・26・30、3区H－1・2・3）検出された。この時期の住居跡は、全体の約25%を占め、その立地は2・3区の位置する舌状台地上に集中している。主軸方向はN－83°－EからN－110°－Eの範囲に収まり、大きなばらつきは見られない。住居跡の規模については、調査区がトレンチ状であるため完掘できたものが1軒もないが、最大でも4.78m×4.58m（2区H－6）程度になると推定され、規模が比較的小型化・均一化する傾向にあるものと考えられる。検出された竈もすべて住居跡東壁の中央から南寄りに作られており、構築材には粘土のほかに河原石等が使用されていた。特に、2区H－12・17・19からは、石組みで土台を作って粘土で覆った竈が検出されており、竈の構築方法を考える上での良好な資料となるものと考えられる。また、確認できた貯蔵穴はすべて竈の右脇に設置されていた。

**（5）まとめ**

本遺跡では、古墳時代中期から集落が形成されはじめ、6世紀に最盛期を迎える。しかし、2～6区が位置する台地上においては、7世紀代に入ると群集墳が築造されたため、7世紀中葉～8世紀代においては居住域として利用されなかったものと推測される。7世紀～8世紀代の居住域としては、本遺跡北東200mに位置する「勝

沢田之口遺跡」から８世紀代の住居跡が検出されていることから、集落が上方にシフトしていることが窺える。ただし、これらは狭い範囲での傾向であり、正確な時期別の集落の拡がりについては、周辺で行われている上武国道築造に伴う発掘調査成果の公表を待って、今後整理していく必要があるであろう。

## ２　M－１について

昭和10年に行われた県下一斉古墳調査により旧南橘村では45基（うち上細井町では17基）の古墳が確認されている。本古墳は、字、地番等を検証した結果、その時の調査から漏れているものと考えられる。上細井地区で確認されている古墳のほとんどは、古墳時代終末期の円墳であり、本古墳もこの時期に該当すると考えられる。M－１の現状は、谷地に挟まれた舌状台地の中央部に位置し、畑地として利用されており、上細井町字丑子塚436番１となっている。周囲の畑との比高差は約1.5mである。なお、本古墳の南約400mには、丑子塚古墳（上毛古墳綜覧　南橘村第６号）が現存する。

（１）墳丘

墳丘上半部は、耕作、後世の石材採掘等により削平されており、周囲も耕作等による撹乱を受けている。残存規模は、南北（14.6）m、東西（13.5）m、高さ（1.29）mを測る。平面形状は、やや方形に近い円形を呈する。前庭部の墓前施設は検出されていない。

墳丘の構築面は、部分的にAs－Cの堆積する黒褐色土層を基盤に構築されており、構築土はAs－C・Hr－FA混土やローム土を互層に使用している。構築面には石室の石材加工をした際のハツリ屑も検出されている。

（２）周堀

合計８本のトレンチを入れ確認を行った結果、石室前面南側の第４トレンチ以外で周堀を検出することが出来た。平面形状は、南側前面部が開く馬蹄形状を呈するものと思われる。周堀の覆土は、ローム土を含むAs－C・Hr－FA混土であり、現耕作土下からはAs－Bが厚さ５～20cmで検出されている。周堀の幅、深さは一定ではなく、最大幅12m、検出面からの最大深は1.2mを測り、ハードローム面まで掘削が到達していた。

（３）石室

石室は、後世の石材採掘等により天井石、壁石の一部が抜き取られたことにより、裏込石が石室の奥から前面部まで全体に堆積していたが、両袖型横穴式石室であることが確認できた。石室の規模は、全長6.8m、玄室長3.9m、玄室幅1.7m、羨道長2.9m、羨道幅0.9mを測る。

羨道部の閉塞施設については、石材採掘によって天井石等が取り除かれたことにより裏込石が流れ込んでいたため、明らかに石を積み上げている状況は確認出来なかった。羨道部側壁は、左右１段が残存するのみである。石材は、角閃石安山岩、粗粒輝石安山岩を使用している。

玄室、羨道部の境界部に框石は確認出来なかったが、やや高まっている。平面は羽子板状を呈する。床面には鶏卵大の川原石を敷いている。奥壁、側壁の大型の石材には粗粒輝石安山岩、奥壁の隅、両袖部分の小型の石材に角閃石安山岩を使用している。大型の石材については、ハツリ痕があり、玉石下にハツリ屑が検出されていることから壁石設置時に最終的な調整を行ったと推定される。

（４）裏込

裏込は、５～30cmの川原石を使用し、壁石に近い部分と外側に比較的大きい石を使用している状況が確認できた。

（５）出土遺物

墳丘、周掘からは、直接Ｍ－１と関係すると考えられる遺物は出土しなかった。

（６）時期

築造時期については、墳丘下より和泉期（５世紀後半）から鬼高期（６世紀中葉～後半）にかけての住居跡が

重複し出土遺物に埴輪片等もみられないことや角閃石安山岩の截石を多用すること等から7世紀代に築造されたものと考えられる。

〈引用参考文献〉
群馬県史跡名勝天然記念物調査会 『上毛古墳綜覧』 1938年
群馬県教育委員会編 『群馬県遺跡調査報告 群馬県の遺跡』 1963年
(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団編 『荒砥鳥原遺跡』 1983年
前橋市埋蔵文化財発掘調査団編 『南田之口遺跡』 1985年
群馬県企業局編 『萱野遺跡 下田中遺跡 矢場遺跡』 1991年
(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団編 『下芝五反田遺跡－古墳時代編－』 1998年
(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団編 『下芝天神遺跡・下芝上田屋遺跡』 1998年
前橋市教育委員会編 『芳賀団地遺跡群第3巻 芳賀東部団地遺跡Ⅲ－縄文・中近世編－』
富士見村教育委員会編『富士見地区遺跡群 愛宕山遺跡 初室古墳・愛宕遺跡・日向遺跡』
富士見村教育委員会 1994年
前橋市埋蔵文化財発掘調査団編 『勝沢田之口遺跡』 2008年

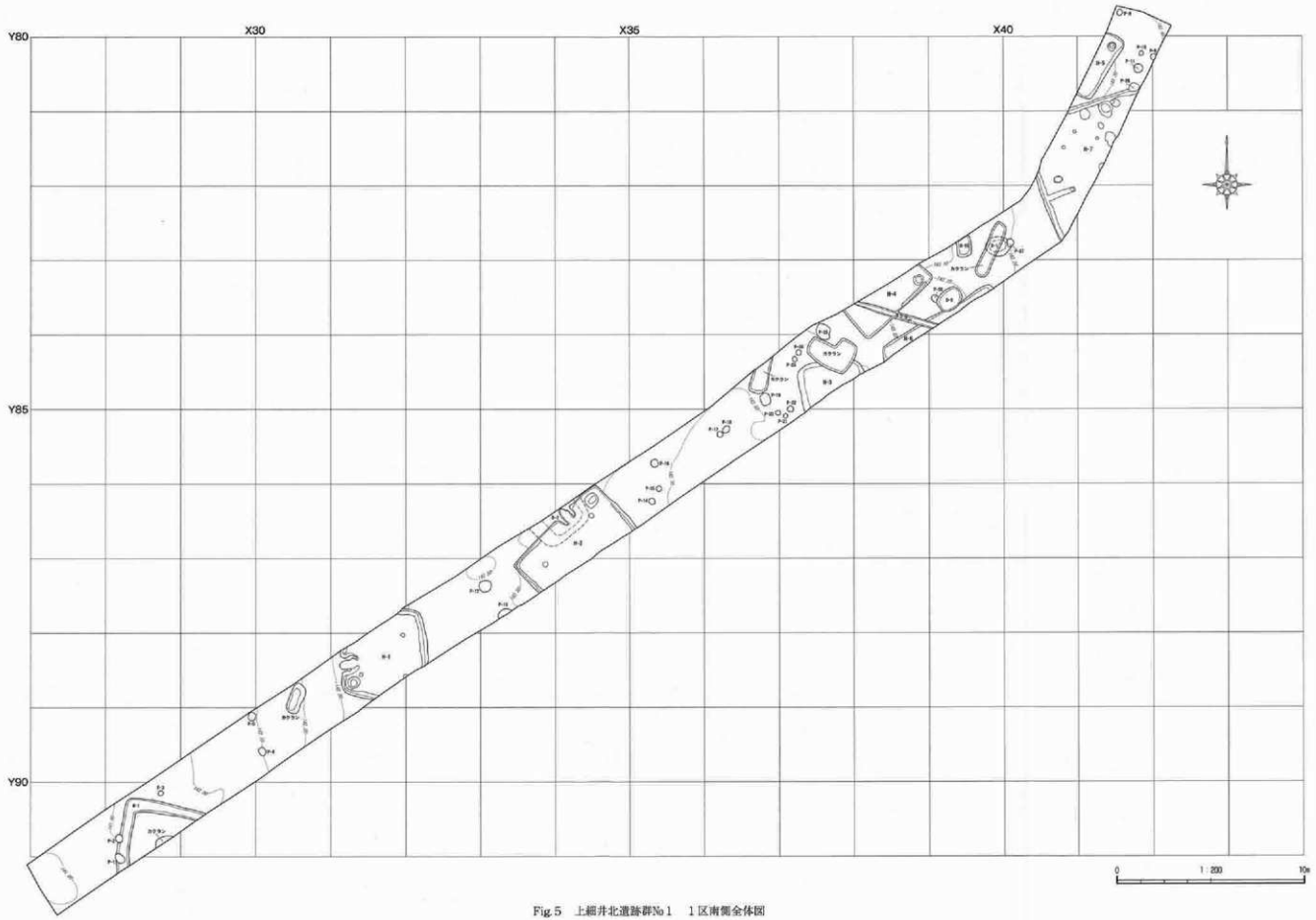



Fig.5　上細井北遺跡群No.1　1区南側全体図

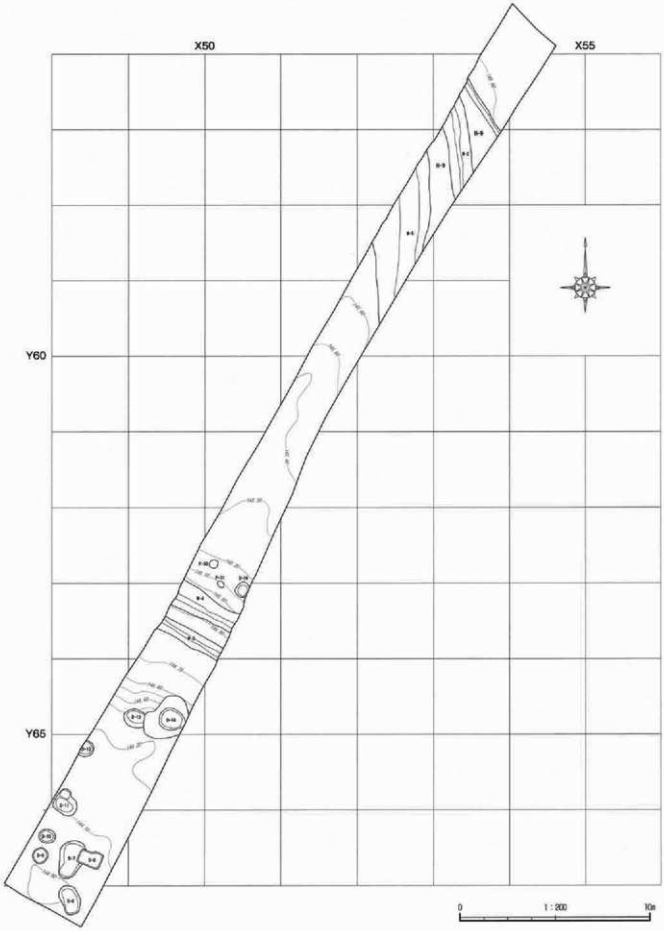



Fig. 6　上細井北遺跡群No 1　1区北側全体図

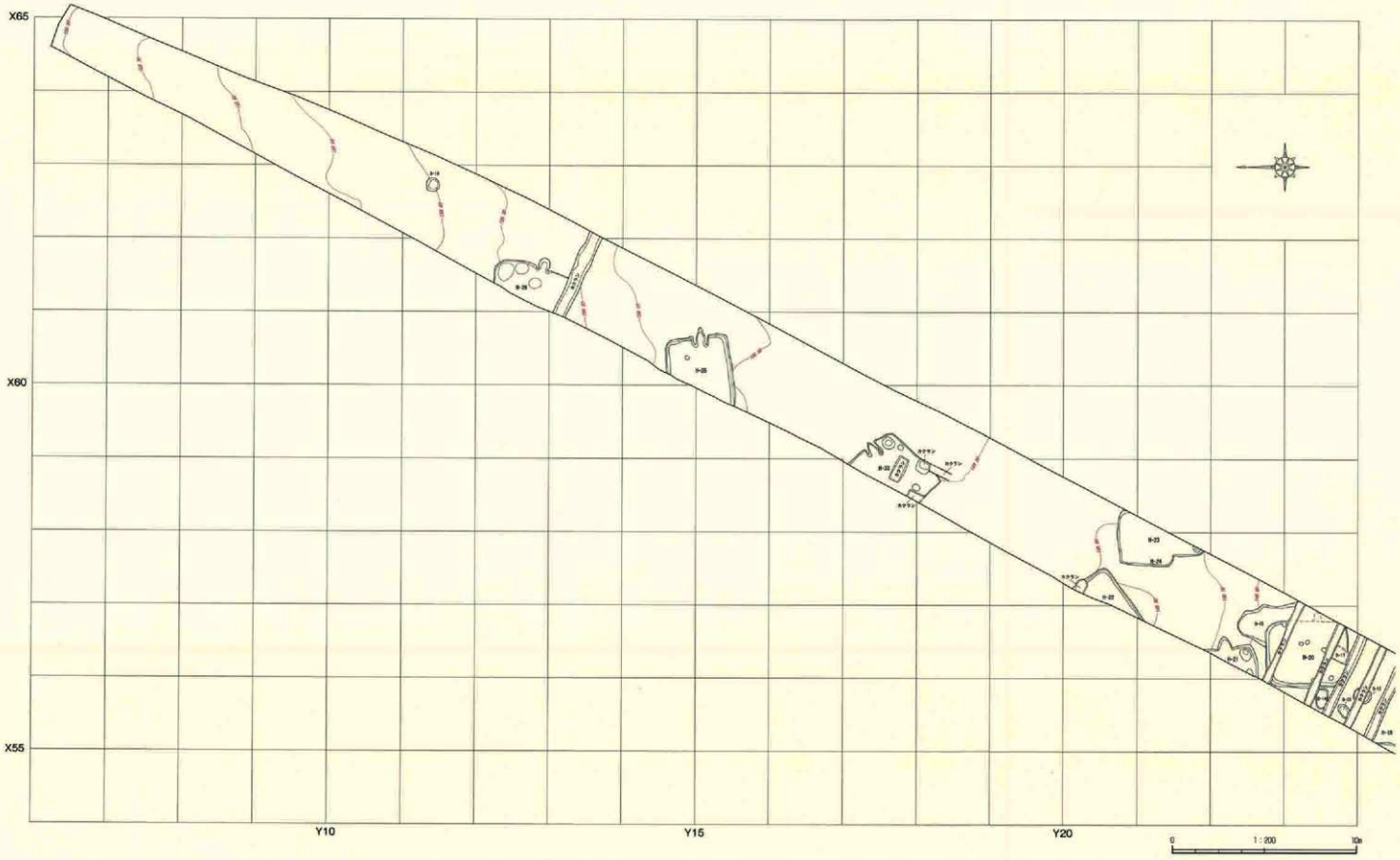



Fig.7　上畑井北遺跡群No 1　2区全体図（1/3）

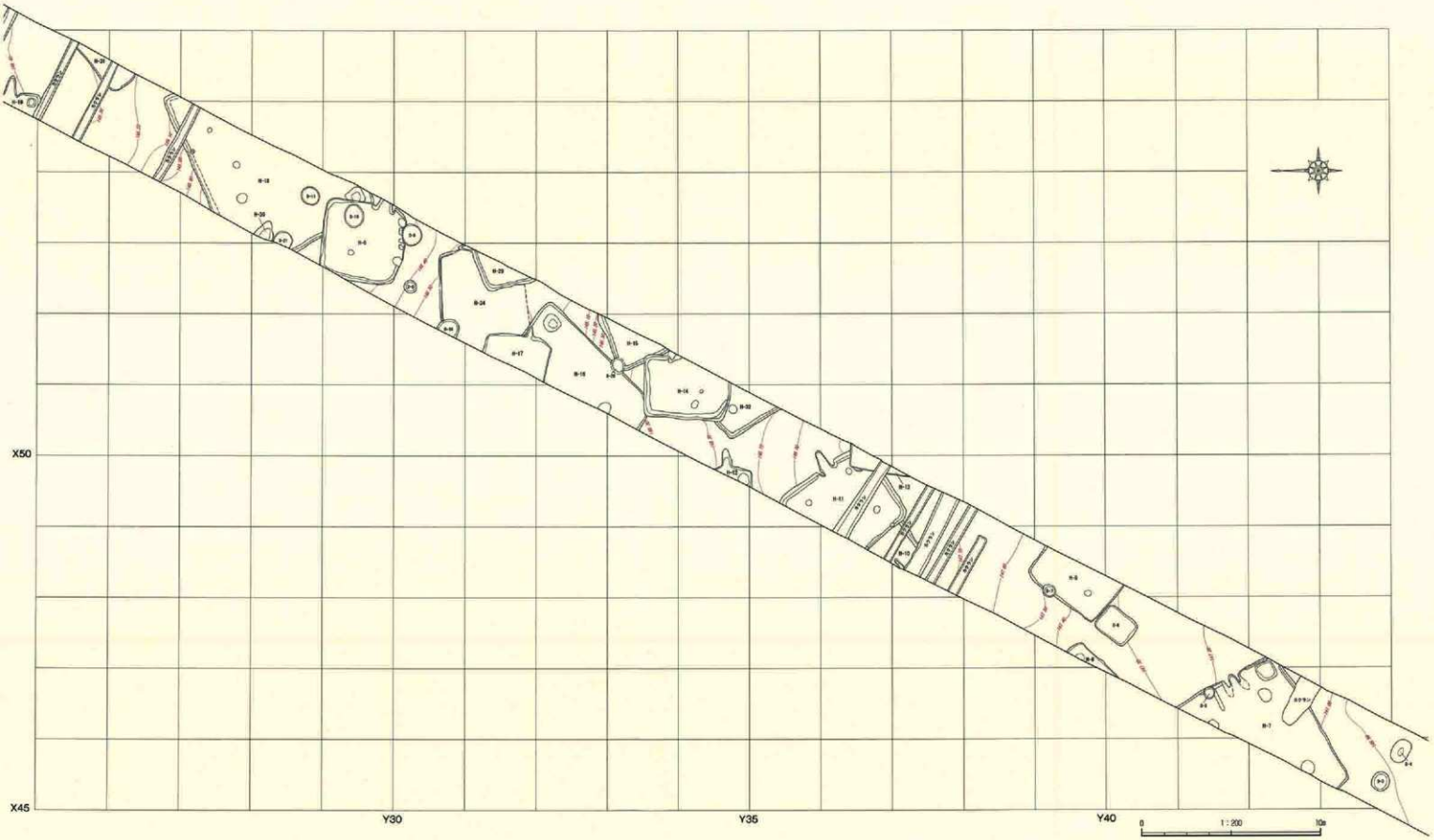



Fig.8　上細井北遺跡群№1　2区全体図（2/3）

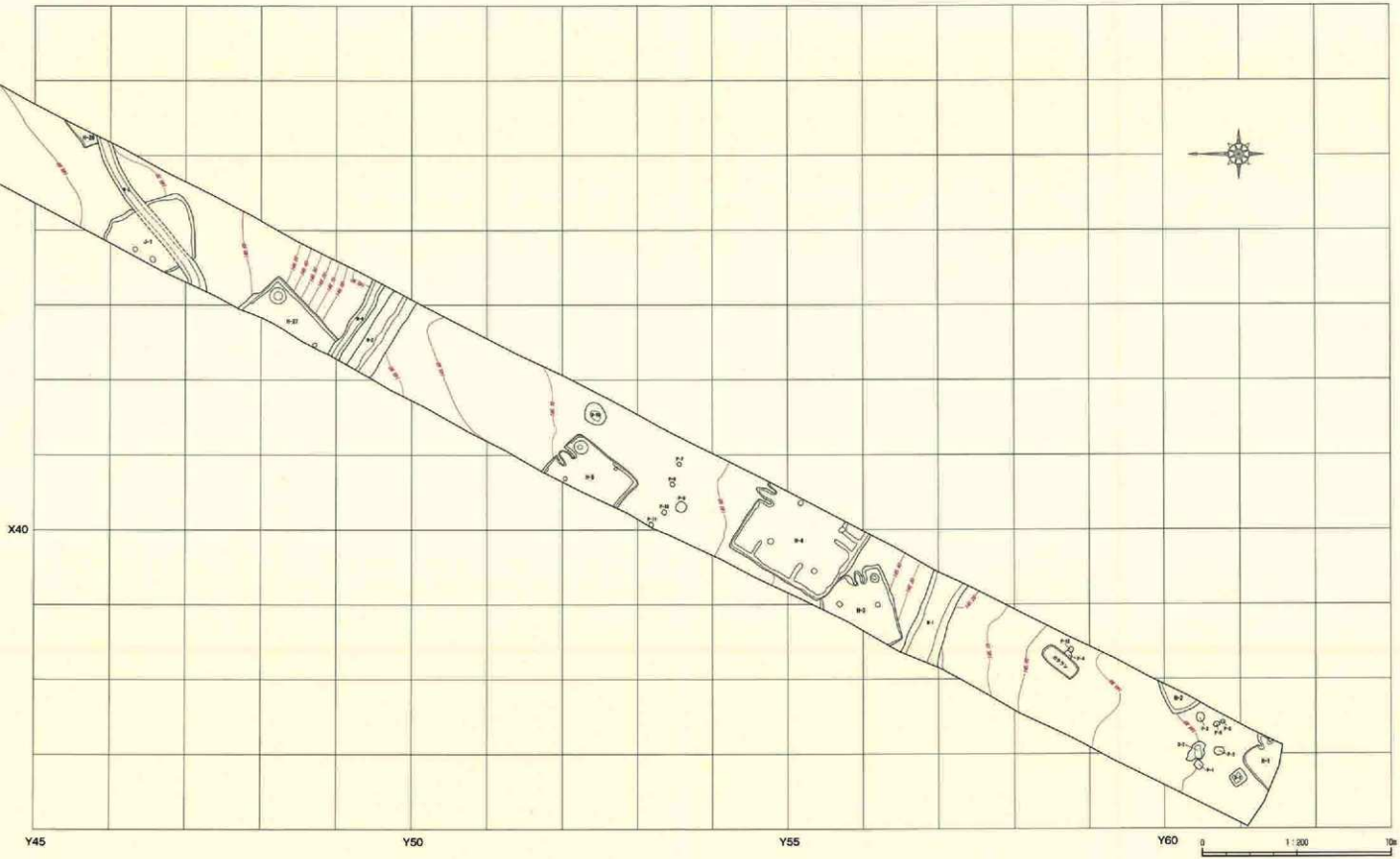



Fig.9　上細井北遺跡群No.1　2区全体図（3/3）

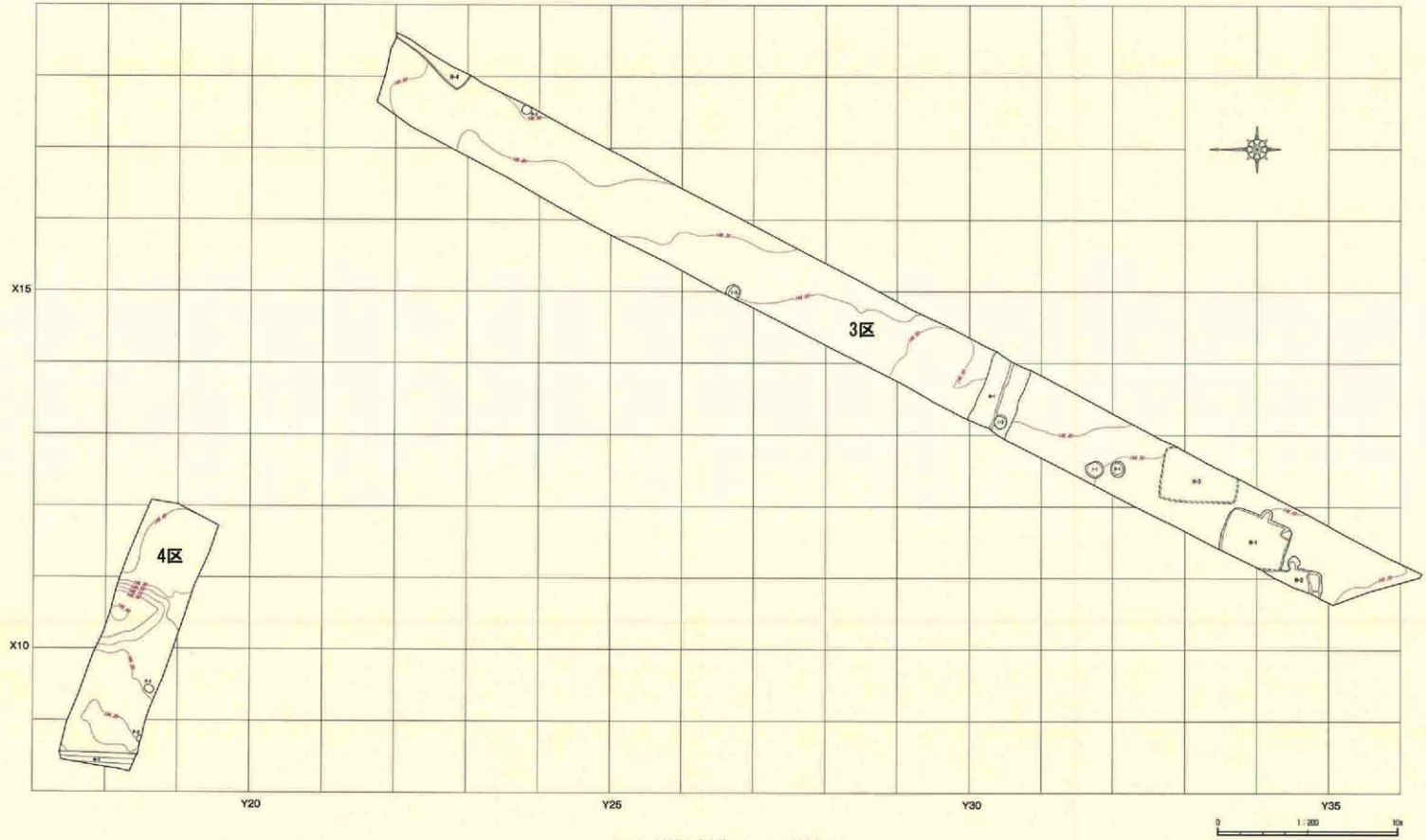



Fig.10　上細井北遺跡群No.1　3・4区全体図

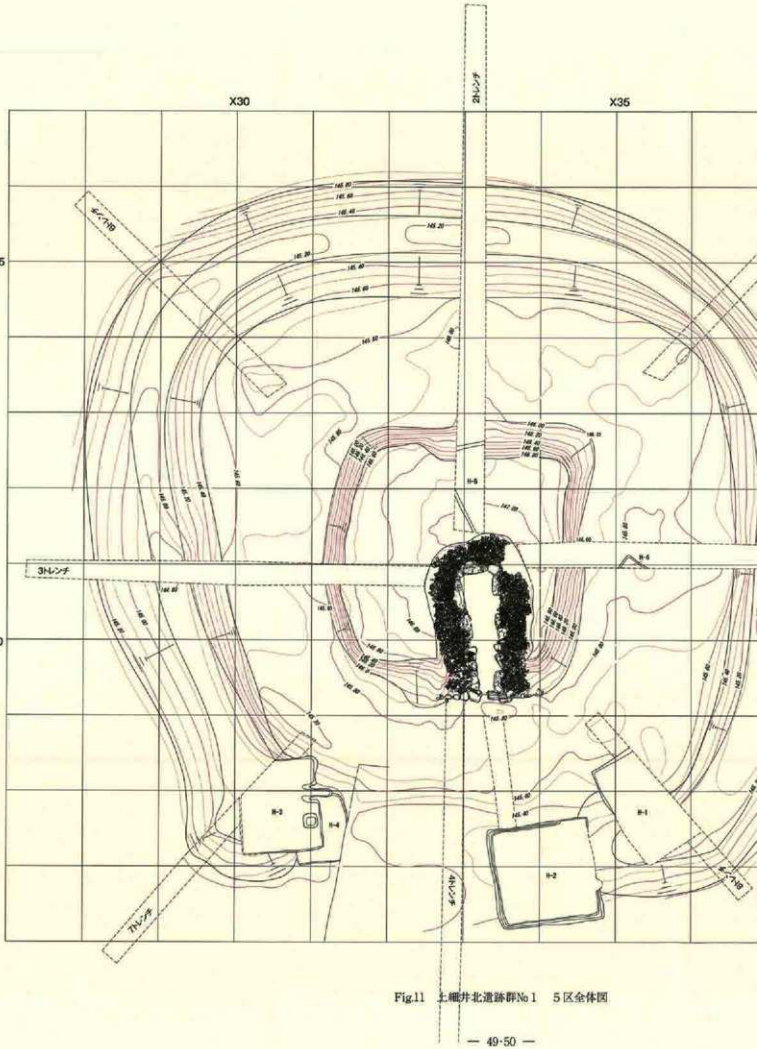



Fig.11　上細井北遺跡群№1　5区全体図

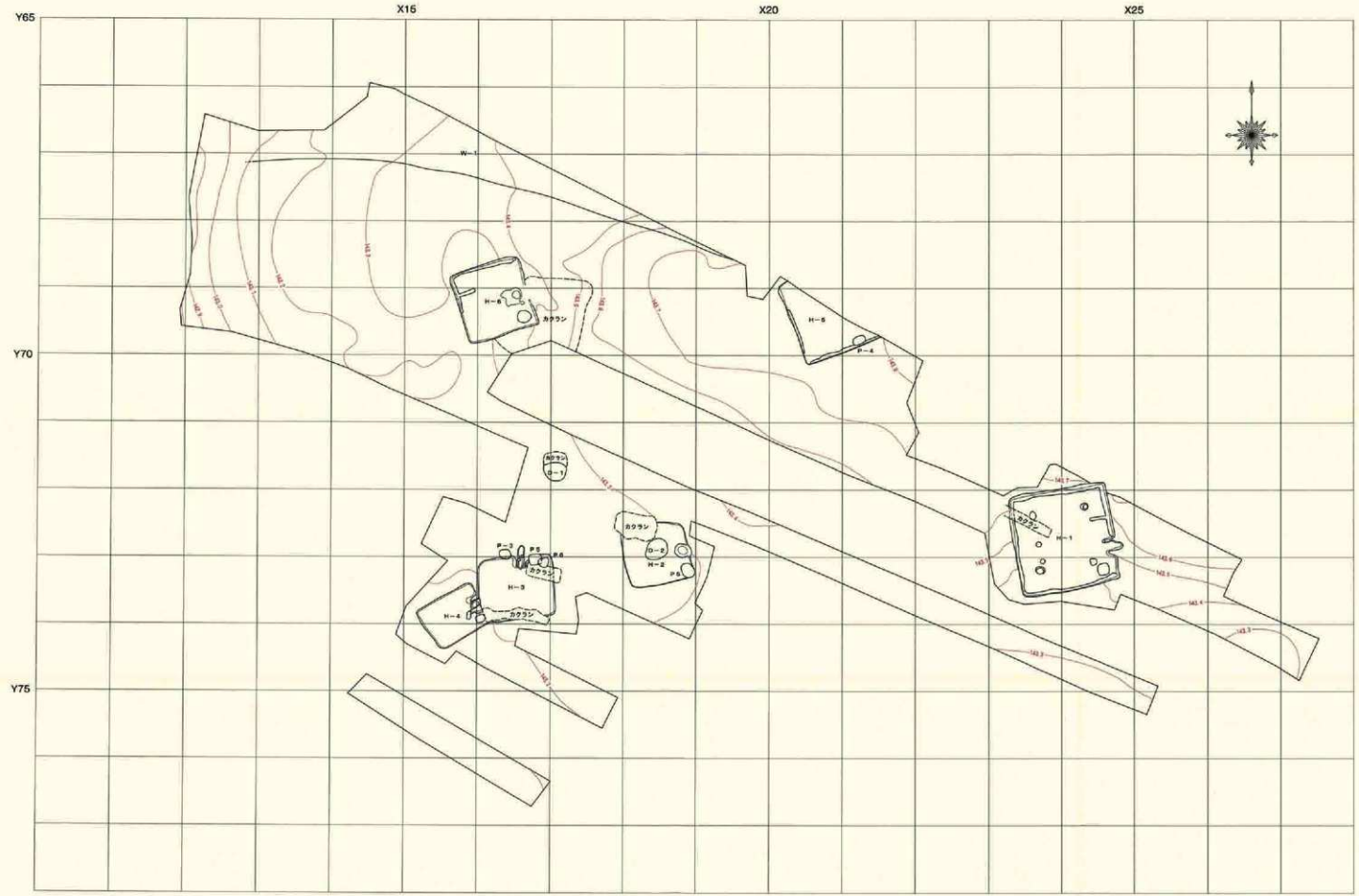



Fig.12　上細井北遺跡群№1　6区全体図

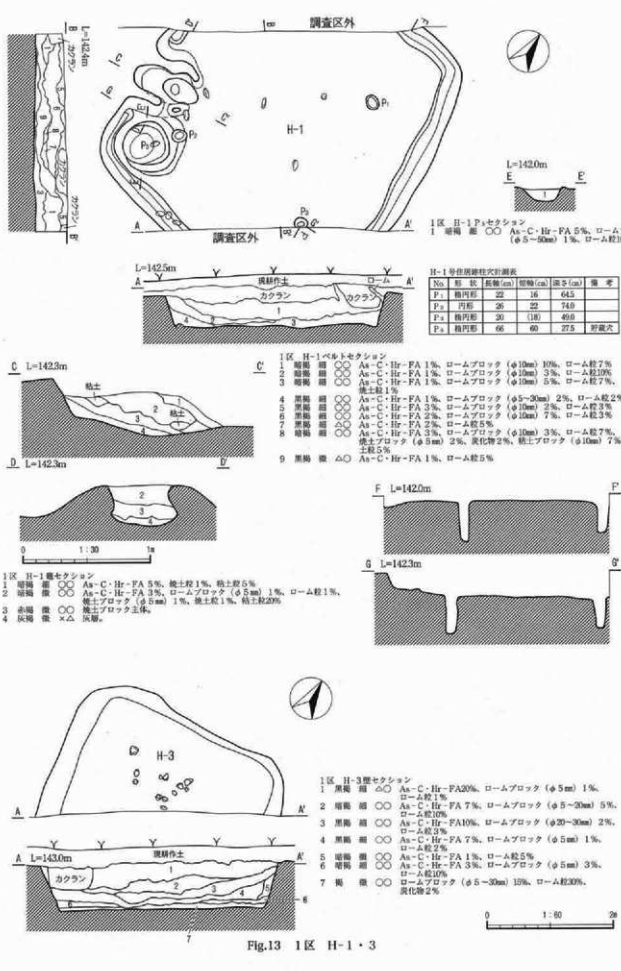

調査区外
H-1
P1
P2
P3
P4
調査区外
L=143.4m
L=142.0m
E
E'
1区 H-1 P4セクション
1 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック
(φ5~50mm) 1%、ローム粒10%
L=142.5m
A
A'
現耕作土
ローム
カクラン
カクラン
H-1号住居跡柱穴計測表
No 形 状 長軸(cm) 短軸(cm) 深さ(cm) 備 考
P1 楕円形 22 16 64.5
P2 円形 26 22 74.0
P3 楕円形 20 (18) 49.0
P4 楕円形 66 60 27.5 貯蔵穴
C L=142.3m
C'
1区 H-1ベルトセクション
1 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック (φ10mm) 10%、ローム粒7%
2 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック (φ10mm) 3%、ローム粒10%
3 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック (φ10mm) 5%、ローム粒7%、
焼土粒1%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック (φ5~30mm) 2%、ローム粒2%
5 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック (φ10mm) 2%、ローム粒3%
6 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 2%、ロームブロック (φ10mm) 7%、ローム粒3%
7 黒褐 細 △△ As-C・Hr-FA 2%、ローム粒5%
8 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック (φ10mm) 3%、ローム粒7%、
焼土ブロック (φ5mm) 2%、炭化物2%、焼土ブロック (φ10mm) 7%、焼
土粒5%
9 黒褐 層 △○ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒5%
焼土
焼土
D L=142.3m
D'
0 1:30 1m
1区 H-1層セクション
1 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 5%、焼土粒1%、焼土粒5%
2 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック (φ5mm) 1%、ローム粒1%、
焼土ブロック (φ5mm) 1%、焼土粒1%、焼土粒20%
3 赤褐 層 ○○ 焼土ブロック主体。
4 灰褐 層 ×△ 灰層。
F L=142.0m
F'
G L=142.3m
G'
H-3
A
A'
A L=143.0m
A'
現耕作土
カクラン
1区 H-3層セクション
1 黒褐 細 △○ As-C・Hr-FA20%、ロームブロック (φ5mm) 1%、
ローム粒1%
2 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック (φ5~30mm) 5%、
ローム粒10%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック (φ20~30mm) 2%、
ローム粒2%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック (φ5mm) 1%、
ローム粒2%
5 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒5%
6 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック (φ5mm) 3%、
ローム粒10%
7 褐 層 ○○ ロームブロック (φ5~30mm) 15%、ローム粒30%、
炭化物2%
0 1:60 2m

Fig.13 1区 H-1・3

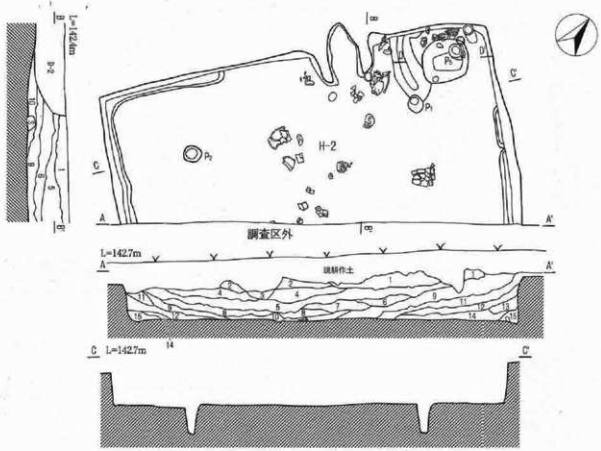
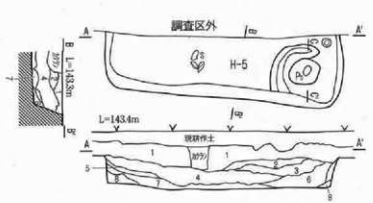

L=142.4m
H-2
調査区外
L=142.7m
現耕作土
L=142.7m
D L=142.1m D'
H-2柱穴計測表
No. 形 状 長軸(cm) 短軸(cm) 深さ(cm) 備 考
P1 円形 28 22 49.0
P2 円形 30 26 44.0
P3 楕円形 74 66 58.5 貯蔵穴
1区 H-2ベルトセクション
1 黒褐 細 △○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ5cm）5%、ローム粒3%、炭化物2%
2 黒褐 細 △○ As-C・Hr-FA 6%、ロームブロック（φ5cm）1%、ローム粒2%
3 黒褐 細 △○ ロームブロック（φ5cm）2%、ローム粒3%
4 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ5cm）5%、ローム粒7%、焼土粒1%、炭化物2%
5 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ10cm）7%、ローム粒10%、焼土粒1%
6 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ローム粒5%、炭化物1%
7 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ10cm）10%、ローム粒10%、焼土粒1%
8 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ5cm）7%、ローム粒7%、焼土粒1%
9 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ10cm）15%、ローム粒10%、焼土粒1%
10 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ10cm）7%、ローム粒5%、焼土粒1%
11 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 2%、ロームブロック（φ10cm）20%、ローム粒20%、焼土粒1%
12 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ10cm）10%、ローム粒7%
13 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA25%、ローム粒5%、焼土粒2%、炭化物1%
14 黒褐 細 ○○ ロームブロック（φ10cm）15%、ローム粒25%
15 黒褐 細 ○○ ローム粒10%、焼土粒2%、炭化物2%
1区 H-2 Piセクション
1 暗褐 細 △○ ロームブロック（φ10cm）10%、ローム粒20%、焼土粒3%、炭化物2%
2 暗褐 細 △○ ロームブロック（φ5～10cm）20%、ローム粒25%
3 暗褐 細 △○ ロームブロック（φ5～10cm）7%、ローム粒15%、焼土粒1%、炭化物1%
4 にぶい黄褐 細 △○ ロームブロック（φ5～10cm）5%、ローム粒30%
L=142.8m
B B'
調査区外
A A'
H-4
L=143.2m
現耕作土
カクラン
1区 H-4 Piセクション
1 黒褐 細 ○○ As-C 3%、ロームブロック（φ10cm）1%、ローム粒5%
2 にぶい黄褐 細 ×○ ロームブロック（φ5～20cm）5%、ローム粒20%
H-4柱穴計測表
No. 形 状 長軸(cm) 短軸(cm) 深さ(cm) 備 考
P1 楕円形 60 50 46.0 貯蔵穴
1区 H-4ベルトセクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ10cm）3%、ローム粒5%、炭化物1%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA7%、ロームブロック（φ10cm）5%、ローム粒7%、焼土粒1%、炭2%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5～10cm）7%、ローム粒10%、炭3%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5cm）3%、ローム粒7%、焼土ブロック（φ10cm）2%、炭5%
5 黒褐 微 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5～10cm）3%、焼土粒2%、焼土ブロック（φ10cm）2%、焼土粒10%、炭7%
6 褐 微 ○○ 焼土ブロック、焼土ブロック主体。篠褐部。
0 1:80 2m

Fig.14 1区 H-2・4

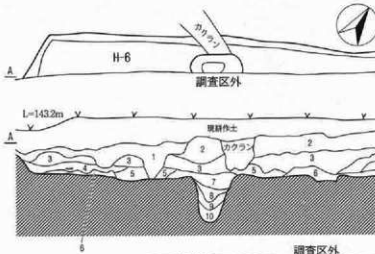



1区 H-5P₁セクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック (φ5～10cm) 5%、ローム粒5%
2 黒褐 層 △△ ロームブロック (φ5～20cm) 10%、ローム粒10%
3 褐 層 ××△ ロームブロック、ローム粒主体。

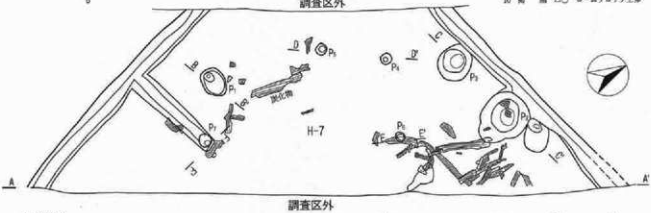
H-5号住居跡柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P₁ | 楕円形 | 32 | 42 | 65.0 | 貯蔵穴 |

1区 H-5ベルトセクション
1 黒褐 層 ○○ As-C10%、ローム粒2%
2 暗褐 層 ○○ As-C 2%、ロームブロック (φ5～30cm) 10%、
3 黒褐 層 ○○ As-C 7%、ロームブロック (φ10cm) 2%、
4 黒褐 層 ○○ As-C 5%、ロームブロック (φ5～30cm) 15%、ローム粒20%、粘土ブロック (φ10～50cm) 3%
5 黒褐 層 ○○ As-C 2%、ロームブロック (φ10cm) 1%、
6 褐 層 ○○ As-C 1%、ロームブロック (φ5～20cm) 15%、ローム粒20%
7 黒褐 層 ○○ As-C 1%、ロームブロック (φ5cm) 1%、
8 黒褐 層 ○○ As-C 1%、ローム粒2%




1区 H-6壁セクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 7%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA15%
3 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA20%
4 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA10%
5 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック (φ5cm) 2%、ローム粒5%、焼土粒10%
6 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック (φ10cm) 15%、ローム粒25%
7 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック (φ10cm) 15%、ローム粒25%
8 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック (φ5cm) 3%
9 暗褐 層 △○ ロームブロック (φ10cm) 10%、ローム粒15%
10 褐 層 △○ ロームブロック主体




1区 H-7壁セクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ローム粒2%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ローム粒2%、炭化物1%
3 暗褐 層 ○○ As-C 2%、Hr-FA20%
4 褐 層 △△ Hr-FA 純層
5 黒 層 ○○ As-C15%、ロームブロック (φ10cm) 2%、ローム粒5%
6 黒褐 層 ○○ As-C 7%、ロームブロック (φ10cm) 5%、ローム粒3%
7 黒褐 層 ○○ As-C10%、ロームブロック (φ10cm) 3%、ローム粒2%
8 黒褐 層 ○○ As-C 5%、ロームブロック (φ10cm) 15%、ローム粒7%、炭化物2%
9 黒褐 層 ○○ As-C 2%、ロームブロック (φ5cm) 3%、ローム粒2%
10 黒褐 層 ○○ As-C 1%、ロームブロック (φ10cm) 20%、ローム粒10%

H-7号穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P₁ | 楕円形 | 68 | 34 | 61.5 | |
| P₂ | 楕円形 | 88 | 70 | 54.5 | |
| P₃ | 楕円形 | 60 | 52 | 47.0 | |
| P₄ | 円形 | 18 | 16 | 38.0 | |
| P₅ | 円形 | 18 | 18 | 60.0 | |
| P₆ | 円形 | 14 | 14 | 50.5 | |
| P₇ | 円形 | 20 | 20 | 32.0 | |

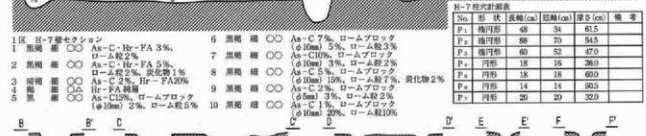



Fig.15 1区 H-5～7

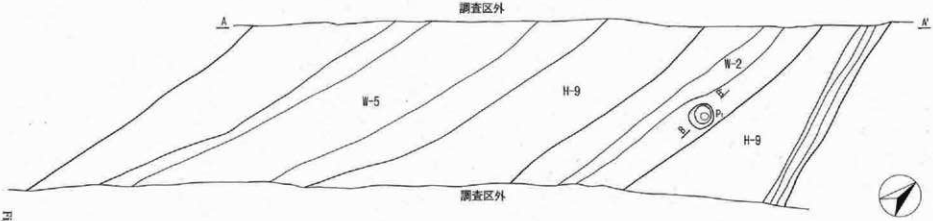



Fig.16 1区 H-9 W-2・5

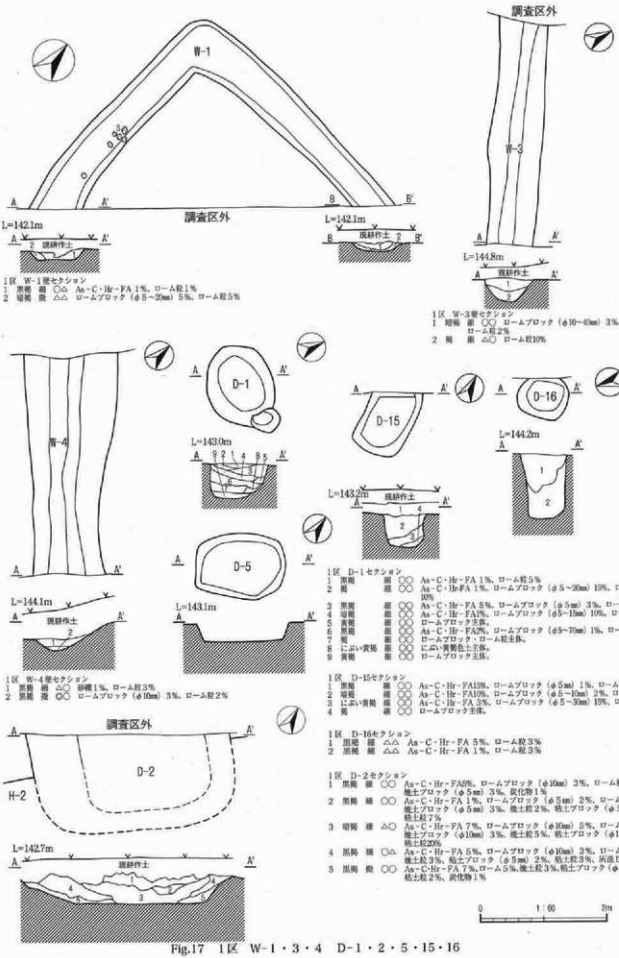
1区 H-9、W-2・5層セクション

1 黒褐 粘 ○△ As-B混土層。(W-2)
2 黒褐 細 △△ As-B 5%、As-C・Hr-FA 2%、ロームブロック（φ10mm）2%、ローム粒10%（W-2）
3 黒褐 細 ○○ As-B 2%、As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5mm）5%、ローム粒10%（W-2）
4 暗褐 細 ○○ ロームブロック（φ10mm）2%、ローム粒3%（W-2）
5 黒褐 粘 ○× As-B純層。(W-5)
6 黒褐 細 ○○ As-B5%、As-C・Hr-FA20%（W-5）
7 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ10mm）3%、ローム粒5%、鉄分凝集層（W-5）
8 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ5～20mm）7%、ローム粒15%（W-5）
9 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5mm）2%、ローム粒5%、鉄分凝集層（W-5）
10 黒褐 粘 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ローム粒1%、鉄分凝集層（W-5）
11 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5～20mm）3%、ローム粒3%、鉄分凝集層（W-5）
12 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ5～20mm）7%、ローム粒5%（W-5）
13 黒褐 粘 ○○ As-C・Hr-FA 1%、、ローム粒1%（W-5）
14 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、、ロームブロック（φ5mm）5%、ローム粒5%、鉄分凝集層（W-5）
15 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5mm）3%、ローム粒5%（H-9）
16 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒10%（H-9）
17 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5～20mm）10%、ローム粒7%（H-9）

H-9柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 60 | 40 | 26.0 | |

0 1:60 2m




1区 W-1壁セクション
1 黒褐 細 ○△ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒1%
2 暗褐 微 △△ ローム粒(φ5~20mm) 5%、ローム粒5%

1区 W-3壁セクション
1 暗褐 細 ○○ ローム粒(φ10~40mm) 3%、ローム粒2%
2 褐 細 △○ ローム粒10%

1区 W-4壁セクション
1 黒褐 細 △○ 砂礫1%、ローム粒3%
2 黒褐 微 ○○ ローム粒(φ10mm) 3%、ローム粒2%

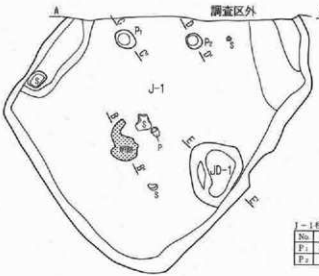
1区 D-1セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒5%
2 褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒(φ5~30mm) 10%、ローム粒10%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ローム粒(φ5mm) 3%、ローム粒3%
4 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA5%、ローム粒(φ5~15mm) 10%、ローム粒7%
5 黄褐 細 ○○ ローム粒を主体。
6 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA2%、ローム粒(φ5~7mm) 1%、ローム粒1%
7 褐 細 ○○ ローム粒(φ10mm) 3%、ローム粒2%
8 にぶい黄褐 細 ○○ ローム粒を主体。
9 黄褐 細 ○○ ローム粒を主体。

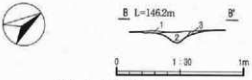
1区 D-15セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ローム粒(φ5mm) 1%、ローム粒1%
2 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ローム粒(φ5~10mm) 2%、ローム粒2%
3 にぶい黄褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ローム粒(φ5~30mm) 10%、ローム粒5%
4 黄 細 ○○ ローム粒を主体。

1区 D-16セクション
1 黒褐 細 △△ As-C・Hr-FA 5%、ローム粒3%
2 黒褐 細 △△ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒3%

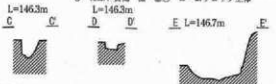
1区 D-2セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA5%、ローム粒(φ10mm) 3%、ローム粒7%、地土ブロック(φ5mm) 3%、炭化物1%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒(φ5mm) 2%、ローム粒2%、地土ブロック(φ5mm) 3%、地土粒2%、粘土ブロック(φ5mm) 3%、粘土粒7%
3 暗褐 褐 △○ As-C・Hr-FA 7%、ローム粒(φ10mm) 5%、ローム粒7%、地土ブロック(φ10mm) 3%、地土粒5%、粘土ブロック(φ10mm) 10%、粘土粒20%
4 黒褐 褐 ○△ As-C・Hr-FA 5%、ローム粒(φ10mm) 3%、ローム粒5%、地土粒3%、粘土ブロック(φ5mm) 2%、粘土粒3%、炭混じる。
5 黒褐 褐 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ローム5%、地土粒3%、粘土ブロック(φ5mm) 1%、粘土粒2%、炭化物1%

Fig.17 1区 W-1・3・4 D-1・2・5・15・16



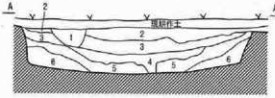




2区 J－1炉跡セクション
1 にぶい赤褐 焼 ○○ 焼土ブロック主体
2 暗褐 焼 ○○ ローム粒10%、焼土粒3%
3 にぶい黄褐 焼 ○○ ロームブロック主体

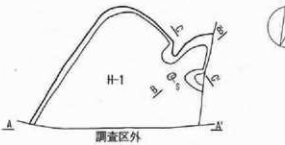


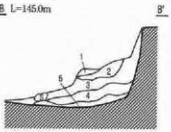

J－1柱穴計測表

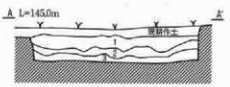
| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 38 | 28 | 27.0 | |
| P2 | 円形 | 28 | 24 | 10.5 | |

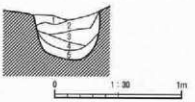



2区 J－1層セクション
1 黒褐 耕 ○○ As-C20%、ローム粒5%
2 黒褐 微 ○○ As-C 5%、Hr-FA 2%
3 黒褐 微 ○○ Hr-FA 5%
4 黒褐 微 ○○ 橙色軽石10%、白色軽石5%
5 灰黄褐 微 ○○ 橙色軽石5%、ロームブロック（φ5mm）5%
6 褐 微 ○○ 橙色軽石5%、ロームブロック（φ5mm）2%



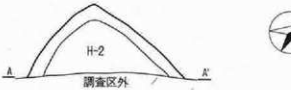



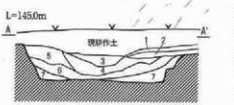




2区 H－1層セクション
1 暗褐 耕 ○○ As-C20%、ローム粒10%
2 暗褐 耕 ○○ As-C 5%、ロームブロック（φ5mm）10%
3 暗褐 耕 ○○ As-C 2%、ロームブロック（φ10～20mm）5%

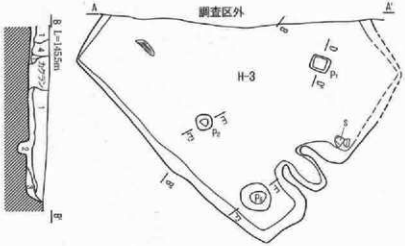
2区 H－1層セクション
1 褐 耕 ○○ 焼土粒2%
2 暗褐 微 ○○ 焼土ブロック（φ5mm）5%、焼土粒5%
3 暗褐 微 ○○ 焼土ブロック（φ5mm）50% 焼土ブロック10%
4 赤褐 微 ○○ 焼土ブロック50%
5 灰褐 微 ○○ 灰層、粘土ブロック10%、炭化物2%

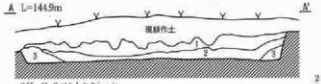


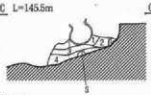

2区 H－2層セクション
1 灰黄褐 耕 ○○ ロームブロック10%、粘土ブロック20%
2 暗褐 耕 ○○ ロームブロック10%、As-C 5%、Hr-FA10%
3 黒褐 耕 ○○ As-C・Hr-FA 5%
4 暗褐 耕 ○○ As-C10%、ロームブロック（φ5mm）5%
5 暗褐 耕 ○○ As-C20%、ローム粒5%
6 黒褐 耕 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ10mm）2%
7 にぶい黄褐 耕 ○○ ロームブロック20%

Fig.18 2区 J－1、H－1・2

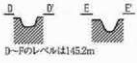



2区 H-3ベルトセクション
1 黒褐 層 ○○ As－C 5%，ローム粒2%，炭化物5%
2 黒褐 層 ○○ As－C 2%，ロームブロック（φ5～10mm）5%
3 暗褐 層 ○○ ロームブロック（φ5～10mm）50%
4 黒褐 層 ○○ ローム粒5%

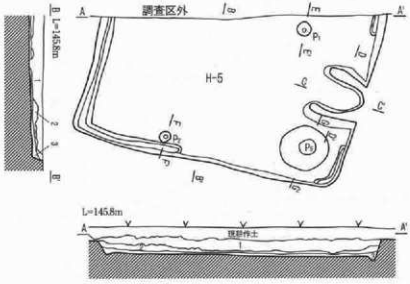


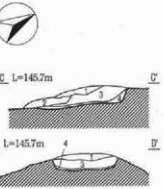

2区 H-3層セクション
1 黒褐 層 ○○ 焼土粒5%，粘土ブロック（φ10mm）10%
2 にぶい褐 層 ○○ 粘土ブロック主体
3 にぶい赤褐 層 ○○ 焼土粒10%，粘土ブロック（φ10mm）5%
4 褐 層 ○○ 焼土ブロック20%




H-3柱穴計測表

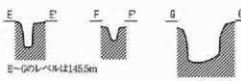
| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 30 | 22 | 16.5 | |
| P2 | 円形 | 26 | 26 | 18.5 | |
| P3 | 楕円形 | 50 | 44 | 48.5 | 貯蔵穴 |




2区 H-5層セクション
1 暗褐 層 ○○ ロームブロック10%
2 褐 層 ○○ 焼土ブロック35%，粘土ブロック20%
3 にぶい赤褐 層 ○○ 焼土ブロック5%，焼土粒10%，粘土ブロック15%
4 灰褐 層 ○○ 炭層

2区 H-5ベルトセクション
1 黒褐 層 △○ As－C・Hr－FA5%，ロームブロック（φ5～10mm）2%，ローム粒3%
2 灰黄褐 層 ○△ Hr－FA 純層，7分層
3 灰黄褐 層 ○× Hr－FA 純層，朝石層

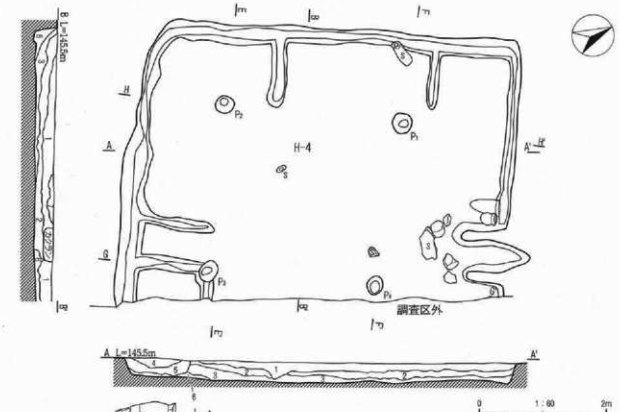



H-5柱穴計測表

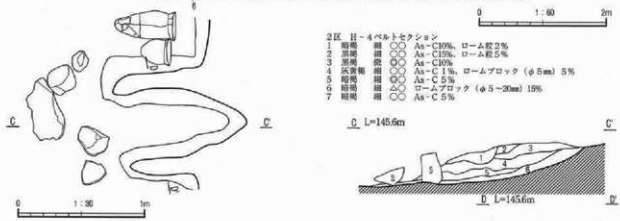
| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 22 | 22 | 29.0 | |
| P2 | 円形 | 18 | 18 | 23.0 | |
| P3 | 楕円形 | 76 | 70 | 63.0 | 貯蔵穴 |

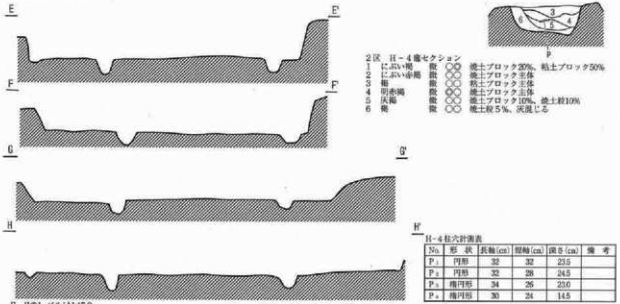
0 1:60 2m　　0 1:30 1m

Fig.19 2区 H-3・5




2区 H－4ベルトセクション
1 暗褐 細 ○○ As－C10%、ローム粒2%
2 黒褐 細 ○○ As－C15%、ローム粒5%
3 黒褐 微 ○○ As－C20%
4 灰黄褐 細 ○○ As－C 1%、ロームブロック（φ5mm）5%
5 暗褐 細 ◎○ As－C 5%
6 暗褐 細 △△ ロームブロック（φ5～20mm）15%
7 暗褐 細 ○○ As－C 5%



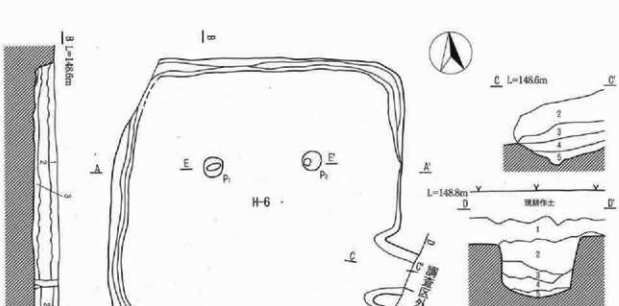




2区 H－4畳セクション
1 にぶい褐 微 ○○ 焼土ブロック20%、粘土ブロック50%
2 にぶい赤褐 微 ○○ 焼土ブロック主体
3 褐 微 ○○ 粘土ブロック主体
4 明赤褐 微 ○○ 焼土ブロック主体
5 灰褐 微 ○○ 焼土ブロック10%、焼土粒10%
6 褐 微 ○○ 焼土粒5%、灰混じる

H－4柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 32 | 32 | 23.5 | |
| P2 | 円形 | 32 | 28 | 24.5 | |
| P3 | 楕円形 | 34 | 26 | 23.0 | |
| P4 | 楕円形 | 30 | 24 | 14.5 | |

Fig.20 2区 H－4



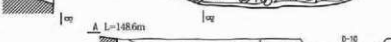

2区 H-6遺構セクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA10%、焼土粒3%
2 暗褐 層 △○ 焼土ブロック（φ5m）3%、
焼土ブロック（φ5m）3%
3 暗褐 層 △○ 焼土ブロック（φ5m）5%、焼土粒10%、
焼土ブロック（φ10m）20%、焼土粒25%
4 褐 層 △○ 焼土ブロック（φ10m）3%、焼土粒10%、
焼土ブロック（φ10m）5%、焼土粒15%
5 黒褐 層 △○ 炭層

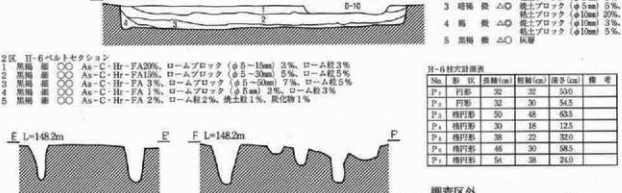



2区 H-6ベルトセクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA20%、ロームブロック（φ5～15m）3%、ローム粒3%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5～30m）5%、ローム粒5%
3 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ5～50m）7%、ローム粒5%
4 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ5m）2%、ローム粒3%
5 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 2%、ローム粒2%、焼土粒1%、炭化物1%

H-6柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 32 | 32 | 53.0 | |
| P2 | 円形 | 32 | 30 | 54.5 | |
| P3 | 楕円形 | 50 | 48 | 63.5 | |
| P4 | 楕円形 | 30 | 18 | 12.5 | |
| P5 | 楕円形 | 38 | 22 | 32.0 | |
| P6 | 楕円形 | 46 | 30 | 58.5 | |
| P7 | 楕円形 | 54 | 38 | 24.0 | |




2区 H-8ベルトセクション
1 黒褐 層 ○○ ローム粒10%
2 黒褐 層 ○○ Hr-FA10%、ロームブロック（φ5m）2%
3 にぶい黄褐 層 ○○ Hr-FA 純層、上層7%×層、下層軽石層
4 黒褐 層 ○○ As-C 2%、ロームブロック（φ5～10m）5%
5 暗褐 層 ○○ ロームブロック（φ5～20m）50%
6 暗褐 層 ○○ ロームブロック（φ5～10m）10%
7 暗褐 層 △○ ロームブロック（φ5～20m）20%

2区 H-10ベルトセクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ5m）2%、ローム粒3%
2 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ10m）5%、ローム粒7%
3 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ10m）3%、ローム粒5%
4 暗褐 層 ○○ 焼土ブロック（φ5m）5%、焼土粒20%、灰10%
5 暗 層 △○ 焼土ブロック（φ5m）5%、焼土粒20%、灰15%
6 暗褐 層 △○ 焼土ブロック（φ5m）10%、焼土粒10%、灰20%
7 褐暗褐 層 △△ 灰層。

H-8柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 50 | (27) | 55.0 | |

H-10柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 32 | 32 | 52.0 | |

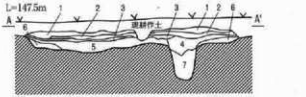
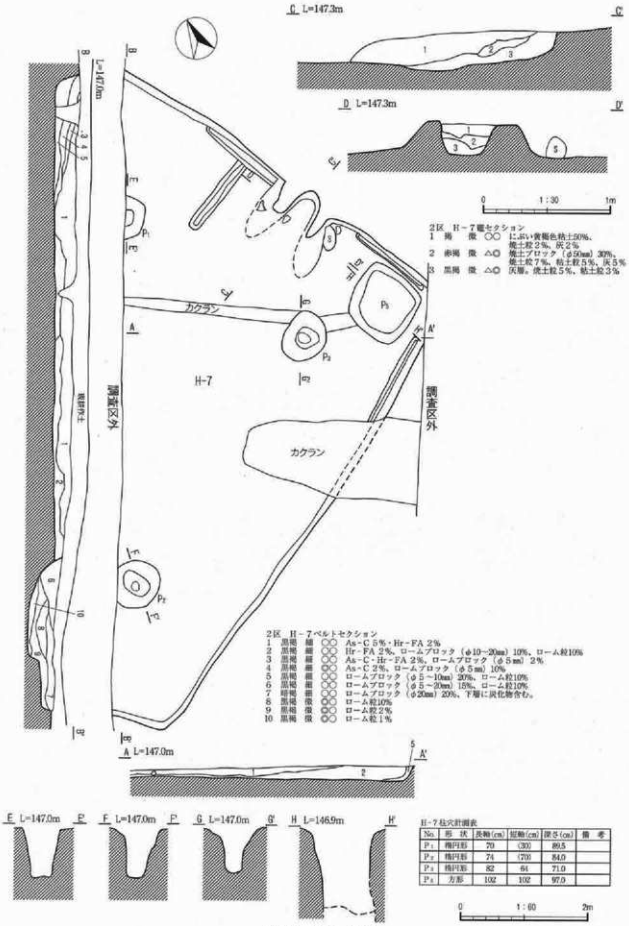


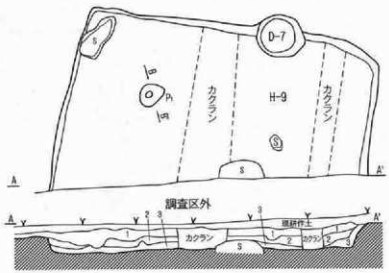

Fig.21 2区 H-6・8・10




H-7柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| $P_1$ | 楕円形 | 70 | (30) | 89.5 | |
| $P_2$ | 楕円形 | 74 | (70) | 84.0 | |
| $P_3$ | 楕円形 | 82 | 64 | 71.0 | |
| $P_4$ | 方形 | 102 | 102 | 97.0 | |

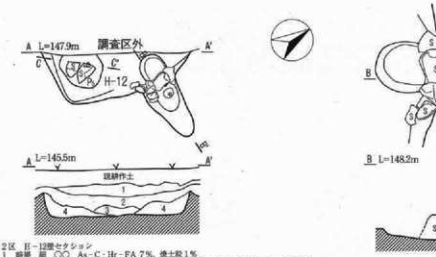
Fig.22 2区 H-7




2区 H-9ベルトセクション
1 暗褐 細 ○○ As-C 1%、ローム粒2%
2 黒褐 細 ○○ As-C 2%、ロームブロック（φ5～10mm）1%
3 黒褐 細 ○○ As-C 5%、ロームブロック（φ5mm）2%

H-9柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 42 | 32 | 33.5 | |



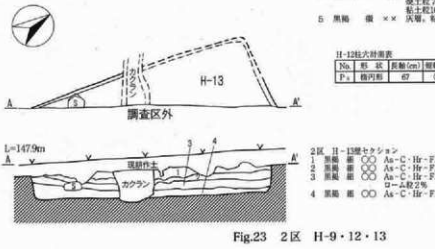

2区 H-12層セクション
1 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、焼土粒1%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、焼土ブロック（φ5mm）3%、ローム粒1%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 2%、焼土ブロック（φ5mm）5%、焼土粒7%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 2%、ロームブロック（φ10mm）3%、焼土ブロック（φ10mm）3%、粘土ブロック（φ10mm）3%、粘土粒5%

2区 H-12層セクション
1 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ10mm）2%、ローム粒5%、焼土粒2%
2 黒褐 細 ○○ 焼土粒1%、炭化物1%
3 暗褐 細 ○○ ローム粒5%、焼土粒3%、粘土ブロック（φ10mm）1%、粘土粒3%
4 暗赤褐 極 ○○ 焼土ブロック（φ5～10mm）10%、焼土粒7%、粘土ブロック20%、粘土粒10%
5 黒褐 極 ×× 炭層、粘土粒3%、焼土粒1%

C L=148.4m C'

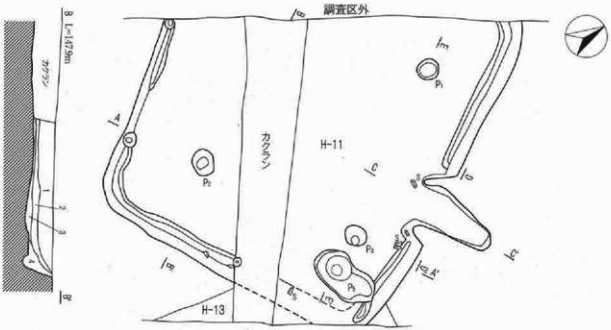
H-12柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 67 | (54) | 23.5 | 貯蔵穴 |




2区 H-13層セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ローム粒1%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ローム粒5%、ロームブロック（φ10mm）2%、ローム粒2%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、焼土ブロック（φ5～10mm）5%、ローム5%

Fig.23 2区 H-9・12・13




2区 H-11ベルトセクション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 層 | As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ10mm）3%、ローム粒5% |
| 2 | 黒褐 | 層 | As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5mm）2%、ローム粒3% |
| 3 | 黒褐 | 層 | As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ10mm）5%、ローム粒10% |
| 4 | 黒褐 | 層 | As-C・Hr-FA 3%、ローム粒2% |

2区 H-11竈セクション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 黒褐 | 層 | ロームブロック（φ5mm）3%、ローム粒2%、焼土ブロック（φ5mm）3%、焼土粒2%、粘土ブロック（φ5mm）2%、粘土粒10% |
| 2 | 暗褐 | 層 | ロームブロック（φ10mm）3%、焼土ブロック（φ5mm）3%、焼土粒3%、粘土ブロック（φ10mm）7%、焼土粒15%、炭化物1% |
| 3 | 褐 | 層 | 粘土主体、焼土粒5%、焼土粒2%、炭化物1% |
| 4 | にぶい黄褐 | 層 | 粘土主体、焼土ブロック（φ5mm）5% |
| 5 | 暗褐 | 層 | 焼土粒10%、粘土粒5% |
| 6 | にぶい赤褐 | 層 | 焼土ブロック、焼土粒主体。 |
| 7 | 灰黄褐 | 層 | 床層。 |

H-11柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 34 | 32 | 82.5 | |
| P2 | 楕円形 | 42 | 34 | 88.5 | |
| P3 | 楕円形 | 40 | 32 | 62.5 | |
| P5 | 楕円形 | 110 | 50 | 70.5 | 貯蔵穴 |

0 1:60 2m

Fig.24 2区 H-11

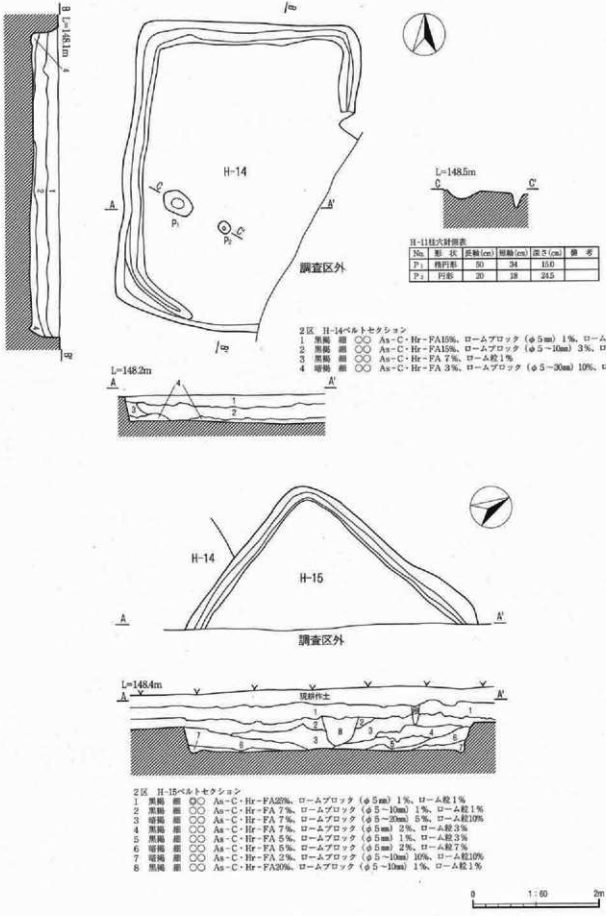
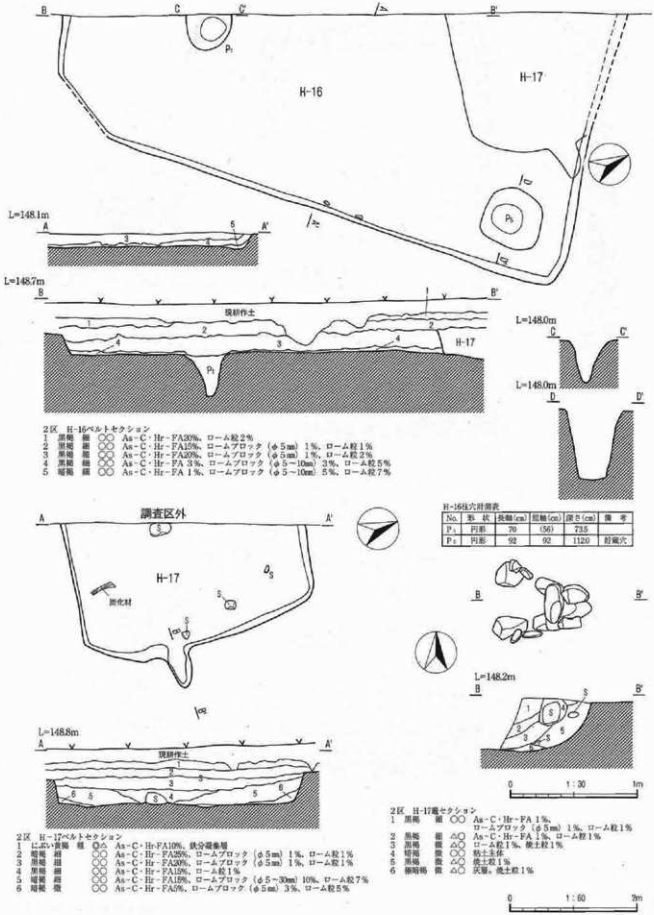



Fig.25 2区 H-14・15




2区 H-16ベルトセクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA30%、ローム粒2%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA20%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒2%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ5～10mm）3%、ローム粒5%
5 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ5～10mm）5%、ローム粒7%

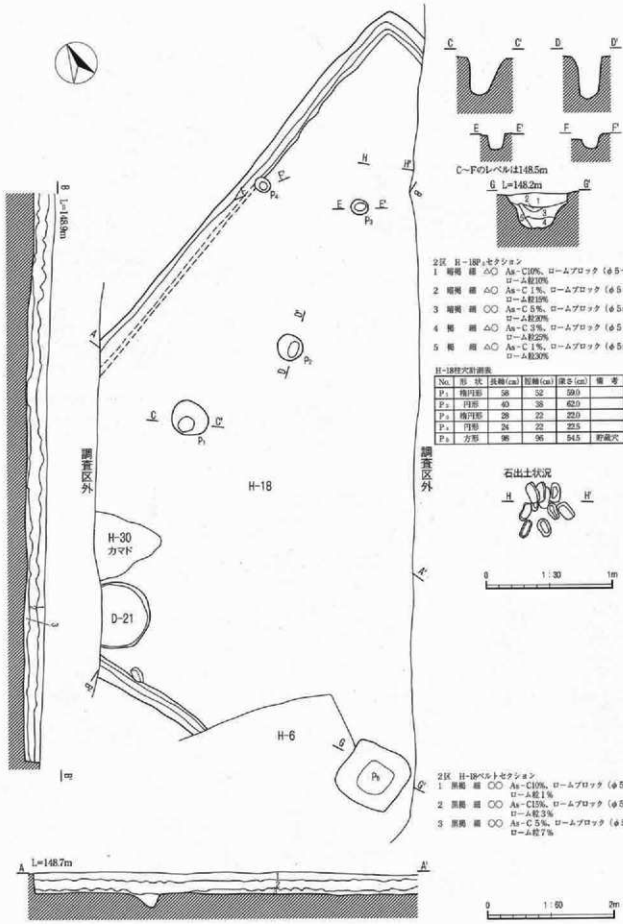
H-16住穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 70 | (56) | 73.5 | |
| P2 | 円形 | 92 | 92 | 112.0 | 貯蔵穴 |

2区 H-17ベルトセクション
1 にぶい黄褐 極 ○△ As-C・Hr-FA10%、鉄分凝集層
2 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA25%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA20%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ローム粒1%
5 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5～30mm）10%、ローム粒7%
6 暗褐 微 ○○ As-C・Hr-FA5%、ロームブロック（φ5mm）3%、ローム粒5%

2区 H-17竈セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
2 黒褐 細 △○ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒1%
3 黒褐 微 △○ ローム粒1%、焼土粒1%
4 暗褐 微 ○○ 焼土主体
5 黒褐 微 △○ 焼土粒1%
6 褐暗褐 微 △○ 灰層、焼土粒1%

Fig.26 2区 H-16・17



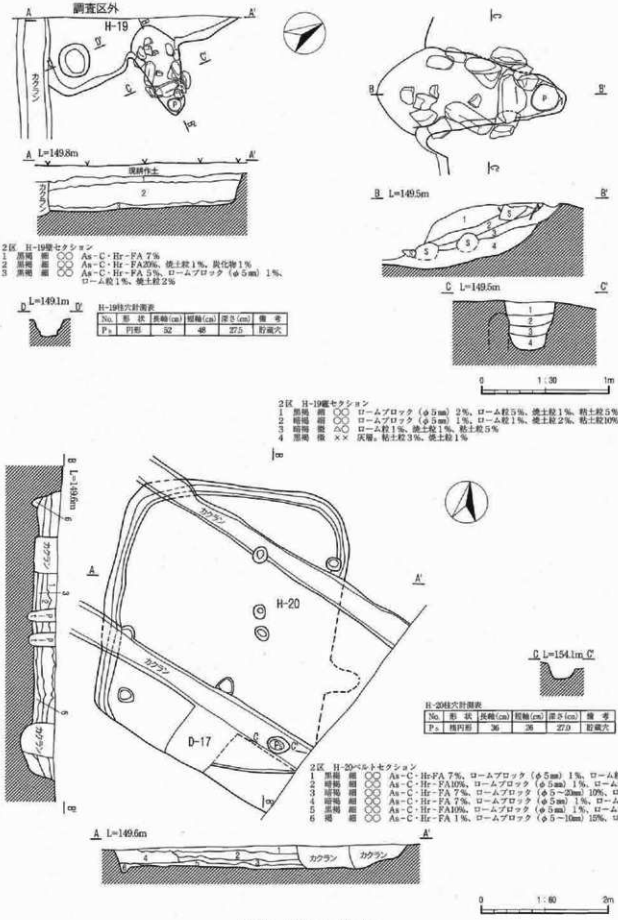

2区 H-18ピットセクション
1 暗褐 細 △○ As-C10%、ロームブロック（φ5～30mm）7%、ローム粒10%
2 暗褐 細 △○ As-C 1%、ロームブロック（φ5～10mm）5%、ローム粒10%
3 暗褐 細 ○○ As-C 5%、ロームブロック（φ5mm）10%、ローム粒30%
4 褐 細 △○ As-C 3%、ロームブロック（φ5～10mm）20%、ローム粒25%
5 褐 細 △○ As-C 1%、ロームブロック（φ5mm）10%、ローム粒30%

H-18ピット計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 58 | 52 | 59.0 | |
| P2 | 円形 | 40 | 38 | 62.0 | |
| P3 | 楕円形 | 28 | 22 | 22.0 | |
| P4 | 円形 | 24 | 22 | 22.5 | |
| P5 | 方形 | 98 | 96 | 54.5 | 貯蔵穴 |

2区 H-18ベルトセクション
1 黒褐 細 ○○ As-C10%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
2 黒褐 細 ○○ As-C15%、ロームブロック（φ5mm）3%、ローム粒3%
3 黒褐 細 ○○ As-C 5%、ロームブロック（φ5～10mm）5%、ローム粒7%

Fig.27 2区 H-18




2区 H-19壁セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA20%、焼土粒1%、炭化物1%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%、焼土粒2%

H-19柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 52 | 48 | 27.5 | 貯蔵穴 |

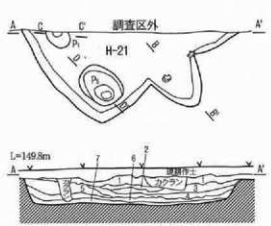
2区 H-19東セクション
1 黒褐 細 ○○ ロームブロック（φ5mm）2%、ローム粒5%、焼土粒1%、粘土粒5%
2 暗褐 細 ○○ ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%、焼土粒2%、粘土粒10%
3 暗褐 微 △○ ローム粒1%、焼土粒1%、粘土粒5%
4 黒褐 像 ×× 炭層。粘土粒3%、焼土粒1%

H-20柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 36 | 30 | 27.0 | 貯蔵穴 |

2区 H-20ベルトセクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
2 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒5%
3 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ5～20mm）10%、ローム粒10%
4 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒2%
5 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒2%
6 褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ5～10mm）15%、ローム粒15%

Fig.28 2区 H-19・20

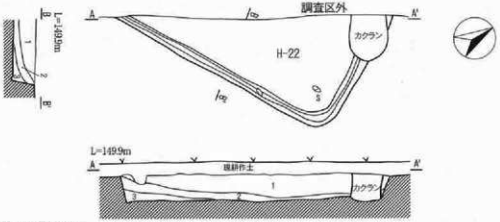



2区 H-21遺セクション
1 暗褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 5%、ロームブロック（φ5~10mm）10%、ローム粒10%、焼土ブロック（φ5mm）2%、焼土粒1%、炭化物1%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 5%、ロームブロック（φ5~30mm）1%、ローム粒1%
3 暗褐 層 ○○ ロームブロック（φ10mm）2%、ローム粒5%、焼土ブロック（φ5mm）1%、焼土粒10%
4 明赤褐 層 ○○ 焼土ブロック（φ5~30mm）15%
5 暗赤褐 層 ○○ 焼土ブロック（φ5mm）10%、焼土粒20%、灰混じる

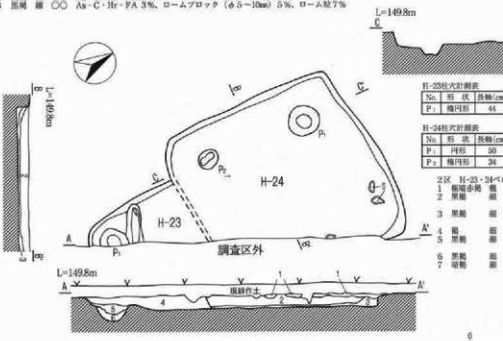
2区 H-21壁セクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA10%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 3%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
3 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 3%、ロームブロック（φ5mm）2%、ローム粒3%
4 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 2%、ロームブロック（φ5~20mm）10%、ローム粒5%
5 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA10%、ロームブロック（φ5~10mm）2%、ローム粒3%
6 暗褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 5%、ロームブロック（φ5~20mm）3%、ローム粒3%
7 暗褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 1%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%

H-21柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 34 | (24) | 21.5 | |
| P2 | 楕円形 | 70 | 32 | 69.5 | |




2区 H-22壁セクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA25%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA10%、ロームブロック（φ5~10mm）3%、ローム粒5%
3 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 3%、ロームブロック（φ5~10mm）5%、ローム粒7%




H-23柱穴計測表

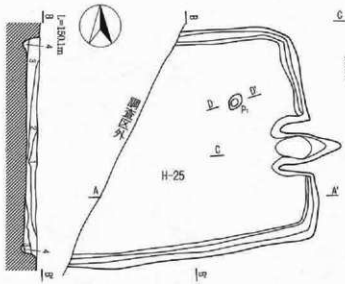
| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 50 | 46 | 14.0 | |
| P2 | 楕円形 | 34 | 28 | 17.0 | |

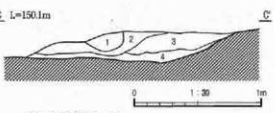
H-24柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 50 | 46 | 14.0 | |
| P2 | 楕円形 | 34 | 28 | 17.0 | |

2区 H-23・24ベルトセクション
1 褐暗赤褐 層 ○○ 鉄分凝集層
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA10%、ロームブロック（φ5mm）1%、ローム粒1%
3 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA 2%、ロームブロック（φ5~10mm）3%、ローム粒2%
4 褐 層 ○○ ロームブロック、ローム粒正体
5 黒褐 層 ○○ As-C・Hr・FA10%、ロームブロック（φ5mm）3%、ローム粒3%
6 黒褐 層 ○○ As-C 2%、ローム粒3%、灰10%
7 暗褐 層 ○○ As-C 1%、ロームブロック（φ5mm）10%、ローム粒10%

Fig.29 2区 H-21~24



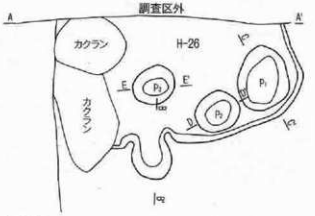



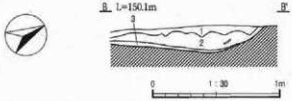

2区 H-25竈セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ローム粒2%、粘土粒2%
2 にぶい黄褐 微 ○○ 粘土主体。焼土粒3%
3 暗 褐 微 △△ 粘土ブロック（φ5～20mm）10%、焼土粒3%
4 黒褐 微 ×× 灰層。粘土粒3%、焼土粒1%

H-25柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(m) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 30 | 20 | 160 | |

2区 H-25ベルトセクション
1 暗褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック（φ5～20mm）10%、ローム粒10%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ5～10mm）1%、ローム粒3%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%、ロームブロック（φ5～20mm）10%、ローム粒10%
4 褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ10～30mm）30%、ローム粒10%

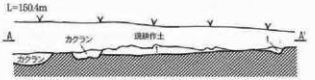


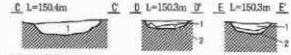




2区 H-26竈セクション
1 黒褐 微 △△ As-C・Hr-FA 1%、焼土粒5%、炭化物2%、炭混じる。
2 暗褐 微 ○○ 粘土ブロック（φ10～30mm）10%、焼土粒3%、粘土粒2%
3 黒褐 微 ×× 灰層。粘土粒3%、焼土粒1%

H-26柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 100 | 74 | 193 | |
| P2 | 楕円形 | 79 | 64 | 205 | |
| P3 | 楕円形 | 70 | 58 | 200 | |



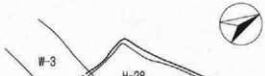



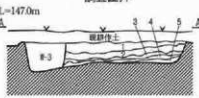

2区 H-26ベルトセクション
1 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ローム粒3%、焼土粒2%、炭化物1%

2区 H-26P1セクション
1 暗褐 細 ○△ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ10mm）10%、ローム粒10%

2区 H-26P2セクション
1 暗褐 細 △△ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ10～60mm）10%、ローム粒15%
2 焼酵褐 微 △△ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒10%、焼土粒5%、炭2%

2区 H-26P3セクション
1 暗褐 層 ○○ 焼土ブロック（φ5～20mm）20%、粘土ブロック5%
2 にぶい黄褐 微 ○○ ロームブロック（φ5mm）5%、粘土ブロック50%




2区 H-28竈セクション
1 暗褐 細 ○○ As-C 5%、ローム粒2%
2 暗褐 細 ○○ ローム粒2%
3 灰黄褐 細 △△ Hr-FA 純層。アッシュ層
4 黄褐 粗 △△ Hr-FA 純層。軽石層
5 暗褐 細 ○○ ロームブロック主体

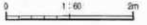
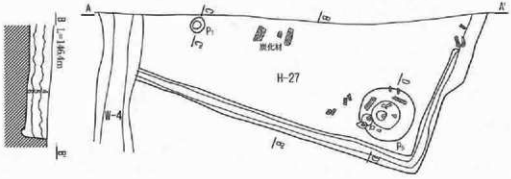
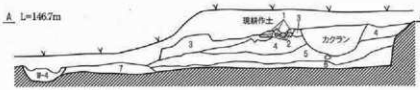



Fig.30 2区 H-25・26・28

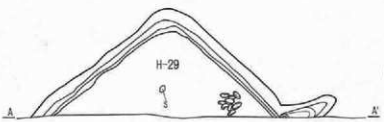


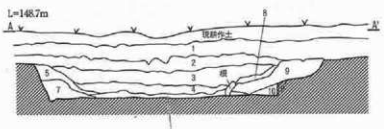




2区 H-27ベルトセクション
1 灰黄褐 細 ○○ Hr-FA 純層，アッシュ層
2 黄褐 粗 △△ Hr-FA 純層，軽石層
3 灰黄褐 細 ○○ As-C 5%，ローム粒10%
4 黒褐 細 ○○ As-C 2%，ロームブロック（φ5～10mm）10%
5 黒褐 細 ○○ As-C20%，ロームブロック（φ5～20mm）15%
6 暗褐 粗 ○○ ロームブロック（φ5mm）10%，焼土ブロック（φ5～20mm）20%，炭化物10%
7 暗褐 細 △○ ロームブロック（φ5～20mm）10%，炭化物7%

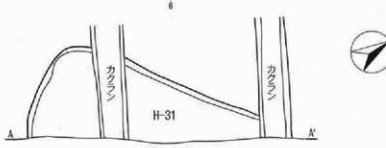
H-27住穴計測表

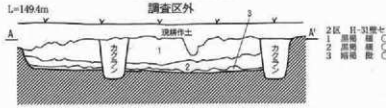
| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P-1 | 円形 | 35 | 32 | 60.0 | |
| P-1 | 円形 | 88 | 86 | 19.5 | |




2区 H-29壁セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%，ロームブロック（φ5mm）1%，ローム粒1%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA20%，ロームブロック（φ5mm）1%，ローム粒2%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA20%，ロームブロック（φ5mm）2%，ローム粒5%
4 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%，ロームブロック（φ5～25mm）2%，ローム粒3%
5 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%，ロームブロック（φ5～30mm）3%，ローム粒5%
6 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%，ローム3%
7 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%，ロームブロック（φ5～30mm）2%，ローム粒1%
8 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 7%，焼土粒3%，焼土ブロック（φ10mm）1%
9 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%，焼土ブロック（φ8mm）5%，焼土粒5%，炭土ブロック（φ10～30mm）5%，炭土粒10%，炭化物（φ3～5mm）3%
10 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 2%，焼土粒2%

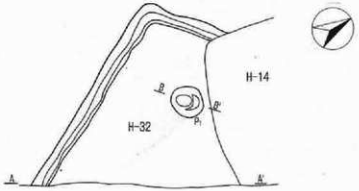



2区 H-31壁セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA20%，ロームブロック（φ5mm）3%，ローム粒5%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%，ロームブロック（φ5mm）1%，ローム粒2%
3 暗褐 粗 ○○ ロームブロック（φ5～15mm）5%，ローム粒10%

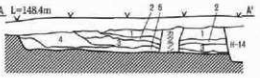



Fig.31 2区 H-27・29・31

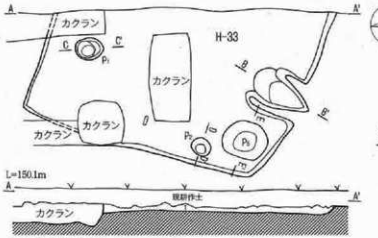



H-32竪穴建物柱穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 54 | 46 | 46.5 | |




2区　H-32竪セクション
1　黒褐　層　○○　As-C・Hr-FA 7％
2　にぶい黄褐　層　○△　Hr-FA 純層、上層アッシュ層、下層軽石層
3　黒　層　○○　As-C10%、ロームブロック（φ5mm）1％、ローム粒2％
4　黒褐　層　○○　As-C15%、ローム粒1％
5　暗褐　層　○○　As-C 1％、ロームブロック（φ5～10mm）5％、ローム粒10%




2区　H-33竪セクション
1　黒褐　層　○○　As-C・Hr-FA 5％、ロームブロック（φ5～10mm）2％、ローム粒1％

H-33住穴計測表

| No. | 形　状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 46 | 34 | 67.8 | |
| P2 | 楕円形 | 32 | 26 | 17.8 | |
| P3 | 楕円形 | 70 | 60 | 94.5 | 貯蔵穴 |

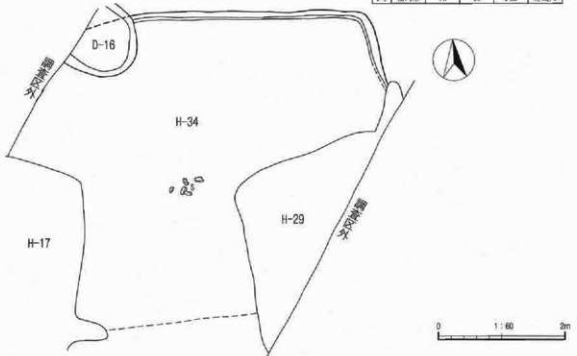



Fig.32　2区　H-32～34

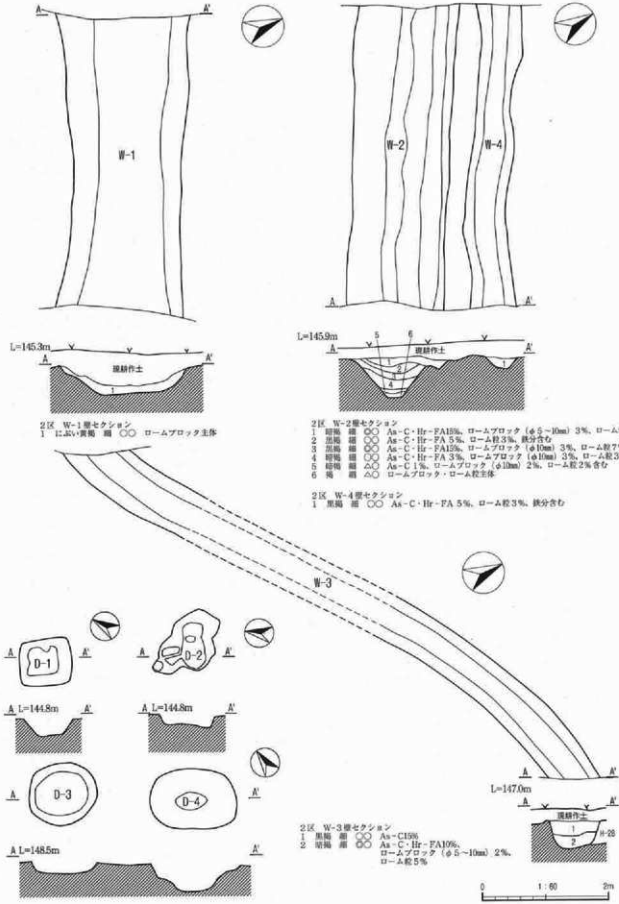
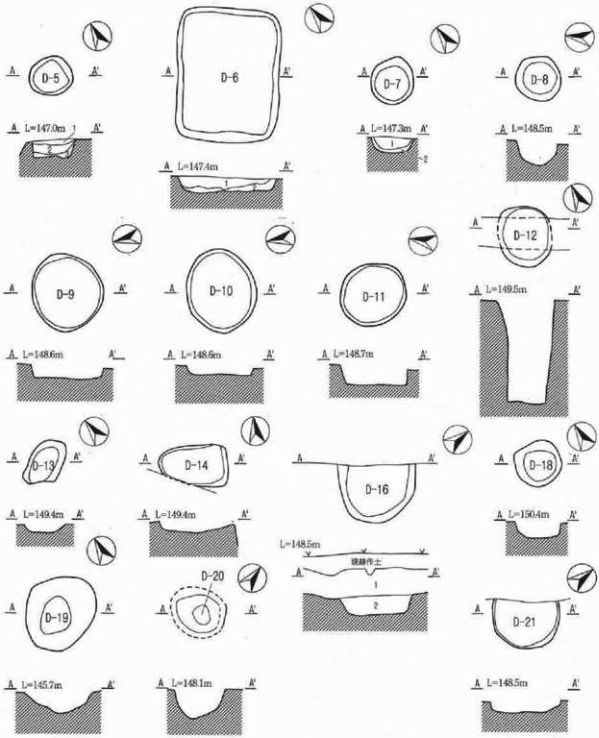



Fig.33 2区 W-1～4、D-1～4



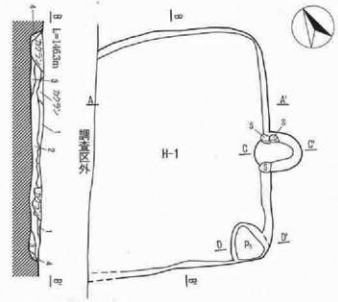

2区 D-5セクション
1 黒褐 層 ○○ ローム粒2%
2 暗褐 層 ○○ ロームブロック (φ5m) 2%、ローム粒2%
3 黒褐 層 ○○ ロームブロック (φ5～20mm) 20%

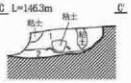
2区 D-6セクション
1 黒褐 層 ○○ ローム粒5%
2 にぶい黄褐 層 ○○ ロームブロック主体

2区 D-7セクション
1 黒褐 層 ○○ ロームブロック (φ10m) 2%、ローム粒5%
2 にぶい黄褐 層 ○○ ロームブロック主体

2区 D-16セクション
1 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック (φ5～10m) 5%、ローム粒5%
2 黒褐 層 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ロームブロック (φ10～50mm) 7%、ローム粒5%

Fig34 2区 D-5～14・16・18～21




0 1:30 1m

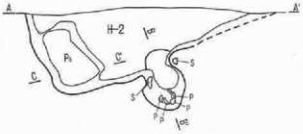
3区 H-1 竈セクション
1 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、焼土粒1%、粘土粒3%
2 暗褐 細 △○ 灰層、焼土粒3%、粘土粒2%

D L=146.7m D'

H-1 柱穴計測表

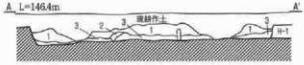
| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 64 | 48 | 14.0 | 貯蔵穴 |

3区 H-1 ベルトセクション
1 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 5%、ローム粒3%
2 褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ5～30mm）5%、ローム粒20%
3 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ローム粒3%
4 褐 細 ○△ ロームブロック、ローム粒主体



0 1:30 1m

3区 H-2 竈セクション
1 にぶい赤褐 細 ○○ 焼土粒10%、粘土粒10%
2 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、焼土粒1%、粘土粒2%
3 褐 細 ○○ 粘土主体、焼土ブロック（φ5～10mm）2%、焼土粒3%
4 暗褐 細 ○○ 灰5%、焼土粒1%、粘土粒5%
5 赤褐 細 ○○ 焼土ブロック（φ5～10mm）30%、焼土粒20%




3区 H-2 壁セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ10mm）1%、ローム粒5%、焼土粒1%
2 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ10mm）10%、ローム粒10%
3 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 3%、ロームブロック（φ10mm）2%、ローム粒5%、焼土粒1%

C L=146.7m C'

H-2 柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 楕円形 | 124 | 72 | 33.5 | 貯蔵穴 |

3区 H-4 壁セクション
1 黒褐 細 ○○ As-C・Hr-FA 1%、ロームブロック（φ5～30mm）10%、ローム粒15%

0 1:60 2m

Fig.35 3区 H-1・2・4

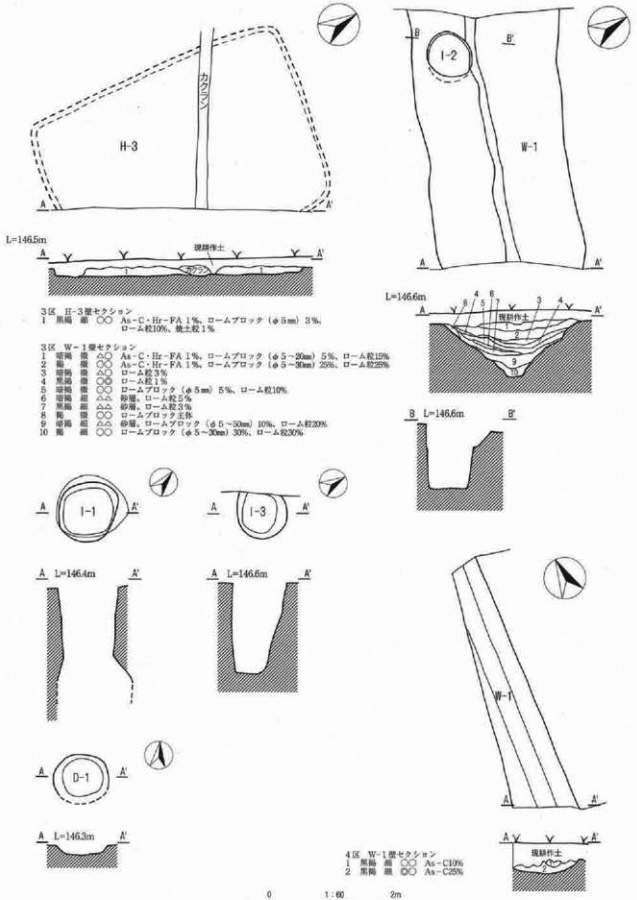



Fig.36 3区 H-3、W-1、D-1、I-1～3、4区 W-1

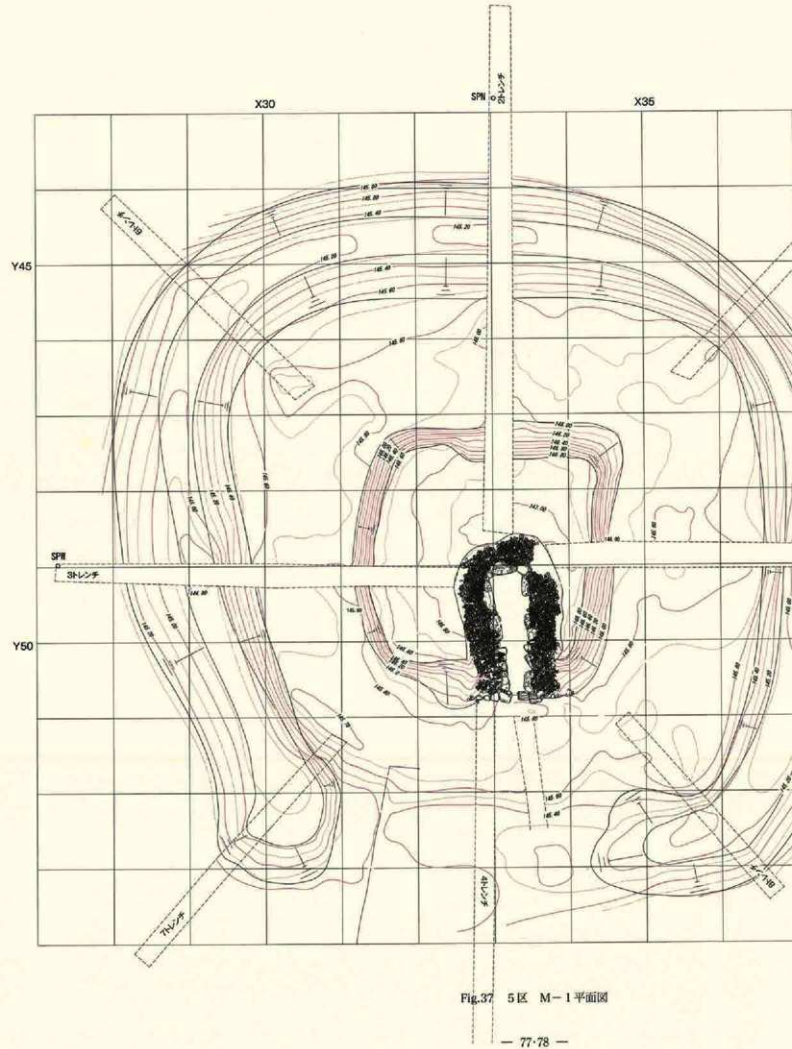



Fig.37　5区　M－1平面図

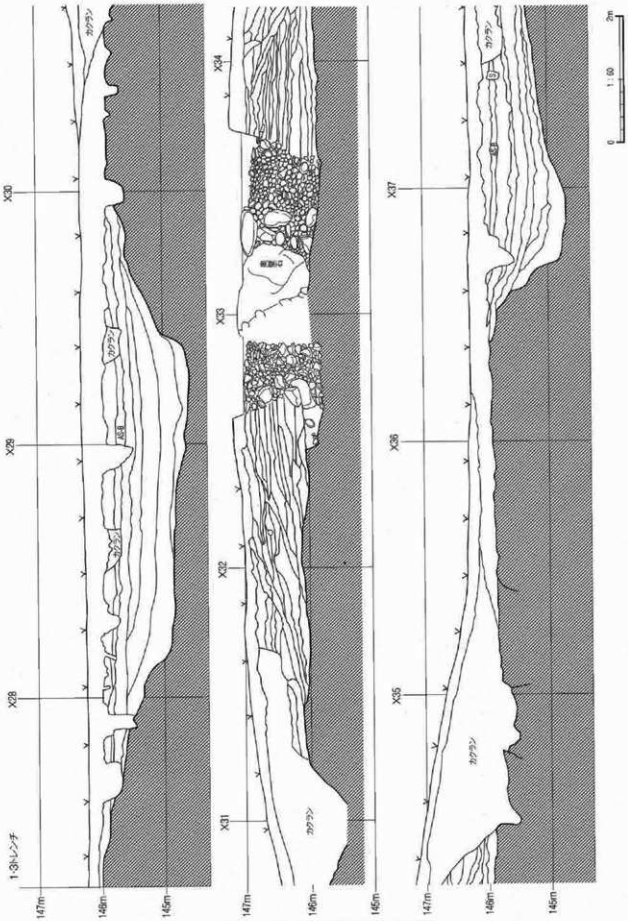



Fig.38　5区　M-1縦横断面図（1／2）

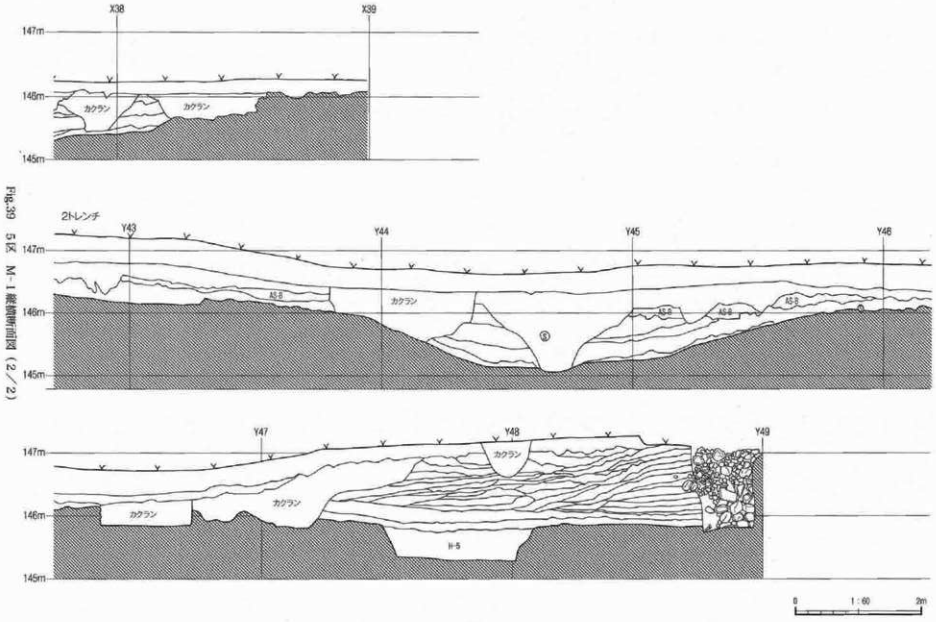



Fig.39 5区 N-1 遺物出土図 (2/2)

Fig.40　5区　M－1石室平面図

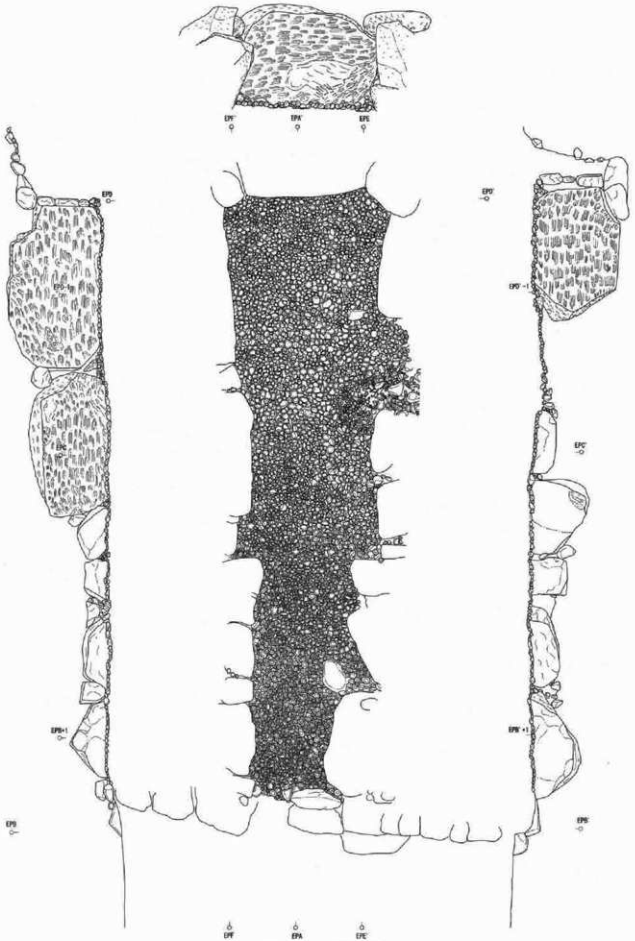


Fig.41　5区　M－1石室展開図

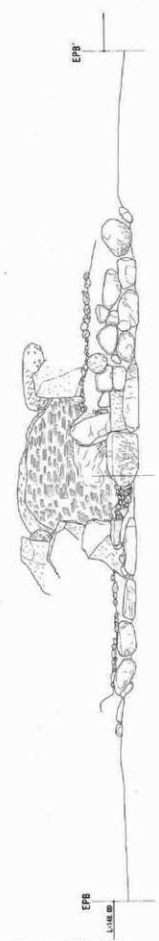


Fig.42　5区　M-1石室正面図

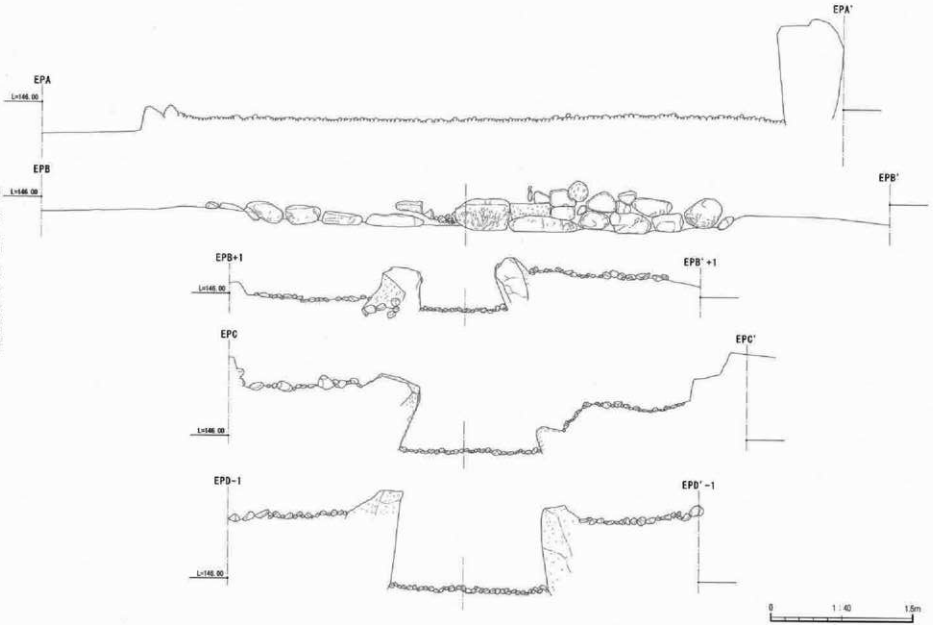



Fig.43 5区 M-1石室断面図

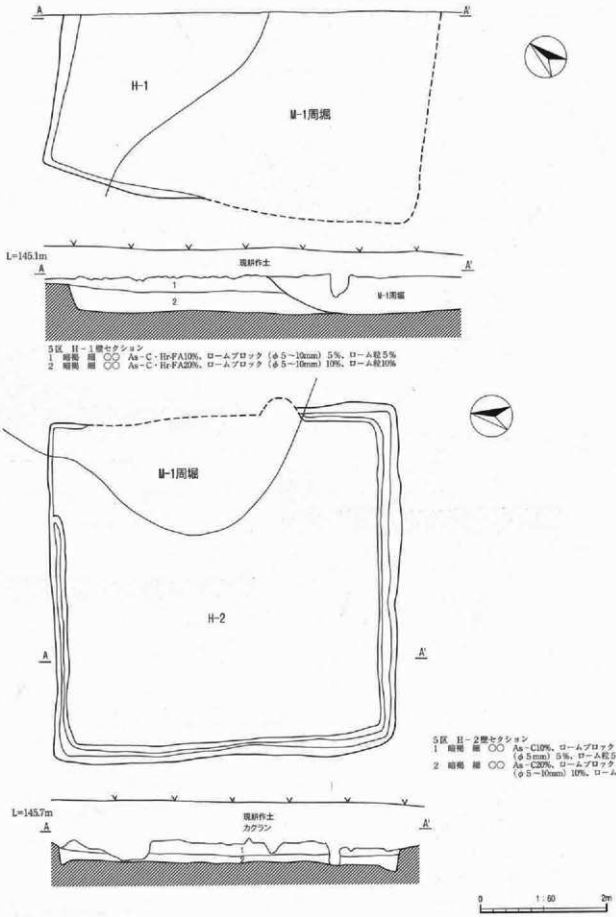

A
A'
H-1
W-1周堀
L=145.1m
現耕作土
1
2
W-1周堀
5区 H－1層セクション
1 暗褐 層 Aa・C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ5～10mm） 5%、ローム粒5%
2 暗褐 層 Aa・C・Hr-FA20%、ロームブロック（φ5～10mm） 10%、ローム粒10%
W-1周堀
H-2
A
A'
5区 H－2層セクション
1 暗褐 層 Aa・C10%、ロームブロック
（φ5mm） 5%、ローム粒5%
2 暗褐 層 Aa・C20%、ロームブロック
（φ5～10mm） 10%、ローム粒10%
L=145.7m
現耕作土
カクラン
A
A'
0
1:60
2m

Fig.44 5区 H－1・2

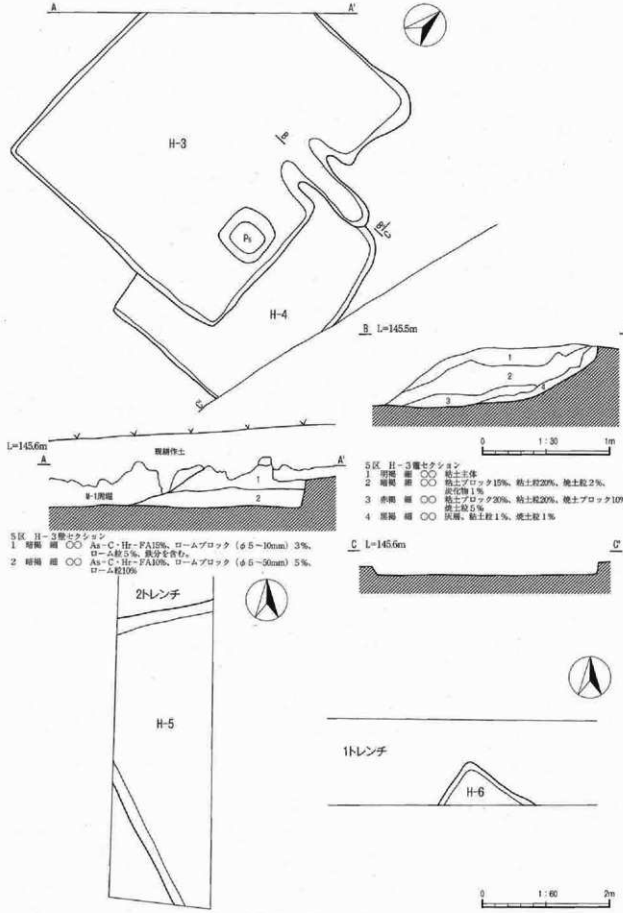
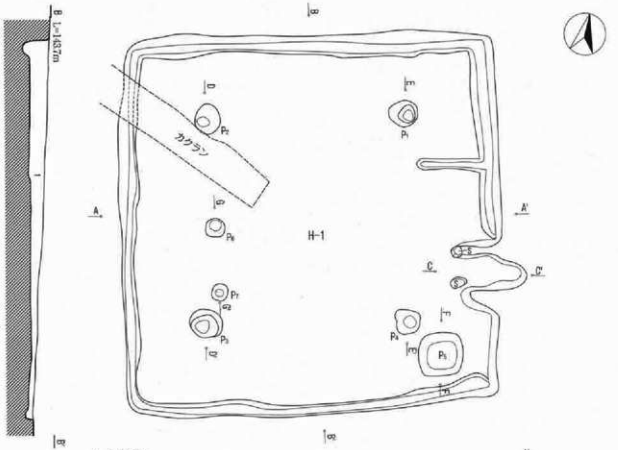
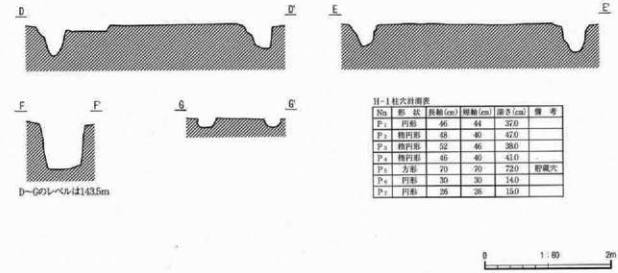

A
A'
H-3
H-4
B L=145.5m
B'
1
2
3
4
0
1:30
1m
L=145.6m
A
A'
1
2
5区 H-3壁セクション
1 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA15%、ロームブロック（φ5～10mm）3%、ローム粒5%、鉄分を含む。
2 暗褐 細 ○○ As-C・Hr-FA10%、ロームブロック（φ5～50mm）5%、ローム粒10%
5区 H-3壁セクション
1 明褐 細 ○○ 粘土主体
2 暗褐 細 ○○ 粘土ブロック15%、粘土粒20%、焼土粒2%、炭化物1%
3 赤褐 細 ○○ 粘土ブロック20%、粘土粒20%、焼土ブロック10%、焼土粒5%
4 黒褐 細 ○○ 灰褐、粘土粒1%、焼土粒1%
C L=145.6m
C'
2トレンチ
H-5
1トレンチ
H-6
0
1:60
2m

Fig.45 5区 H-3～6




6区 H－1ベルトセクション
1 黒 褐 ○○ As-C 7%、ロームブロック（φ10mm） 3%、ローム粒 3%

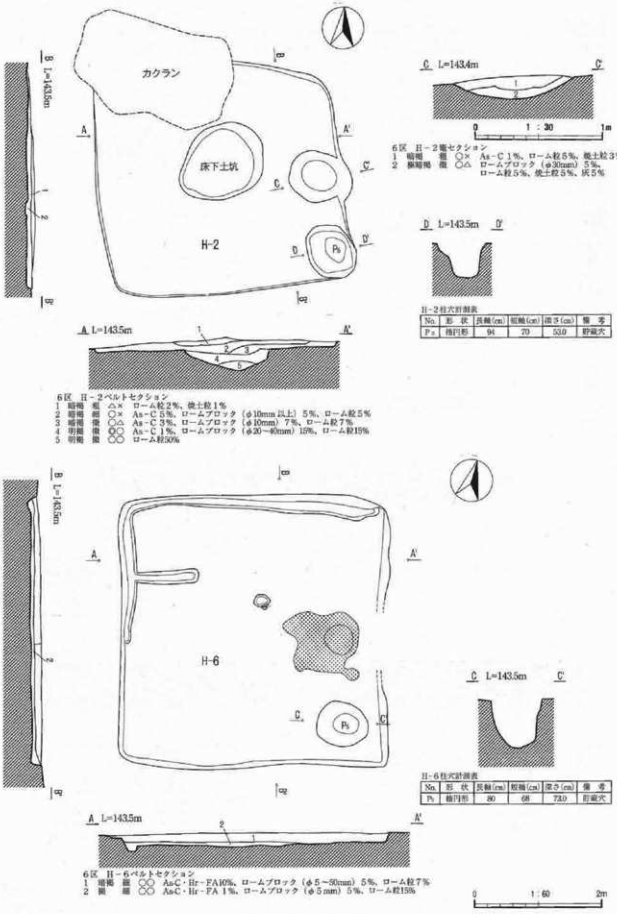
6区 H－1竈セクション
1 黒褐 層 ○○ 粘土ブロック10%、焼土粒 1%、灰 3%
2 暗 層 ○○ 粘土ブロック主体、焼土粒 1%、炭化物 1%、灰 2%
3 暗 層 ○○ 粘土ブロック20%、焼土粒10%、炭化物 1%、灰 1%




H-1 柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P1 | 円形 | 46 | 44 | 37.0 | |
| P2 | 楕円形 | 68 | 40 | 42.0 | |
| P3 | 楕円形 | 52 | 46 | 38.0 | |
| P4 | 楕円形 | 66 | 40 | 41.0 | |
| P5 | 方形 | 70 | 70 | 72.0 | 貯蔵穴 |
| P6 | 円形 | 30 | 30 | 14.0 | |
| P7 | 円形 | 26 | 26 | 15.0 | |

Fig.46 6区 H-1




6区 H－2ベルトセクション
1 暗褐 粗 △× ローム粒2%、焼土粒1%
2 暗褐 粗 ○× As－C 5%、ロームブロック（φ10mm以上）5%、ローム粒5%
3 暗褐 僅 ○△ As－C 3%、ロームブロック（φ10mm）7%、ローム粒7%
4 明褐 僅 ◎◎ As－C 1%、ロームブロック（φ20～40mm）10%、ローム粒15%
5 明褐 僅 ○○ ローム粒30%

H－2柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| P s | 楕円形 | 94 | 70 | 53.0 | 貯蔵穴 |

6区 H－6ベルトセクション
1 暗褐 緻 ○○ As－C・Hr－FA40%、ロームブロック（φ5～30mm）5%、ローム粒7%
2 黄 緻 ○○ As－C・Hr－FA 1%、ロームブロック（φ5mm）5%、ローム粒15%

H－6柱穴計測表

| No. | 形 状 | 長軸(cm) | 短軸(cm) | 深さ(cm) | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|
| Ps | 楕円形 | 80 | 68 | 73.0 | 貯蔵穴 |

Fig47 6区 H－2・6

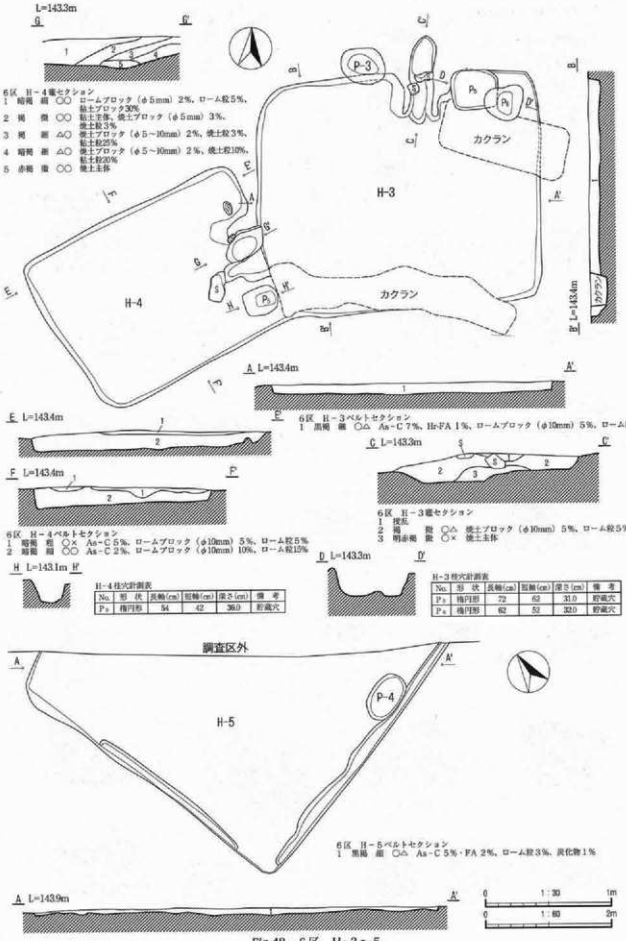

L=143.3m
G
G'
6区 H－4竈セクション
1 暗褐 細 ○○ ロームブロック（φ5mm）2%、ローム粒5%、
粘土ブロック30%
2 褐 微 ○○ 粘土主体、焼土ブロック（φ5mm）3%、
焼土粒3%
3 褐 細 △○ 焼土ブロック（φ5～10mm）2%、焼土粒3%、
粘土粒25%
4 暗褐 細 △○ 焼土ブロック（φ5～10mm）2%、焼土粒10%、
粘土粒20%
5 赤褐 微 ○○ 焼土主体
P-3
カクラン
H-3
H-4
カクラン
A L=143.4m
A'
6区 H－3ベルトセクション
1 黒褐 細 ○△ As－C 7%、Hr-FA 1%、ロームブロック（φ10mm）5%、ローム粒5%、
E L=143.4m
C L=143.3m
C'
F L=143.4m
F'
6区 H－3竈セクション
1 焼丸
2 褐 微 ○△ 焼土ブロック（φ10mm）5%、ローム粒5%、灰7%
3 明赤褐 微 ○× 焼土主体
6区 H－4ベルトセクション
1 暗褐 粗 ○× As－C 5%、ロームブロック（φ10mm）5%、ローム粒5%
2 暗褐 細 ○○ As－C 2%、ロームブロック（φ10mm）10%、ローム粒15%
H L=143.1m
H'
D L=143.3m
D'
H-4柱穴計測表
No. 形 状 長軸(cm) 短軸(cm) 深さ(cm) 備 考
P5 楕円形 54 42 36.0 貯蔵穴
H-3柱穴計測表
No. 形 状 長軸(cm) 短軸(cm) 深さ(cm) 備 考
P3 楕円形 72 62 31.0 貯蔵穴
P4 楕円形 62 52 32.0 貯蔵穴
調査区外
A
A'
P-4
H-5
6区 H－5ベルトセクション
1 黒褐 細 ○△ As－C 5%・FA 2%、ローム粒3%、炭化物1%
A L=143.9m
A'
0 1:30 1m
0 1:60 2m

Fig.48 6区 H－3～5

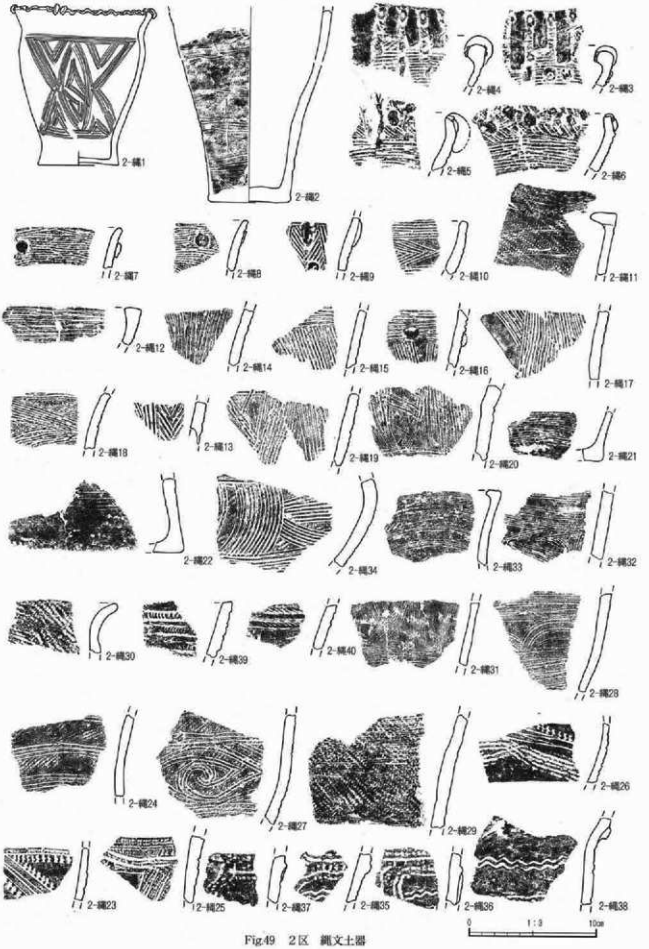



Fig.49　2区　縄文土器

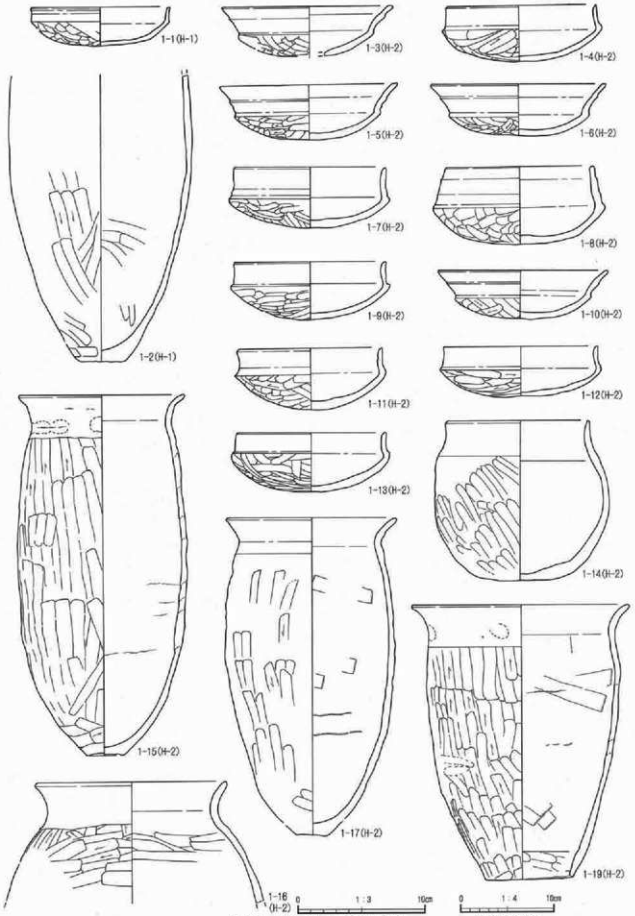



Fig.50　1区　H-1・2出土遺物

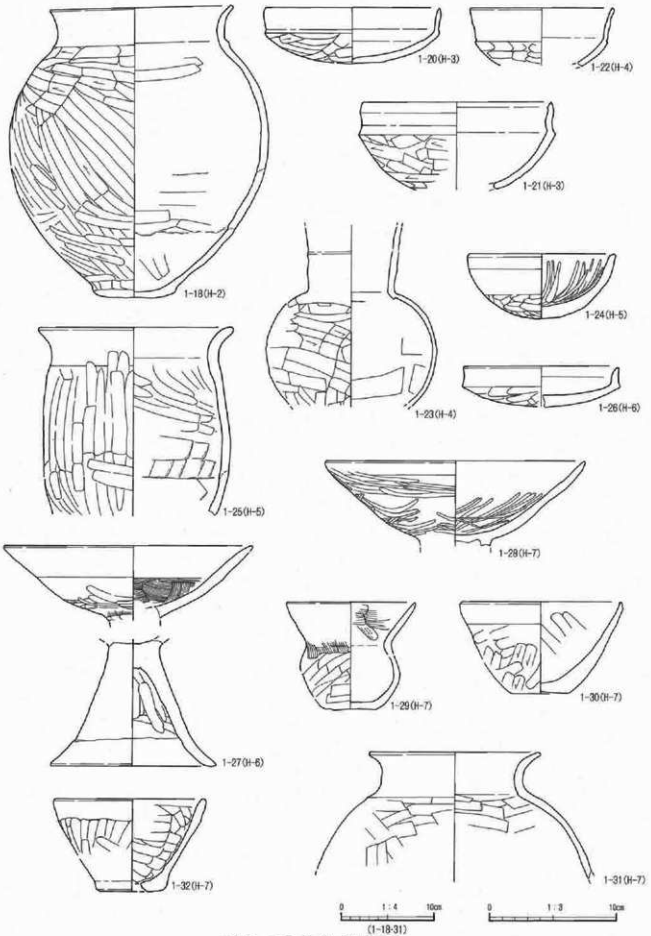



Fig.51 I区 H-2～7出土遺物

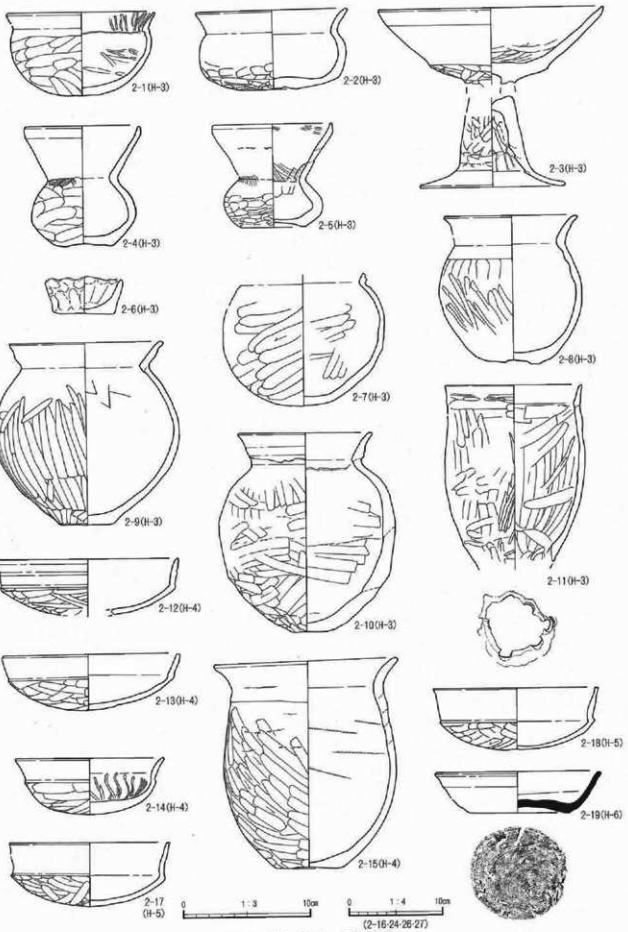



Fig.52　2区　H－3～6出土遺物

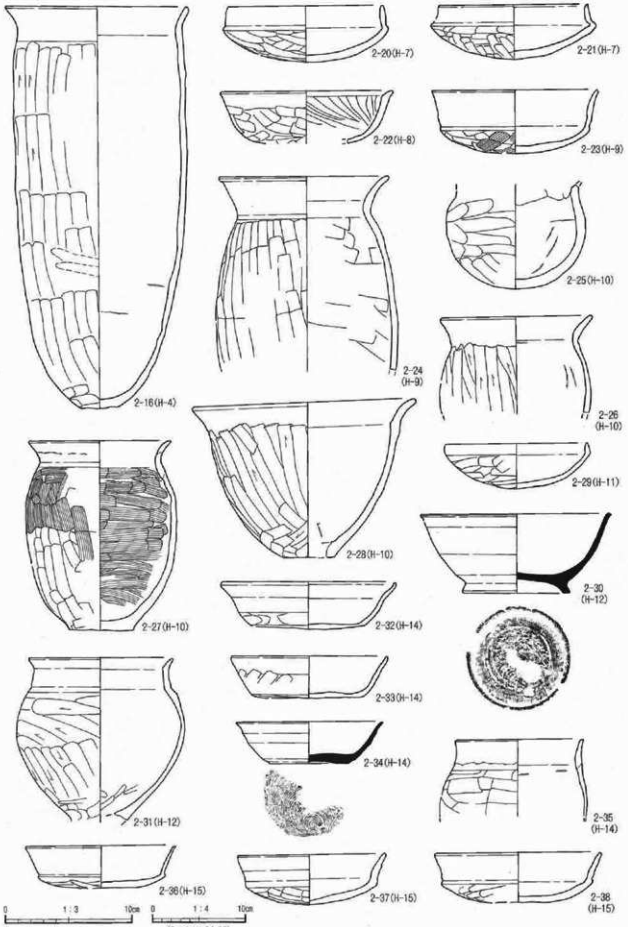



Fig.53　2区　H-4・7～12・14・15出土遺物

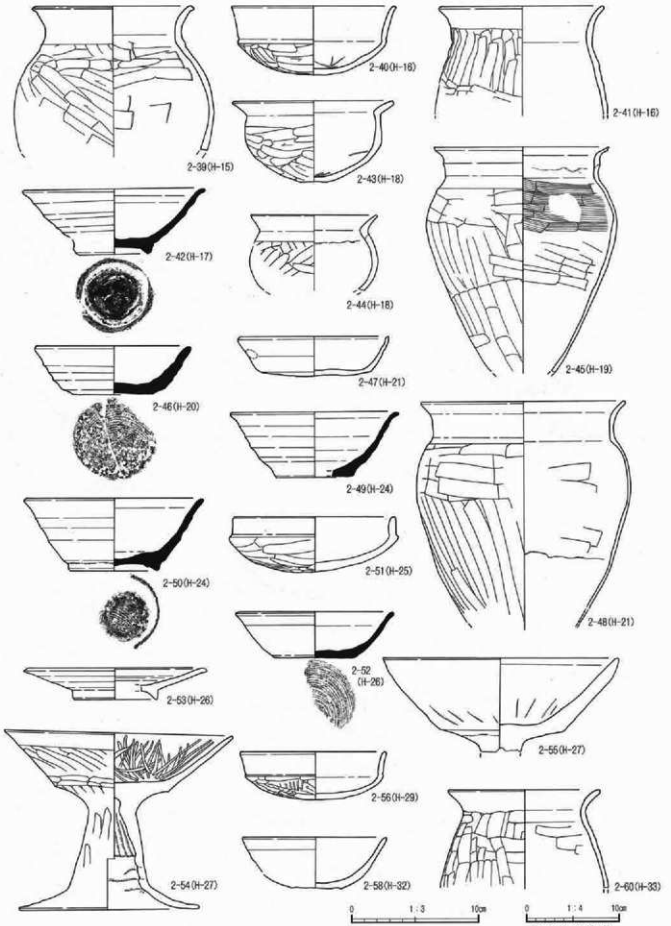



Fig.54　2区　H-15～21・24～27・29・32・33出土遺物

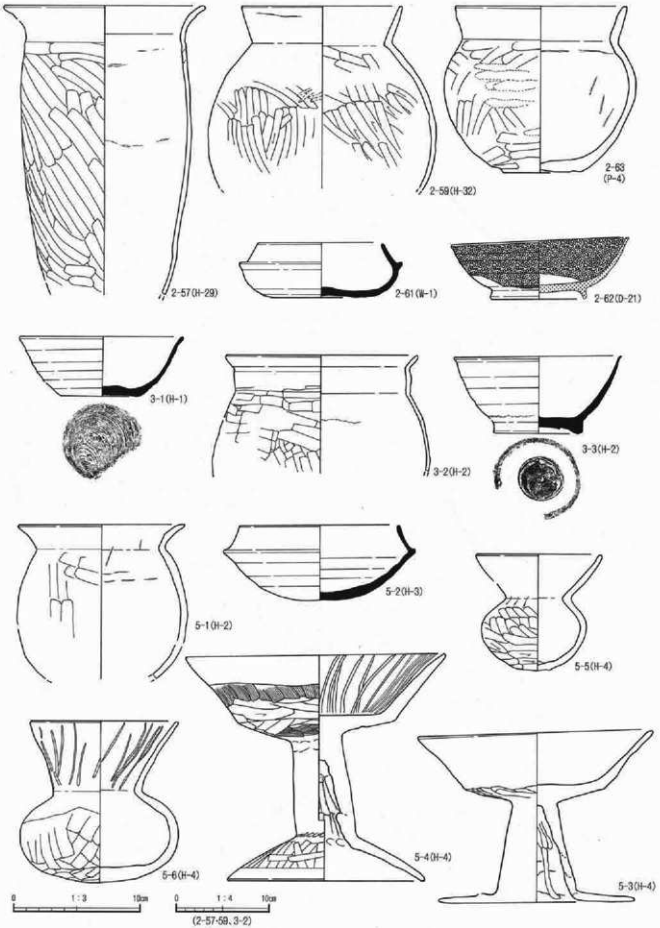



Fig.55　2区　H-29・32、W-1、D-21、P-4
3区　H-1・2
5区　H-2～4出土遺物

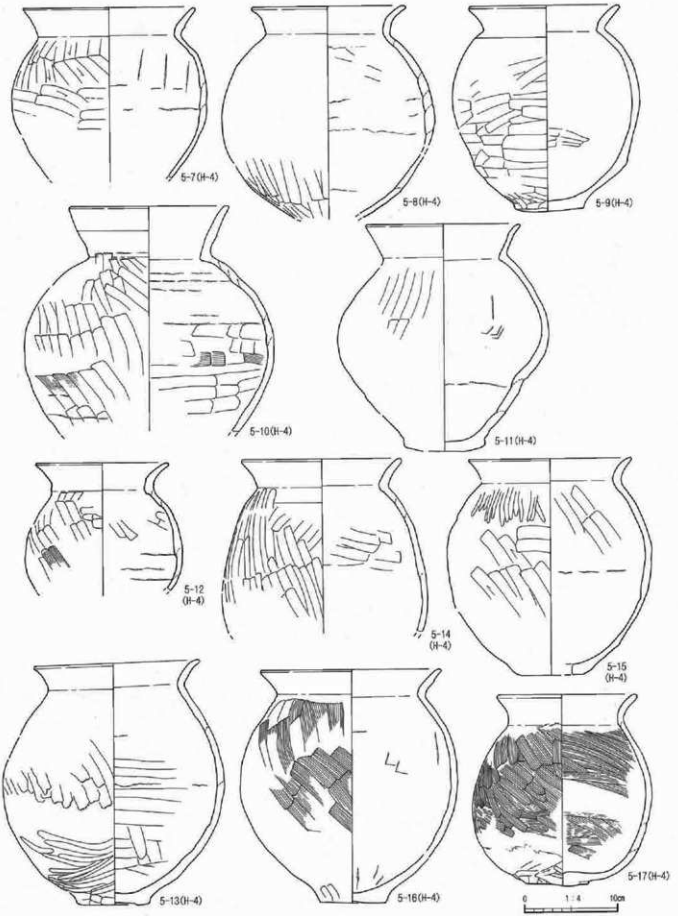



Fig.56　5区　H－4出土遺物

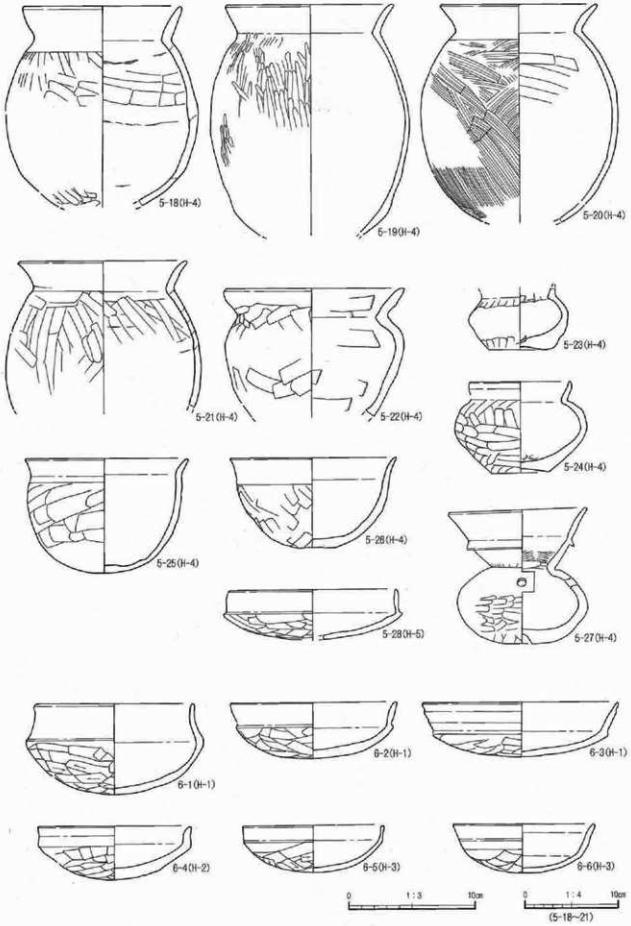



Fig.57 5区 H-4・5、6区 H-1～3出土遺物

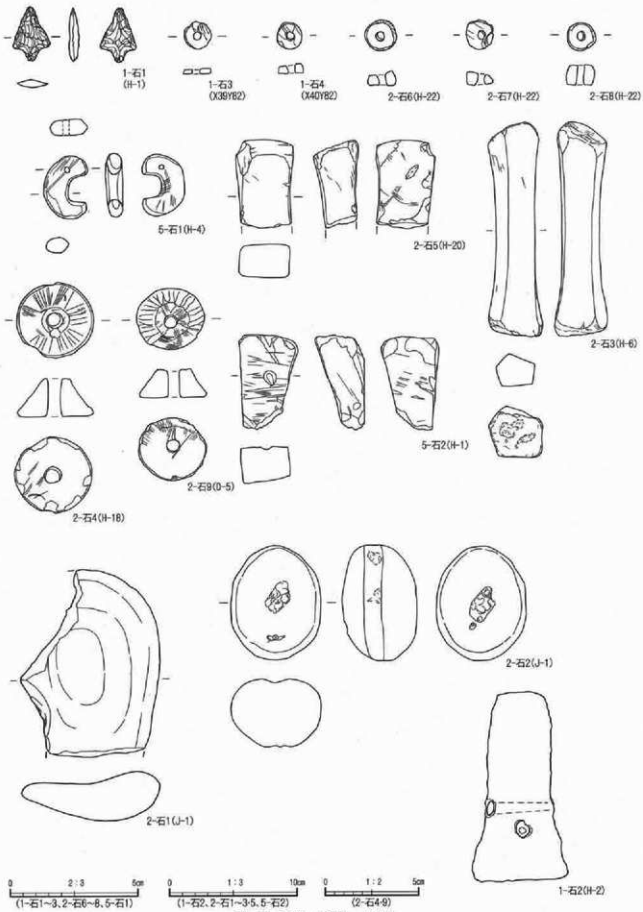



Fig.58 石器・石製品・土製品

1区　H－1全景（北東から）

1区　H－1竈全景（東から）

1区　H－2全景（南西から）

1区　H－2遺物出土状況（南東から）

1区　H－2遺物出土状況（南東から）

1区　H－3全景（北西から）

1区　H－4全景（南西から）

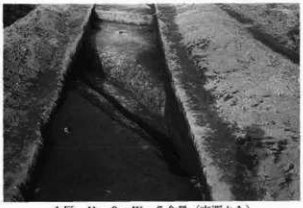
1区　H－5全景（南西から）

PL.2

1区　H－6全景（南西から）

1区　H－7全景（南西から）

1区　H－7炭化材出土状況（南西から）



1区　H－9・W－5全景（南西から）

1区　W－1全景（北西から）

1区　W－2全景（南から）

1区　W－3・4全景（南東から）

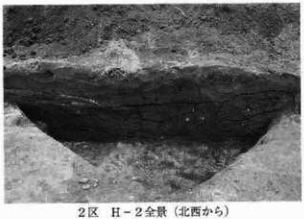
1区　北側全景（北東から）

2区　J－1全景（南から）

2区　J－1遺物出土状況（北から）

2区　H－1全景（南西から）

2区　H－1竈全景（南西から）



2区　H－2全景（北西から）

2区　H－3全景（南西から）

2区　H－3竈全景（南西から）

2区　H－3遺物出土状況（西から）

PL.4

2区　H－4全景（南西から）

2区　H－4竈全景（南西から）

2区　H－4遺物出土状況（南西から）

2区　H－5全景（南西から）

2区　H－5遺物出土状況（西から）

2区　H－6全景（西から）

2区　H－7全景（南西から）

2区　H－7竈全景（南西から）

2区　H－8全景（南西から）

2区　H－9全景（南西から）

2区　H－10全景（北東から）

2区　H－11全景（南西から）

2区　H－12全景（西から）

2区　H－12竈全景（西から）

2区　H－13全景（南西から）

2区　H－14全景（西から）

PL. 6

2区　H－15全景（北西から）

2区　H－17全景（西から）

2区　H－17竈全景（西から）

2区　H－17竈構築状況（西から）

2区　H－18全景（南西から）

2区　H－18遺物出土状況（西から）

2区　H－18菰編石出土状況（南西から）

2区　H－19全景（南西から）

2区　H－19竈全景（西から）

2区　H－20全景（西から）

2区　H－21全景（西から）

2区　H－21竈全景（西から）

2区　H－22全景（南西から）

2区　H－23·24全景（西から）

2区　H－25全景（西から）

2区　H－25竈全景（西から）

2区　H－26全景（南西から）

2区　H－26竈全景（西から）

2区　H－27全景（南西から）

2区　H－27貯蔵穴遺物出土状況（南西から）

2区　H－28全景（北西から）

2区　H－29全景（南西から）

2区　H－30竈全景（西から）

2区　H－31全景（北西から）

2区　H－32全景（北西から）

2区　H－33全景（北西から）

2区　W－2・4全景（南東から）

2区　W－3全景（南西から）

3区　H－1全景（西から）

3区　H－1竈全景（西から）

3区　H－2全景（西から）

3区　H－2竈全景（西から）

PL.10

3区　H－3全景（西から）

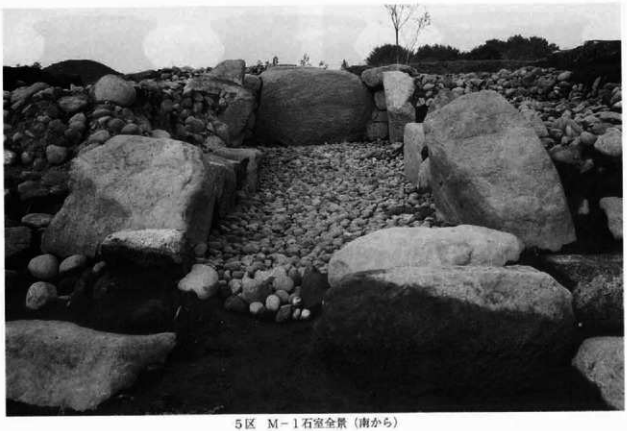
3区　W－1全景（南東から）

3区　全景（南西から）

4区　全景（北西から）

5区　M－1全景（南から）

5区　M－1石室全景（南から）



5区　M－1石室全景（南から）

PL.12

5区　M－1全景（東から）

5区　M－1全景（西から）

5区　H－3全景（西から）

5区　H－3竈全景（西から）

5区　H－4遺物出土状況（西から）

5区　H－4遺物出土状況（西から）

6区　H－1全景（西から）

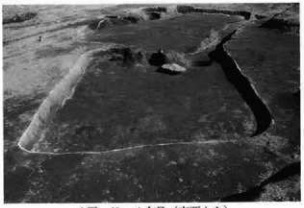
6区　H－1竈全景（西から）

6区　H－2全景（西から）

6区　H－2竈全景（西から）

6区　H－3全景（南から）

6区　H－3竈全景（南から）



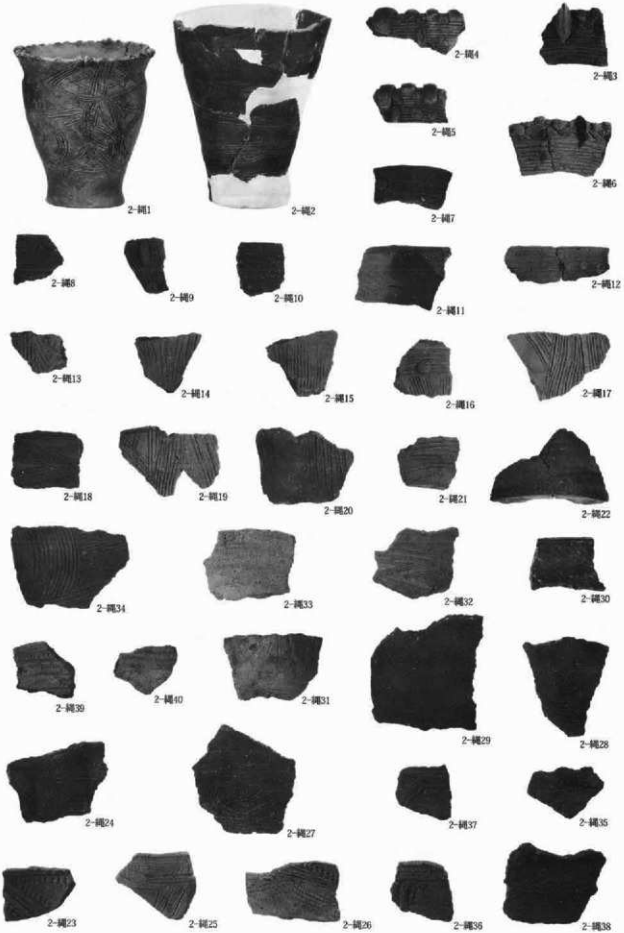
6区　H－4全景（南西から）

6区　H－4竈全景（南西から）

6区　H－5全景（南東から）

6区　H－6全景（西から）

PL.14


2-圓1
2-圓2
2-圓4
2-圓3
2-圓5
2-圓6
2-圓7
2-圓8
2-圓9
2-圓10
2-圓11
2-圓12
2-圓13
2-圓14
2-圓15
2-圓16
2-圓17
2-圓18
2-圓19
2-圓20
2-圓21
2-圓22
2-圓34
2-圓33
2-圓32
2-圓30
2-圓39
2-圓40
2-圓31
2-圓29
2-圓28
2-圓24
2-圓27
2-圓37
2-圓35
2-圓23
2-圓25
2-圓26
2-圓36
2-圓38

1-1(H-1)
1-2(H-1)
1-3(H-2)
1-4(H-2)
1-5(H-2)
1-6(H-2)
1-7(H-2)
1-8(H-2)
1-9(H-2)
1-10(H-2)
1-11(H-2)
1-12(H-2)
1-13(H-2)
1-14(H-2)
1-15(H-2)
1-16(H-2)
1-17(H-2)
1-19(H-2)

PL.16

1-18(II-2)

1-20(II-3)

1-22(II-4)

1-21(II-3)

1-23(II-4)

1-24(II-5)

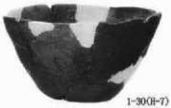
1-26(II-6)

1-25(II-5)

1-28(II-7)

1-27(II-6)

1-29(II-7)



1-30(II-7)

1-31(II-7)

1-32(II-7)

2-1(Ⅱ-3)

2-2(Ⅱ-3)

2-3(Ⅱ-3)

2-4(Ⅱ-3)

2-5(Ⅱ-3)

2-6(Ⅱ-3)

2-7(Ⅱ-3)

2-8(Ⅱ-3)

2-9(Ⅱ-3)

2-10(Ⅱ-3)

2-11(Ⅱ-3)

2-12(Ⅱ-4)

2-13(Ⅱ-4)

2-14(Ⅱ-4)

2-15(Ⅱ-4)

2-17(Ⅱ-5)

2-18(Ⅱ-5)

2-19(Ⅱ-6)

PL.18

2-16(II-4)

2-20(II-7)

2-21(II-7)

2-22(II-8)

2-23(II-9)

2-24(II-9)

2-25(II-10)

2-26(II-10)

2-27(II-10)

2-28(II-10)

2-29(II-11)

2-32(II-14)

2-30(II-12)

2-31(II-12)

2-33(II-14)

2-34(II-14)

2-35(II-14)

2-36(II-15)

2-37(II-15)

2-38(II-15)

2-39(Ⅱ-15)

2-40(Ⅱ-16)

2-41(Ⅱ-16)

2-43(Ⅱ-18)

2-42(Ⅱ-17)

2-44(Ⅱ-18)

2-45(Ⅱ-19)

2-46(Ⅱ-20)

2-49(Ⅱ-24)

2-47(Ⅱ-21)

2-48(Ⅱ-21)

2-50(Ⅱ-24)

2-51(Ⅱ-25)

2-53(Ⅱ-26)

2-52
(Ⅱ-26)

2-55(Ⅱ-27)

2-54(Ⅱ-27)

2-56(Ⅱ-29)

2-58(Ⅱ-32)

2-60(Ⅱ-33)

PL.20

2-57(H-29)

2-59(H-32)

2-63(P-4)

2-61(H-1)

2-62(D-21)

3-1(H-1)

3-2(H-2)

3-3(H-2)

5-1(H-2)

5-2(H-3)

5-5(H-4)

5-6(H-4)

5-4(H-4)

5-3(H-4)

5-7(II-4)

5-8(II-4)

5-9(II-4)

5-10(II-4)

5-11(II-4)

5-12(II-4)

5-14(II-4)

5-15(II-4)

5-13(II-4)

5-16(II-4)

5-17(II-4)

PL.22

5-18(H-4)

5-19(H-4)

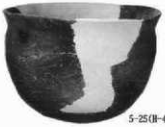
5-20(H-4)

5-21(H-4)

5-22(H-4)

5-23(H-4)

5-24(H-4)



5-25(H-4)

5-26(H-4)

5-28(H-5)

5-27(H-4)

6-1(H-1)

6-2(H-1)

6-3(H-1)

6-4(H-2)

6-5(H-3)

6-6(H-3)

1-石1
(H-1)

1-石3
(X39182)

1-石4
(X40182)

2-石6
(H-22)

2-石7
(H-22)

2-石8
(H-22)

5-石1(H-4)

2-石4(H-18)

2-石9(H-5)

2-石3(H-6)

2-石5(H-20)

5-石2(H-1)

2-石1(J-1)

2-石2(J-1)

1-石2(H-2)

# 抄　録

| | |
|---|---|
| フリガナ | カミホソイキタイセキグンナンバー1 |
| 書名 | 上細井北遺跡群No.1 |
| 副書名 | 上細井土地改良区営上細井土地改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | |
| シリーズ番号 | |
| 編著者名 | 神宮　聡・小田　哲生 |
| 編集機関 | 前橋市埋蔵文化財発掘調査団 |
| 編集機関所在地 | 〒371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10-2 |
| 発行年月日 | 西暦2009年3月19日 |

| フリガナ<br>所収遺跡名 | フリガナ<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 位置（日本測地系）<br>北緯 | 位置（日本測地系）<br>東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| カミホソイキタイセキグン<br>上細井北遺跡群<br>ナンバー<br>No. 1 | マエバシシカミホソイ<br>前橋市上細井<br>マチ<br>町460ほか | 10201 | 20B16 | 36°25'26" | 139°05'24" | 20080901<br>～<br>20090210 | 4,162㎡ | 上細井土地改良区営上細井土地改良事業 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 上細井北遺跡群No.1 | 集落 | 縄文時代 | 住居跡1軒、土坑1基 | 縄文土器、石器 | |
| | | 古墳時代 | 円墳1基、住居跡40軒 | 土師器、須恵器、石製品他 | |
| | | 平安時代 | 住居跡15軒、溝跡7条 | 土師器、須恵器、石製品他 | |
| | | 中世 | 溝跡4条、土坑、井戸跡3基 | 土師器、須恵器、鉄製品他 | |


上細井北遺跡群No.1

2009年3月12日　印刷
2009年3月19日　発行

編集発行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10-2
TEL 027-231-9531

印刷　日本特急印刷株式会社
前橋市下小出町二丁目9-25
TEL 027-233-2002